

NEC

P C 9 8 -

**NX**

PC98-**NX**SERIES

**VersaPro NX**

*LaVie NX*

## 活用ガイド

---

本機の機能

---

周辺機器を使う

---

システムの設定

---

アプリケーションの削除と追加

---

他のOSを利用する

---

# マニュアルの 主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



- 『入門ガイド』(model CAF1,model DAF1のみ)  
Windowsやワープロの基本操作を解説した、入門者向けのマニュアルです
  - ・NXパッドの基本操作
  - ・ワープロ入門(一太郎/Word)
  - ・デスクトップとは
  - ・ファイルの使い方
  - ・添付アプリケーションの紹介



- 『インターネットガイド』(model CAF1,model DAF1のみ)  
インターネットに接続する方法、パソコンを電話やFAXの代わりに使う方法などを説明しています。
  - ・インターネットとは
  - ・インターネットをするための準備
  - ・ホームページを見る
  - ・電子メールを使う
  - ・電話やFAXを使う



- 『活用ガイド』  
このパソコンの取り扱い方法、添付されているアプリケーションについて説明しています。
  - ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
  - ・周辺機器の接続と利用方法
  - ・システム設定について
  - ・添付アプリケーションの削除と追加
  - ・Windows NT 4.0を利用する場合の設定



- 『困ったときのQ&A』  
さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明したマニュアルです。また、再セットアップの方法も説明しています。
  - ・トラブル解決Q&A
  - ・再セットアップするには

## はじめに

このマニュアルは、パソコンの取り扱い方法や、添付されているアプリケーションについて説明するものです。

周辺機器やオプションを接続してパソコンを拡張する場合、パソコンの設定を変更する場合などに、このマニュアルをご利用ください。

1997年10月 初版

### 対象機種

---

VP23C/WX model AA1(型番:PC-VP23CWXA1)	LV16C/NS model DAF1(型番:PC-LV16CNSDAF1)
VP16C/WX model AA1(型番:PC-VP16CWXA1)	LV16C/WS model CAF1(型番:PC-LV16CWSCAF1)
VP13C/WS model A1(型番:PC-VP13CWSA1)	LV16C/WS model DAF1(型番:PC-LV16CWSDAF1)
VP13C/WD model A1(型番:PC-VP13CWDA1)	LV13C/WD model CAF1(型番:PC-LV13CWDCAF1)
LV16C/NS model CAF1(型番:PC-LV16CNSCAF1)	LV13C/WD model DAF1(型番:PC-LV13CWDDAF1)

---



FAXモデム内蔵モデル	FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。LV16C/NS、LV16C/WS、LV13C/WDが該当します。
フラットパネルスピーカ搭載モデル	フラットパネルスピーカを搭載しているモデルです。LV16C/NSが該当します。
一太郎モデル	一太郎8、三四郎8、FullBandがあらかじめインストールされているモデルのことです。LV16C/NS、LV16C/WS、LV13C/WDのそれぞれmodel CAF1が該当します。
Wordモデル	Word、Excel、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことです。LV16C/NS、LV16C/WS、LV13C/WDのそれぞれmodel DAF1が該当します。
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」

「スタート」をクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
インターネット エクスプローラ4.0	Microsoft® Internet Explorer 4.0 for Windows® 95 / Windows NT® 4.0
一太郎、一太郎8	一太郎8 Office Edition
Excel、Word、 Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 97 & Outlook™ 97 for Windows® Service Release対応版

このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・本機のイラストは、特にことわりのない場合、LV16C/WSのものを使用しています。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

### 技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行いませんので、必ずご購入元にご相談ください。

対象機種	LV16C/NS、LV16C/WS、LV13C/WD
電話回線	S97-3156-0

### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

### 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

### 瞬時電圧低下について

[ バッテリーバックを取り付けていない場合 ]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[ バッテリーバックを取り付けている場合 ]

本装置にバッテリーバック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

### レーザー安全基準について

下記の装置には、レーザーに関する安全基準（JIS-C-6802、IEC825）クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

VP23C/WX、VP16C/WX、LV16C/NS、LV16C/WS、LV13C/WD

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

一太郎、ATOK、FullBandは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎Office8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、これにかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

NIFTY MANAGERは、ニフティ(株)の登録商標です。

アメリカ・オンラインおよびAOLは、AOLジャパン株式会社の登録商標です。

「Angel Line」および「エンジェルライン」は、NTTの登録商標です。

McAfee、McAfee Associates、VirusScan、NetShieldは、米国McAfee Associates, Inc.の米国における登録商標です。

IntelliSync97は米国ブーマテックノロジー社の登録商標です。

MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

Cyber9385はTrident社の商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPIは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PC-VANナビゲータ、BIGLOBE Walkerは、NECの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1997

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

### 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

本機の機能	1
各部の名称	2
バッテリーで本機を使う	5
バッテリーの充電	5
バッテリーで本機を使うときの注意	5
バッテリー残量の確認	7
バッテリーパックの交換	8
電源に関する機能	11
サスペンド/レジューム機能	11
サスペンド/レジュームするときの注意	14
ハイバネーション機能	15
ハイバネーションするときの注意	19
省電力機能	21
表示ランプ	23
キーボード	25
キーの使い方	25
キーボードを設定する	28
日本語入力の使い方	30
ポインティングデバイス	31
NXパッドの使い方	31
ポインティングデバイスを設定する	32
フロッピーディスクドライブ	33
フロッピーディスクのセットのし方と取り出し方	33
内蔵ハードディスク	34
ハードディスクのメンテナンス	34
CD-ROMドライブ( CD-ROMドライブ搭載モデルのみ )	36
CD-ROMのセットのし方と取り出し方	37
画面表示機能	40
表示できる解像度と表示色	40
解像度と表示色を変更する	41
セキュリティ機能	42
本機のセキュリティ機能	42
セキュリティ機能の使用例	43
パスワードを設定しているときの電源の入れ方	44
パスワードを設定しているときのレジューム	44

赤外線通信機能	46
赤外線通信	46
赤外線通信機能を使えるようにする	46
機器の配置について	47
フラットパネルスピーカ(フラットパネルスピーカ搭載モデルのみ)	48
サウンド機能	49
内蔵モデム( FAXモデム内蔵モデルのみ)	50
電話回線との接続	50
ダイヤル設定のし方	52
本機からファックスする	52
<b>周辺機器を使う</b>	<b>55</b>
周辺機器を利用する	56
周辺機器を利用するための知識	56
プリンタを使う	58
プリンタを接続する	58
プリンタを設定する	59
外部ディスプレイを使う	63
CRTディスプレイを接続する	63
プロジェクタを接続する	65
外部ディスプレイの設定	65
PCカードを使う	67
PCカードのセットのし方と取り出し方	68
PCカードの設定	70
メモリ(RAM)の増設	71
増設RAMボードの取り付けと取り外し	71
その他の機器を使う	76
シリアルコネクタ	76
パラレルコネクタ	76
USBコネクタ	76
マウス/テンキーボード用コネクタ	77

## システムの設定 ..... 79

BIOSセットアップユーティリティ .....	80
BIOSセットアップユーティリティで設定できること .....	80
BIOSセットアップユーティリティを使う .....	81
設定項目一覧 .....	81

## 添付アプリケーションの削除と追加 ..... 89

添付アプリケーションの紹介 .....	90
このPARTの構成について .....	91
アプリケーションの削除と追加 .....	92
削除について .....	92
追加について .....	93
一太郎Office&(一太郎モデルのみ) .....	95
Word & Excel & Outlook (Wordモデルのみ) .....	99
インターネットエクスプローラ4.0 .....	103
最新のコンポーネントを追加する .....	107
インターネットエクスプローラ関連プログラム .....	109
Microsoft Chat 2.0 .....	109
Microsoft NetShow プレーヤー .....	110
RealPlayer 4.0 .....	111
BIGLOBE Walker .....	113
インターネットアクセスマネージャ(一太郎モデル/Wordモデルのみ) .....	115
ジェットサーファ(一太郎モデル/Wordモデルのみ) .....	118
翻訳アダプタ CROSSROAD(一太郎モデル/Wordモデルのみ) .....	120
PC-VANナビゲータ .....	123
AOL .....	125
NIFTY MANAGER .....	128
VirusScan for Windows 95 .....	131
駅すばあと全国版 for Windows 95(一太郎モデル/Wordモデルのみ) .....	136
TELFAX-NX (一太郎モデル/Wordモデルのみ) .....	139
IntelliSync97 .....	141
ローカルシステムの設定 .....	141
接続設定 .....	142
操作方法 .....	144

PART

5

Angel Line for Windows(一太郎モデル/Wordモデルのみ)...	147
筆ぐるめ for Windows 95(一太郎モデル/Wordモデルのみ)...	151
プレーヤ-NX .....	154
CyberTrio-NX .....	156
CyberWarner-NX .....	159
ログファイルについて .....	159
英語モードフォントを利用する .....	163
その他のアプリケーション(一太郎モデル/Wordモデルのみ)...	165

他のOSを利用する .....

Windows NT 4.0を使う .....	170
1. Windows NT 4.0のセットアップ .....	171
2. 内蔵アクセラレータの利用 .....	173
3. 内蔵サウンドの利用 .....	174
4. NXパッドの拡張 .....	175
5. 内蔵FAXモデムのセットアップ .....	176
6. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ .....	177
7. Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 3の利用	178

PART

6

付録 .....

Windows 95でMS-DOSモードを利用する .....	180
MS-DOSモードを利用する .....	180
CD-ROMドライバ(本機内蔵CD-ROM).....	181
新しいMS-DOS設定を指定する場合 .....	183
本機のお手入れ .....	186
コンピュータウイルス対策 .....	188
機能一覧 .....	191
機能仕様.....	191
内蔵FAXモデム機能仕様(LV16C/NS、LV16C/WS、LV13C/WD) .	195
割り込みレベル・DMAチャンネル .....	197

索引 .....

# 本機の機能

本機の各部の名称といろいろな機能について説明しています。

## このPARTの内容

各部の名称

バッテリーで本機を使う

電源に関する機能

表示ランプ

キーボード

ポインティングデバイス

フロッピーディスクドライブ

内蔵ハードディスク

CD-ROMドライブ( CD-ROMドライブ搭載モデルのみ )

画面表示機能

セキュリティ機能

赤外線通信機能

フラットパネルスピーカ( フラットパネルスピーカ搭載  
モデルのみ )

サウンド機能

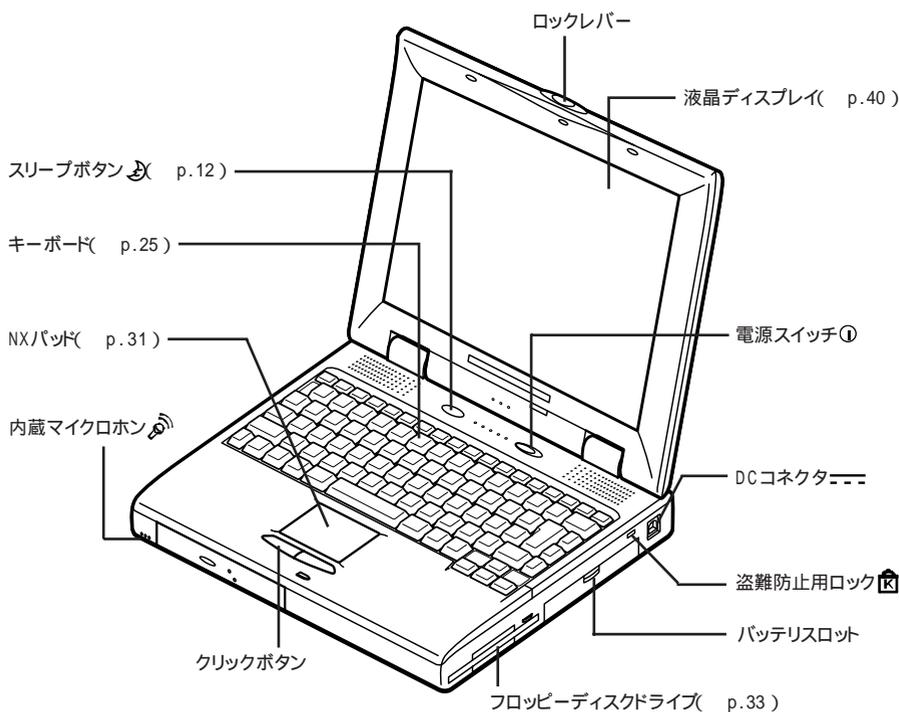
内蔵モデム( FAXモデム内蔵モデルのみ )

## 各部の名称

本機の各部の名称と配置について説明しています。それぞれの機能や取り扱い方については、参照ページをご覧ください。

前面

全モデルに共通な部分



### 盗難防止用ロック

本機の盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

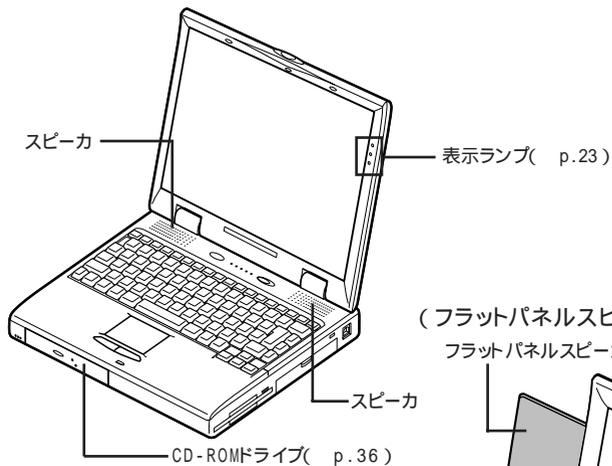
日本国内総販売代理店の連絡先は、次のとおりです (1997年10月現在)

日本ポラロイド株式会社 電子映像事業部

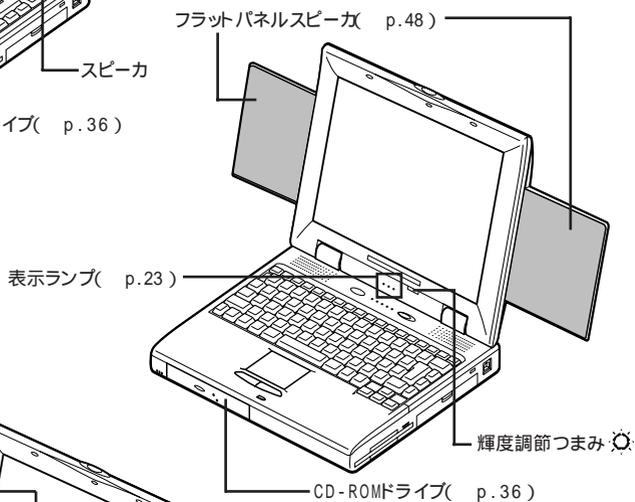
〒105 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル

Tel : 03-3438-8879 Fax : 03-5473-1630

## (13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデル)

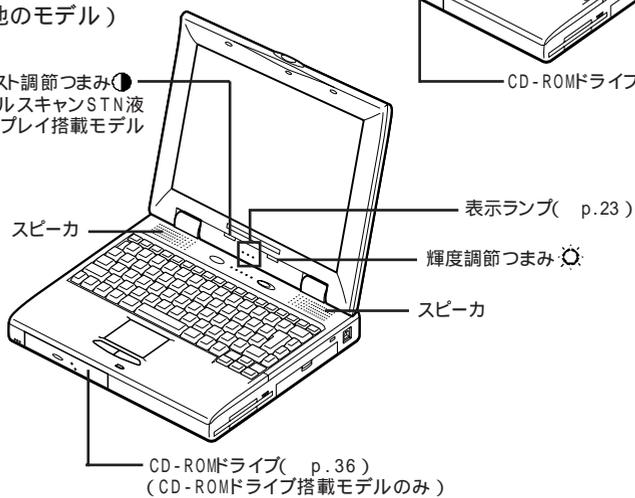


## (フラットパネルスピーカ搭載モデル)

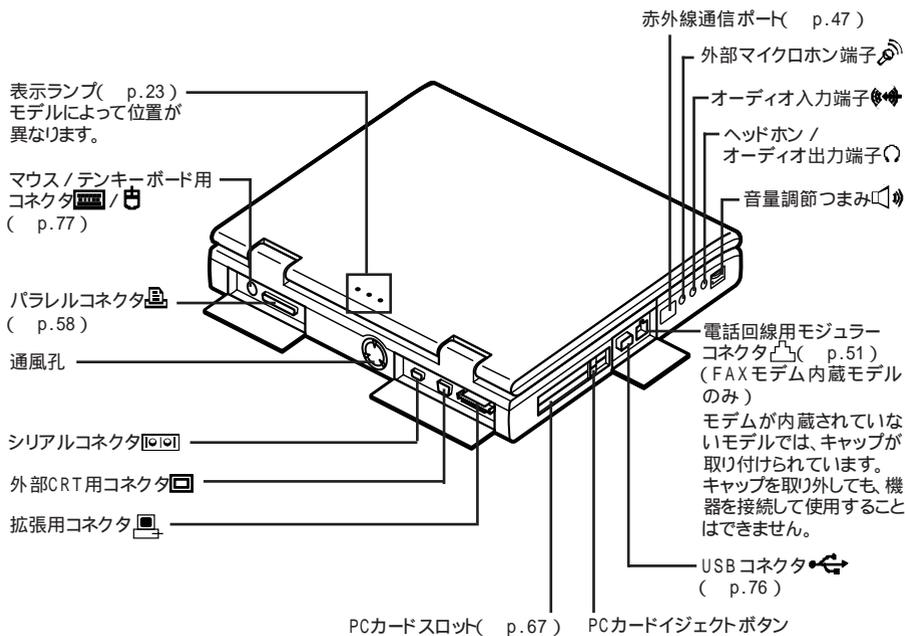


## (その他のモデル)

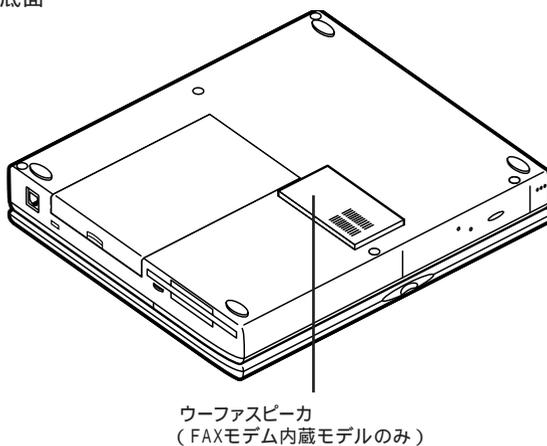
コントラスト調節つまみ (デュアルスキャンSTN液晶ディスプレイ搭載モデルのみ)



## 背面



## 底面



**チェック!!** 拡張用コネクタには何も接続しないようにしてください。故障の原因となります。

## バッテリーで本機を使う

本機は、ACアダプタを使用せずに、添付のバッテリーパックだけで駆動することができます。

### バッテリーの充電

- チェック!!** バッテリーの充電中は、バッテリーパックを本機から取り外さないでください。ショートや接触不良の原因になります。

#### バッテリーの充電のしかた

本機にバッテリーパックを取り付けてACアダプタをACコンセントに接続すると、自動的にバッテリーが充電されます。

本機の電源を入れて使用していても充電されますが、電源を切った状態の方が充電時間は短くなります。

充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。18～28℃での充電をおすすめします。

**参照**▶ バッテリーの充電時間について 「機能一覧」(p.192、194)

充電状態は表示ランプで確認できます。

- ・ バッテリー充電中  
バッテリー充電ランプがオレンジ色に点灯
- ・ バッテリー充電が完了すると  
バッテリー充電ランプが消灯

### バッテリーで本機を使うときの注意

- チェック!!** ・ バッテリーが十分に充電されているときは、特に必要でないかぎり、バッテリーパックの取り付けや取り外しをしないでください。故障の原因となります。
- ・ フロッピーディスクやハードディスクの読み書き中にバッテリー残量がなくなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、フロッピーディスクやハードディスクのデータが壊れることがあります。

## バッテリーを長持ちさせるには

---

次のような点に気を付けると、バッテリーを長持ちさせることができます。

- ・バッテリーの残量がなくなってから充電する
- ・充電はフル充電(充電表示ランプが消灯)になるまで中断しない
- ・本機を1ヵ月以上使わないときは、バッテリーパックを取り外して、涼しいところに保管する

## バッテリーの上手な使い方

---

- ・バッテリーだけで本機を長時間使用する場合は、本機の省電力機能を使用してください。

**参照** 省電力機能について 「電源に関する機能」(p.11)

- ・バッテリーは、自然放電しています。本機を長期間使用しない場合でも、2~3カ月に一度は充電することをおすすめします。

## バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなったときは

---

バッテリーの残量が少なくなると、電源ランプがオレンジ色に点滅します。この場合は、次の操作を行ってください。

- ・ACコンセントから電源を供給する

いったん本機の電源を切り、ACアダプタを接続してACコンセントから電源を供給してください。ACコンセントから電源を供給すると、バッテリー充電ランプがオレンジ色に点灯し、バッテリーの充電が始まります。充電が完了すると、バッテリー充電ランプは消灯します。

- ・ACコンセントが使えない場合

使用中のソフトウェアを終了して、本機の電源を切ってください。

上記の操作をしないで、そのままにしておくと、自動的にハイバネーション機能(p.11)が作動し、作業内容がハードディスクに保存され、電源が切れます。

## バッテリー残量の確認

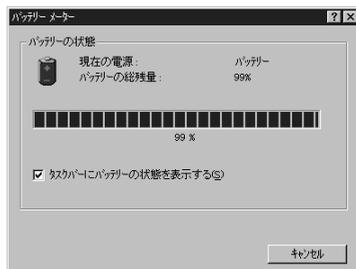
バッテリー残量は、次の3つの方法で確認することができます。

- ・ Windowsのタスクバーにある  の上にマウスポインタを合わせる



(この画面はモデルによって異なることがあります)

- ・ タスクバーの  をダブルクリックして、表示された「バッテリーメーター」ウインドウを見る



- ・ 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックして、表示された「電源のプロパティ」ウインドウを見る



ACコンセントから電源を供給しているときは、はに変わります。

Windowsの「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックして「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を  にすると、バッテリー残量は表示されません。

## バッテリーパックの交換

### 交換の目安

バッテリーをフル充電(充電してバッテリー充電ランプが消灯した状態)にしても使用できる時間が短くなったら、新しいバッテリーパックを購入して交換してください。

本機に取り付けられる交換用バッテリーパックには次の2種類があります。

- ・PC-VP-WP0㉔(ニッケル水素バッテリーパック)
- ・PC-VP-WP0㉕(リチウムイオンバッテリーパック)

リチウムイオンバッテリーパックを取り付けると、ニッケル水素バッテリーパックを取り付けた場合よりもバッテリー駆動時間が長くなります。

### バッテリーパックの交換のしかた

#### ⚠警告



感電注意

雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。



破裂注意



毒物注意

使用を終えたバッテリーパックを分解したり、火気に投じることは危険です。絶対にしないでください。破裂したり、液漏れしたりすることがあります。

#### ⚠注意

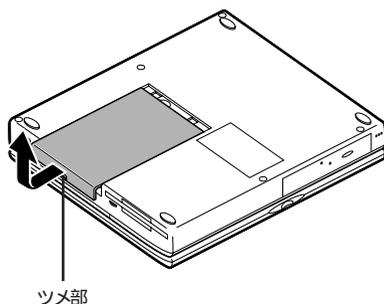


感電注意

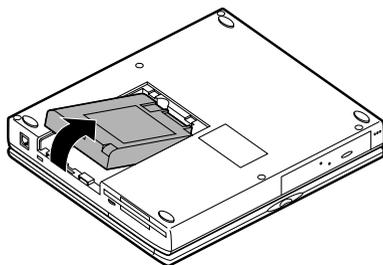
濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- チェック!!** ・ バッテリスロットの端子部分には絶対に触れないでください。接触不良の原因となります。
- ・ サスペンド状態のときにバッテリーパックを交換すると、保存中のデータが失われます。サスペンドランプが点滅しているときには、一度レジュームしてデータを保存してからWindowsを終了し、本機の電源を切ってください。

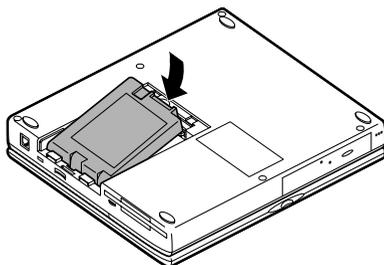
- 1** 本機の電源を切る
- 2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3** 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す  
フラットパネルスピーカー搭載モデルの場合は、フラットパネルスピーカーを収納してから液晶ディスプレイを閉じてください。
- 4** バッテリスロットカバーのツメ部を押しながら、カバーを矢印の方向にスライドさせ、上方向に取り外す



- 5** 図のようにして古いバッテリーパックを取り外す



## 6 新しいバッテリーパックを取り付ける



## 7 手順4で取り外したカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

**チェック!** 不要になったバッテリーパックは、地方自治体の条例に従って廃棄してください。

## 電源に関する機能

本機には、電源に関する便利な機能があります。バッテリー駆動時に設定しておく、駆動時間を長くできるなど省電力の機能として使うことができます。

電源に関する機能には次の3つがあります。

- ・ サスペンド / レジューム 機能
- ・ ハイバネーション機能
- ・ 省電力機能

### サスペンド / レジューム 機能

#### 用語 サスペンド

サスペンド( Suspend )とは「活動などを一時停止する」の意味で、実行中の作業内容をメモリ( RAM )に保存し、そのデータを保持するための微小な電流以外は消費しない省電力状態にすることをいいます。

#### 用語 レジューム

レジューム( Resume )とは「中断した仕事などを再び始める」の意味で、サスペンド状態から、サスペンドする前の状態に戻すことをいいます。Windows が起動するまでの時間をかけずに、前回サスペンドしたときの作業画面から再開できるため、待ち時間なしに素早く作業を再開できます。

サスペンド / レジューム機能を使うには、次のような方法があります。

- ・ スリープボタンを使う
- ・ Windows のスタートメニューを使う
- ・ 液晶ディスプレイの開閉に連動して行う
- ・ 自動的にサスペンド / レジュームする( 自動スリープ制御 )
- ・ 電話やFAXの呼び出しでレジュームする( FAXモデム内蔵モデルのみ )

-  **チェック!!** ・ サスペンド状態にしてから、すぐにレジュームするときは、本機に負担がかかることを避けるため、サスペンドランプ  が点滅してから5秒以上待って、レジュームしてください。

## スリープボタンを使う

---

サスペンドするには

スリープボタンを押す

レジュームするには

サスペンド状態のときに、もう一度スリープボタンを押すか、または電源スイッチをスライドする



**チェック!!**

- ・スリープボタンを押したまま電源スイッチをスライドすると、サスペンド状態にはならず、強制的に電源が切れます。この場合、データは消えてしまうので注意してください。
- ・BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「スリープボタン」を「使用しない」に設定した場合は、スリープボタンを使ってサスペンド/レジュームすることはできません( p.88 )。

## Windowsのスタートメニューを使う

---

サスペンドするには

「スタート」「サスペンド」をクリックする

レジュームするには

サスペンド状態のときに、スリープボタンを押すか、または電源スイッチをスライドする

「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「電源のプロパティ」「パワーマネージメント」で、「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を  に設定すると、この方法ではサスペンドできません。また、「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「詳細」で、「スタートメニューのサスペンドコマンドの表示」を  にすると、スタートメニュー内に「サスペンド」が表示されません。

## 液晶ディスプレイの開閉に連動して行う

---

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「LCD連動スリープ」を「使用する」に設定します。

サスペンドするには  
液晶ディスプレイを閉じる

レジュームするには  
液晶ディスプレイを開ける

 **チェック!!** 液晶ディスプレイの開閉でサスペンド/レジュームをする設定にした場合は、Windowsの終了処理中に液晶ディスプレイを閉じないでください。

#### 自動的にサスペンド/レジュームする(自動スリープ制御)

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「パワーマネージメント」で「自動スリープ制御」を「使用する」に設定し、「自動スリープ開始時間」でサスペンドするまでの時間を設定します( p.86 )

サスペンドするには  
設定した時間内にポインティングデバイスやキーボードからの入力を行わないと、自動的にサスペンド状態になる

レジュームするには  
サスペンド状態のときに、スリープボタンを押すか、または電源スイッチをスライドする

■ 設定できる時間は5、10、15、20、25、30分のみです。

自動スリープ制御を使うときは、次の手順で「CD-ROM自動挿入」の機能を  に設定してください。

- 1 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」アイコンの前の  をクリックする

 **チェック!!** CyberTrio-NXのモードが「ベーシックモード」になっていると、この操作はできません。「アドバンスモード」に変更してください( p.156 )

- 3 表示されたCD-ROM名をクリックしてから「プロパティ」ボタンをクリックする

4 「設定」タブをクリックし、「自動挿入」をクリックして  にする

5 「OK」ボタンをクリックする

電話やFAXでレジュームする( FAXモデム内蔵モデルのみ )

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「レジューム」で「モデム受信でレジューム」を「使用する」に設定します( p.88 )

レジュームするには

電話やFAXの呼び出しで自動的にレジュームする

### サスペンド / レジュームするときの注意

次のようなときはサスペンドしないでください

- ・プリンタへ出力中
- ・赤外線通信をしているとき( 赤外線通信アプリケーションを実行中 )
- ・音声または動画を再生中
- ・ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクにアクセス中
- ・電話回線を使って通信中
- ・通信用アプリケーションを実行中
- ・Windows 95の終了処理中
- ・サスペンド機能に対応していないアプリケーションを使用中
- ・サスペンド機能に対応していないIPCカードを使用中

### サスペンド処理中の注意

サスペンド処理中とは、サスペンド機能を実行してから本機がサスペンド状態に入るまでの間のことです。この間はフロッピーディスクやCD-ROM、PCカードの入れ替えなどは行わないでください。また、サスペンド処理中にこのような本機の環境の変更を行うとサスペンドできなくなります。

### サスペンド状態のときの注意

- ・ サスペンド状態のとき、PCカードの入れ替えなど本機の機器構成を変更すると、正常にレジュームできなくなることがあります。
- ・ ACアダプタが未接続で、バッテリーが消耗したときは、サスペンドしたデータが消失し、正常にレジュームできなくなります。

### レジューム処理中の注意

レジューム処理中とは、レジューム機能を実行してから本機を起動するまでの間のことです。この間はフロッピーディスクやCD-ROM、PCカードの入れ替えなどは行わないでください。また、レジューム処理中にこのような本機の変更を行うとレジュームできなくなることがあります。

CD-ROMドライブにフォトCDを入れたままサスペンドすると、レジュームに時間がかかることがあります。

## ハイバネーション機能

### 用語 ハイバネーション

ハイバネーション(Hibernation)とは「冬眠」の意味で、電源を切ると同時に実行中の作業内容が自動的にハードディスクに保存されます。サスペンドと異なり、データ消失の心配はありませんし、電力が消費されないため、バッテリーが節約されます。

ハイバネーション機能を使うには、次のような方法があります。

- ・ **【Fn】**を押したままスリープボタンを押す
- ・ スリープボタンを押す
- ・ Windowsのスタートメニューを使う
- ・ 液晶ディスプレイの開閉に連動して行う
- ・ 自動的にハイバネーションする(自動スリープ制御)

-  **チェック!!** 電源を入れたり、切ったりする動作を連続して行くと、本機に負担がかかります。続けて電源を入れるときは、電源を切ってから少なくとも5秒以上の間隔をあけて行ってください。

---

#### 【Fn】を押したままスリープボタンを押す

---

ハイバネーションするには

【Fn】を押したままスリープボタンを押す

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチをスライドする

---

#### スリープボタンを使う

---

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイバネーション」に設定します( p.88 )

ハイバネーションするには

スリープボタンを押す

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチをスライドさせる

-  **チェック!!**
- ・ハイバネーション機能は、本機にインストールされているWindows 95でのみ使用できます。市販のWindows 95では使用できません。
  - ・Windowsの「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「電源のプロパティ」「パワーマネージメント」でWindowsでコンピュータの電源を管理する」を  に設定している場合は、ハイバネーションは機能しません。
  - ・スリープボタンを押したまま電源スイッチをスライドすると、ハイバネーション状態にはならず、強制的に電源が切れます。この場合、データは消えてしまいますので注意してください。

## Windowsのスタートメニューを使う

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイバネーション」に設定します( p.88 )。

ハイバネーションするには

「スタート」ボタン 「サスペンド」をクリックする

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチをスライドする

「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「電源のプロパティ」「パワーマネージメント」で、「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を  に設定すると、この方法ではハイバネーションできません。また、「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「詳細」で、「スタートメニューのサスペンドコマンドの表示」を  にすると、スタートメニュー内に「サスペンド」が表示されません。

## 液晶ディスプレイの開閉に連動して行う

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイバネーション」に設定 ( p.88 )してから、「省電力」の「スリープ」で「LCD連動スリープ」を「使用する」に設定します( p.88 )。

ハイバネーションするには

液晶ディスプレイを閉じる

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチをスライドする

 **チェック!!** 液晶ディスプレイの開閉でハイバネーションをする設定にした場合は、Windowsの終了処理中に液晶ディスプレイを閉じないでください。

## 自動的にハイバネーションする(自動スリープ制御)

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイバネーション」に設定 ( p.88 )してから、「省電力」の「パワーマネジメント」で「自動スリープ制御」を「使用する」に設定し、「自動スリープ開始時間」でハイバネーションするまでの時間を設定します( p.86 )。

ハイバネーションするには

設定した時間内にポインティングデバイスやキーボードからの入力を行わないと、自動的にハイバネーション状態になる

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチをスライドする

■ 設定できる時間は5、10、15、20、25、30分のみです。

自動スリープ制御を使うときは、次の手順で「CD-ROM自動挿入」の機能を  に設定してください。

 **チェック!!** CyberTrio-NXのモードが「ベーシックモード」になっていると、この操作はできません。「アドバンスモード」に変更してください( p.156 )。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」アイコンの前の  をクリックする
- 3 表示されたCD-ROM名をクリックしてから「プロパティ」ボタンをクリックする
- 4 「設定」タブをクリックし、「自動挿入」をクリックして  にする
- 5 「OK」ボタンをクリックする

## ハイバネーションするときの注意

次のようなときはハイバネーションしないでください。

- ・ プリンタへ出力中
- ・ 赤外線通信をしているとき(赤外線通信用アプリケーションを実行中)
- ・ 音声または動画を再生中
- ・ ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクにアクセス中
- ・ 電話回線を使って通信中
- ・ 通信用アプリケーションを実行中
- ・ ハイバネーション機能に対応していないアプリケーションを使用中
- ・ ハイバネーション機能に対応していないPCカードを使用中

### ハイバネーション処理中の注意

---

ハイバネーション処理中とは、ハイバネーション機能を実行してから本機がハイバネーション状態に入るまでの間のことです。この間はフロッピーディスクやCD-ROM、PCカードの入れ替えなどは行わないでください。ハイバネーション処理中にこのような本機の環境の変更を行うとハイバネーションできなくなります。

### ハイバネーション状態のときの注意

---

ハイバネーション状態で本機の機器構成を変更すると、データを復元できなくなる場合があります。

## データ復元中の注意

フロッピーディスクやCD-ROM、PCカードの入れ替えなど、本機の環境を変更しないでください。データを復元できなくなります。

## メモリを取り付けたり、取り外したりしたときには次の設定が必要です

メモリを取り付けたり、取り外したりしたときや、ハードディスクからハイバネーション用の一時待避ファイルを削除したときには設定が必要です。

**✓チェック!!** この操作は、MS-DOSモードで行います。Windows 95の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは行えません。必ず次の手順で操作してください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「MS-DOSモードでコンピュータを再起動する」を選び、「はい」ボタンをクリックする  
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 2 MS-DOSモードで再起動したら、キーボードからHIBERON【Enter】と入力する

**✓チェック!!** ハードディスクの空き容量が不足しているというメッセージが表示された場合は、不要なファイルを削除するなどしてハードディスクの空き容量を確保した後、手順1からやり直してください。必要なハードディスクの空き容量の目安は、本機に搭載されているメモリ容量 + 4Mバイトです。

- 3 次のようなメッセージが表示されたら、本機の電源を切り、5秒以上待ってから再度本機の電源を入れる

本機の起動時に、次のようなメッセージが表示されなくなれば、ハイバネーション機能が使用できます。

ハイバネーション用ファイルを作成しました。  
電源を切って5秒以上待ってから再び電源を入れてください

## ハイバネーション機能を使用しない設定にする

「ハイバネーション設定ユーティリティ」を使用して設定を解除します。このユーティリティでは、ハードディスク内に作成されているハイバネーションのためのファイルを削除します。

**チェック!!** 「ハイバネーション設定ユーティリティ」は、MS-DOSモードで起動します。Windows 95の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは実行することはできません。必ず次の手順で操作してください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「MS-DOSモードでコンピュータを再起動する」を選んでから、「はい」ボタンをクリックすると本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 2 MS-DOSモードで再起動したら、HIBEROFF【Enter】と入力する
- 3 次のようなメッセージが表示されたら、本機の電源を切って、5秒以上待ってから再度電源を入れる

ハイバネーション用ファイルを削除しました。  
電源を切って5秒以上たってから再び電源を入れてください

すでにハイバネーション用ファイルが削除されている状態で「ハイバネーション設定ユーティリティ」を実行すると、「ハイバネーション用ファイルは存在しません。」と表示されます。

## 省電力機能

本機では、ご購入時にあらかじめ液晶ディスプレイやスタンバイモード、サスペンドなどの省電力機能が設定されています(バッテリー駆動時)

スタンバイモードやサスペンド状態のときには、サスペンドランプが緑色に点滅します。電源ランプは、スタンバイモードのときには点灯、サスペンド状態のときには消灯しています。

ご購入時の状態では、これ以外にもハードディスクなどに関するさまざまな省電力機能が設定されています。詳しくは、「PART3 システムの設定」(p.80)をご覧ください。

また、本機で省電力機能の設定を行うには、次のような方法があります。

- ・BIOSセットアップユーティリティで設定する

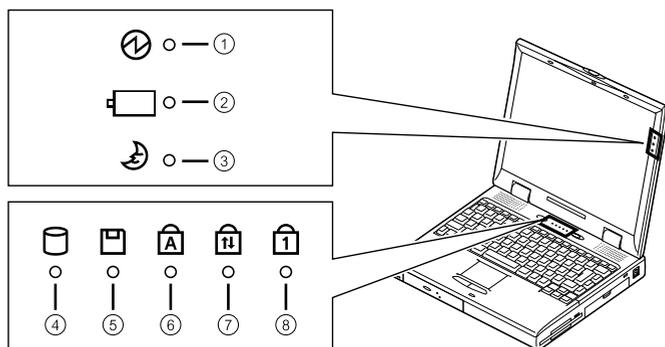
「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「BIOSセットアップユーティリティ」でBIOSセットアップユーティリティを起動し、「省電力」の項目で設定します。ここでの設定は、WindowsとMS-DOSモードの両方で有効です。

- ・Windowsのコントロールパネルで設定する

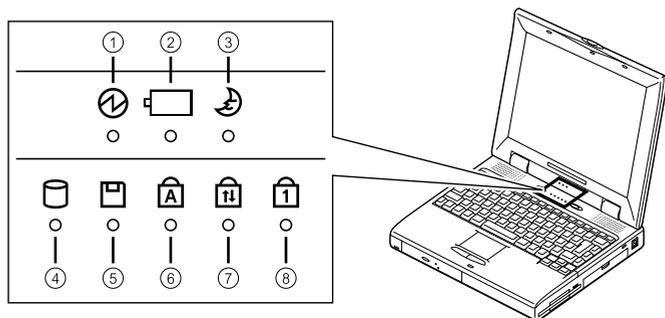
「スタート」「設定」「コントロールパネル」の「画面」や「パワーマネージメント」でディスプレイやハードディスクの省電力機能を設定できます。ここでの設定は、Windowsでのみ有効です。

# 表示ランプ

13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルの場合



その他のモデルの場合



### 電源ランプ①

- ・ 緑点灯 . . . . . 電源が入っている( AC電源で動作中)
- ・ オレンジ点灯 . 電源が入っている( バッテリーで動作中)
- ・ オレンジ点滅 . バッテリー容量が少ない( 容量が減るに従って、点滅が速くなる)
- ・ 消灯 . . . . . 電源が切れている、またはサスペンド状態

### バッテリー充電ランプ□

- ・ オレンジ点灯 . バッテリー充電中
- ・ 消灯 . . . . . ACアダプタが接続されていない、または充電完了

### サスペンドランプ♪

- ・ 緑点滅 . . . . . サスペンド状態、またはスタンバイモード
- ・ 消灯 . . . . . サスペンド状態、スタンバイモードではない

### ハードディスクアクセスランプⓂ

- ・ 緑 . . . . . アクセス中
- ・ 消灯 . . . . . アクセスしていない

### フロッピーディスクアクセスランプⓂ

- ・ 緑 . . . . . アクセス中
- ・ 消灯 . . . . . アクセスしていない

### キャップスロックキーランプⓂ

- ・ 緑 . . . . . 【CapsLock】がロックされている  
英字を入力すると大文字になります。
- ・ 消灯 . . . . . 【CapsLock】がロックされていない  
英字を入力すると小文字になります。

### ScrLock( スクロールロック )ランプⓂ

- ・ 緑 . . . . . 【ScrLock】がロックされている
- ・ 消灯 . . . . . 【ScrLock】がロックされていない

### ニューメリックロックキーランプⓂ

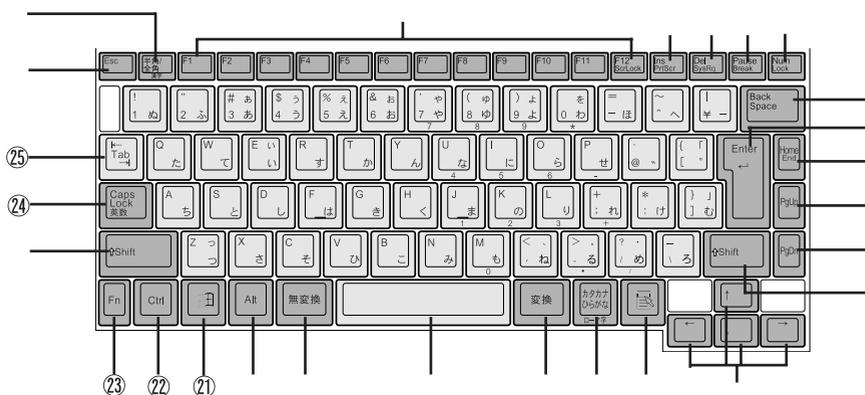
- ・ 緑 . . . . . 【NumLock】がロックされている  
キーを押すとキー前面の文字が入力されます。
- ・ 消灯 . . . . . 【NumLock】がロックされていない  
キーを押すとキー上面の文字が入力されます。

# キーボード

キーボードの基本的な使い方を説明します。

## キーの使い方

### キーの名称



【Esc】: エスケープキー

【半角 / 全角】: 半角 / 全角キー

【F1】~【F12】: ファンクションキー

【Ins】: インサートキー

【Del】: デリートキー

【Pause】: ポーズキー

【Num Lock】: ニューメリックロックキー

【Back Space】: バックスペースキー

【Enter】: エンターキー(リターンキー)

【Home】: ホームキー

【PgUp】: ページアップキー

【PgDn】: ページダウンキー

【Shift】: シフトキー

【 ⌘ ⌘ ⌘ 】: カーソル移動キー

【 ⌘ 】: アプリケーションキー

Windows 95使用時に使うことができます。

【カタカナ ひらがな】: かなキー

【変換】: 変換キー

スペースキー

【無変換】: 無変換キー

【Alt】: オルトキー

②1 【 ⌘ 】: Windowsキー  
Windows 95使用時に使うことができます。

②2 【Ctrl】: コントロールキー

②3 【Fn】: エフエヌキー

②4 【Caps Lock】: キャップスロックキー

②5 【Tab】: タブキー

## 特殊なキーの使い方

キー操作	説明
【Num Lock】	一度押すとニューメリックロックキーランプが点灯し、キー前面に青で表示されている数字や記号を入力できるようになります。 もう一度押すとニューメリックロックキーランプが消灯し、キー上面の文字が入力できるようになります。
【Shift】+【Caps Lock】	一度押すとキャップスロックキーランプが点灯し、ローマ字を入力すると大文字が入力されます。 もう一度押すとキャップスロックキーランプが消灯し、ローマ字を入力すると小文字が入力されます。
【Alt】+【半角 / 全角】	一度押すと日本語入力システムがオンになり、日本語が入力できるようになります。 もう一度押すと日本語システムがオフになり、日本語が入力できなくなります。
【Alt】+【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すとかな入力モードになり、キー上面のかな文字で日本語を入力できるようになります。もう一度押すとローマ字入力モードになり、キー上面のローマ字の組み合わせで日本語を入力できるようになります。
【Caps Lock】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すと英数字が入力されるようになります。
【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっていて英数字が入力されるモードになっているとき、一度押すとひらがなやカタカナを入力できるようになります。
【Fn】	他のキーと組み合わせて機能を実行します ( P.27 )

## ホットキー機能【Fn】の使い方)

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、本機の設定をキー操作で簡単に調整することができます。これをホットキー機能といいます。

組み合わせが可能なキーとその機能は【Fn】と同じ色（ブルー）でキー上面に印字されています。

### ホットキー機能一覧

機 能	キー操作	説 明
ハイパネーション	【Fn】+ スリープボタン	ハイパネーションにします。
ディスプレイ切り替え 	【Fn】+【F3】	別売のCRTディスプレイが接続されているとき、キーを押すごとに、「内蔵液晶ディスプレイ」「外部モニター」「両方表示」の順に切り替わります。
液晶バックライトの調節 1 	【Fn】+【F5】	キーを押すごとに、液晶ディスプレイのバックライトの明るさが増減します。
ピープ音量調節 	【Fn】+【F6】	ピープ音の音量を調節します。 (なし、小、中、大)
節電レベル選択 	【Fn】+【F7】	パワー・マネジメントレベルを変更して、望みの節電レベルを選択します。 選んだ内容がタスクバーにアイコンで表示されます。
輝度を上げる 2 	【Fn】+【F8】	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が増加します(4段階)
輝度を下げる 2 	【Fn】+【F9】	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が低下します(4段階)
スクロールロック	【Fn】+【F12】	【Scr Lock】の役割
プリントスクリーン	【Fn】+【Ins】	【Prt Scr】の役割
システムリクエスト	【Fn】+【Del】	【Sys Req】の役割
右Alt	【Fn】+【Alt】	右【Alt】の役割
右Ctrl	【Fn】+【Ctrl】	右【Ctrl】の役割
右Windows	【Fn】+【Windows】	右【Windows】の役割
Break	【Fn】+【Pause】	【Break】の役割
End Key	【Fn】+【Home】	【End】の役割

1 12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのみ

2 13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのみ

## キーボードを設定する

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルクリックする。「キーボードのプロパティ」が表示されます。

「キーボードのプロパティ」ウィンドウでは、ウィンドウ左上の「速度」「言語」「情報」の各タブを選択すると、次のような設定を行うことができます。

- ・文字入力時の繰り返し入力のタイミング調節
- ・カーソルの点滅速度の調節
- ・日本語入力システムの選択
- ・レイアウトの設定

### 「速度」タブでの設定

---

表示までの待ち時間

一つのキーを押し続けたときに、入力の繰り返しが始まるまでの時間を調節します。

表示の間隔

一つのキーを押し続けたときに、文字の入力が繰り返される間隔を調節します。

カーソルの点滅速度

カーソルの点滅する間隔を調節します。

### 「言語」タブでの設定

---

言語

よく使う日本語入力システムを一覧から選び、「標準に設定」をクリックすると、その日本語入力システムが「標準の言語」欄に表示され、登録されます。

追加

「追加」ボタンをクリックして「言語の追加」ウィンドウを表示させ、追加したい言語を選びます。

## プロパティ

日本語入力システムを一覧から選んで、「プロパティ」ボタンをクリックすると、環境設定のウィンドウが表示されます。ローマ字 / かな入力、入力モード / 方式、句読点の種類などを設定できます。

## 削除

削除したい言語を一覧から選んで、「削除」ボタンをクリックすると、その言語が一覧から削除されます。

## 言語の切り替え

言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選択できます。

## タスクバー上に状態を表示

タスクバー上に状態を表示をクリックして  にすると、日本語や日本語入力システムを簡単に切り替えることができるメニューがタスクバーに表示できます。

## 「情報」タブでの設定

---

### キーボードの種類

現在使用しているキーボードの種類が表示されます。本機以外の別売のキーボードを使用する場合の設定を行うこともできます。

### 別売のキーボードを使うには

---

別売のテンキーボードやキーボードを接続して使用することができます。テンキーボードは本機背面のマウス / テンキーボード用コネクタに接続します。キーボードはUSB対応のキーボードを本機のUSBコネクタに接続することができます。

**参照**▶ 別売のテンキーボードやキーボードの接続 「その他の機器を使う」( p.76 )

## 日本語入力の使い方

### 日本語入力のオン、オフの仕方

---

#### オンの仕方

- 1 タスクバーの右にある  をクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オン」をクリックする  
これで日本語入力がオンになりました。

#### オフの仕方

- 1 タスクバーの右にある  をクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オフ」をクリックする  
これで日本語入力がオフになりました。

本機には日本語入力システムとして、MS-IME97、ATOK11(一太郎モデルのみ)が組み込まれています。入力方法や操作方法については「ヘルプ」をご覧ください。

### MS-IME97の「ヘルプ」を参照するには

---

- 1 MS-IME97のツールバーから「ヘルプ」ボタンをクリックする
- 2 表示されたヘルプ画面で調べたい項目をダブルクリックする
- 3 「ヘルプ」を終了したいときは  をクリックする

### ATOK11の「ヘルプ」を参照するには(一太郎モデルのみ)

---

- 1 ATOK11のツールバーから「操作パレット」ボタンをクリックする
- 2 操作パレットの中からヘルプボタンをクリックする
- 3 表示されたヘルプ画面で調べたい項目をダブルクリックする
- 4 「ヘルプ」を終了したいときは  をクリックする

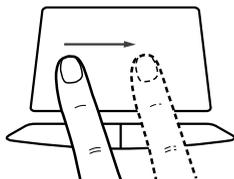
# ポインティングデバイス

本機には、ポインティングデバイスとしてNXパッドが内蔵されています。NXパッドは、コントロールパネルを使ってより使いやすいように設定できます。

## NXパッドの使い方

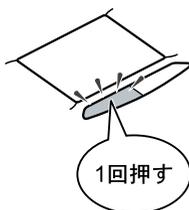
### ポインタ(カーソル)の移動

パッド上で指を動かすと、指の動きに合わせて画面上のポインタ(カーソル)が動きます。



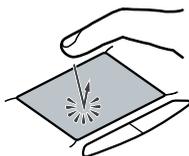
### クリック

左または右のクリックボタンを一回押します。



### タップ

クリックボタンを押す代わりに、指先でパッドを軽くたたいてクリックする方法をタップといいます。1回たたくことをタップ、2回連続してたたくことをダブルタップといいます。それぞれクリック、ダブルクリックするのと同じことです。

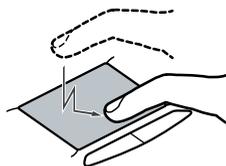


## ドラッグ

アイコンやフォルダの上にポインタを合わせ、左クリックボタンを押したまま指をパッド上で軽くすべらせると、ドラッグできます。



アイコンやフォルダの上にポインタを乗せた状態で、パッドに2回続けて触れ、2回目に触れたときにパッドから指を離さずにスライドさせてもドラッグできます。



- ✔ **チェック!!** 「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「電源のプロパティ」「パワーマネージメント」で、「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を  にしないでください。NXパッドが正常に動かなくなります。

## ポインティングデバイスを設定する

Windowsでポインティングデバイスをより使いやすく設定することができます。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする  
「マウスのプロパティ」が表示されます。

表示されたウィンドウの左上の各タブを選択すると、いろいろな設定を行うことができます。詳しくは、「マウスのプロパティ」のヘルプをご覧ください。

- ✔ **チェック!!** キー入力時にあやまってタップしないように設定することができます。「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」「マウス」で「タイピング」をクリックして  にすると、キーボードからキー入力中、タップを無効にすることができます。キー入力が終わるとタップが有効になります。

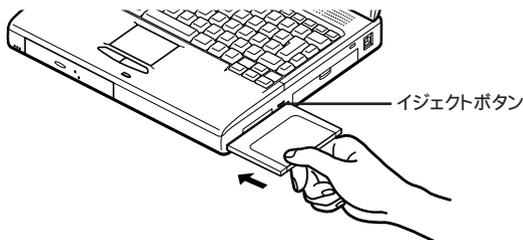
# フロッピーディスクドライブ

本機には3.5インチフロッピーディスクドライブが1台内蔵されています。

## フロッピーディスクのセットのし方と取り出し方

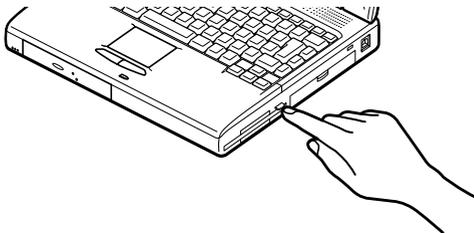
### フロッピーディスクのセットのし方

- 1 カチッと音がするまでフロッピーディスクをゆっくりと水平に差し込む  
フロッピーディスクがセットされるとイジェクトボタンが少し飛び出します。



### フロッピーディスクの取り出し方

- 1 イジェクトボタンを押す  
フロッピーディスクが少し飛び出します。



- 2 フロッピーディスクをゆっくりと水平に引き出す

**チェック!!** フロッピーディスクを書き込み、または読み取り中は、フロッピーディスクアクセスランプ  が点灯します。アクセスランプ点灯中は、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因となります。



## 内蔵ハードディスク

ハードディスクは高速で回転する円盤（ディスク）上に、Windows 95やアプリケーションなどのソフトウェアや、それらで作成したファイルを磁気的に記録して、読み出すための精密装置です。強い衝撃や過度の重量などが加わらないよう、取り扱いにご注意ください。

### ハードディスクのメンテナンス

Windows 95には、ハードディスクの障害を検出したり、アクセス速度を保つためのメンテナンスソフトが組み込まれています。

#### スキャンディスク

ハードディスクそのものやハードディスクに保存されているデータに、障害がないかどうかを調べるためのWindowsのツールです。もし障害があった場合は、可能な範囲で修復することができます。次の手順で操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」で「スキャンディスク」をクリックする  
「スキャンディスク」ウインドウが表示されます。
- 2 「エラーチェックをするドライブ」の一覧から、チェックするドライブをクリックする  
ここではハードディスクドライブを選びます。
- 3 「開始」ボタンをクリックする  
チェックが始まります。

チェックには数分から数十分かかることがあります。チェックが終了すると、「結果レポート」が表示されます。

## デフラグ

ハードディスクは長い間使っていると断片化がおこります。断片化とは、データがハードディスクにばらばらに保存されることで、データの読み書きのスピードの低下につながります。デフラグを実行すると、ばらばらに記録されたデータが最適化されます。

デフラグを実行するには、次の手順で操作します。

### 用語 デフラグ

「フラグメンテーション(断片化を解消する)」の意味の省略語。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」で「デフラグ」をクリックする
- 2 表示された「ドライブ選択」ウィンドウのリストからデフラグするハードディスクを選ぶ



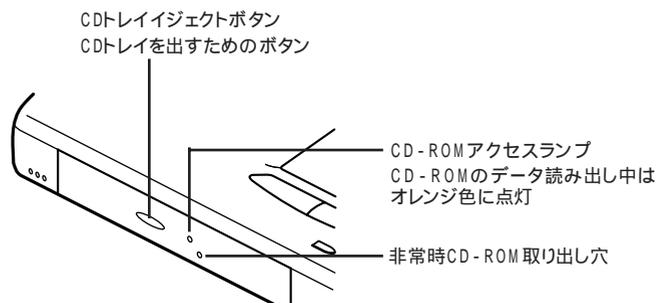
- 3 「OK」ボタンをクリックする  
「ディスクの最適化」ウィンドウが表示されます。
- 4 最適化を行う場合は、「開始」ボタンをクリックする  
「ディスクの最適化」が終了したら、画面の指示に従い、デフラグを終了します。

**チェック!!** デフラグの実行中は、絶対に電源を切ったり、再起動したり、サスペンドやハイバネーションしたりしないでください。

# CD-ROMドライブ

## (CD-ROMドライブ搭載モデルのみ)

ここではCD-ROMドライブの取り扱いについて説明しています。



■ CD-ROMドライブの形状はイラストと多少異なることがあります。

### 使用上の注意

- ・ CD-ROMドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れによってデータが正しく読み取れなくなるおそれがあります。
- ・ CD-ROMアクセスランプが点灯しているときは、CD-ROMを絶対に取り出さないでください。本機の故障の原因となります。
- ・ ラベルなどが貼ってあるなど、重心バランスの悪いCD-ROMを使用すると、本機の操作中に手に振動を感じる場合があります。これは故障の原因となるため、CD-ROMの盤面にはラベルやテープなどを貼らないでください。

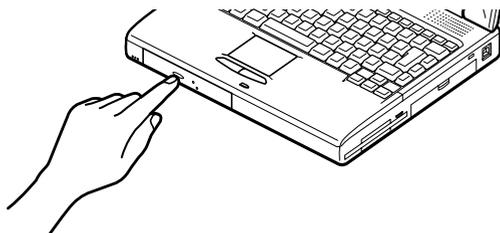
## CD-ROMのセットのし方と取り出し方

1

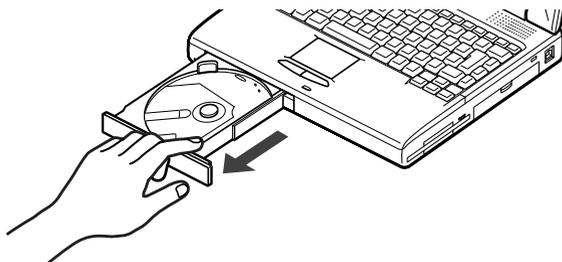
本機  
の  
機  
能

### CD-ROMのセットのし方

- 1 CDトレイジェクトボタンを押す  
CDトレイが少し飛び出します。

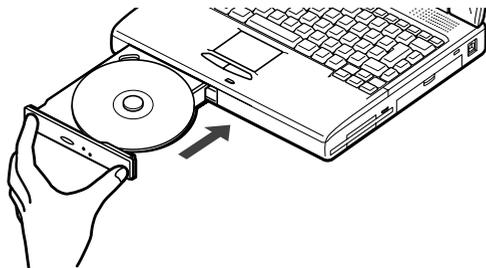


- 2 手でCDトレイを静かに引き出す



- 3 CD-ROMのデータ面（文字などが印刷されていない面）を下にして、傷など付けないようCDトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりとめ込む

- 4** CDトレイジェクトボタンに触れないようにCDトレイ前面を押し、CDトレイを元の位置に戻す



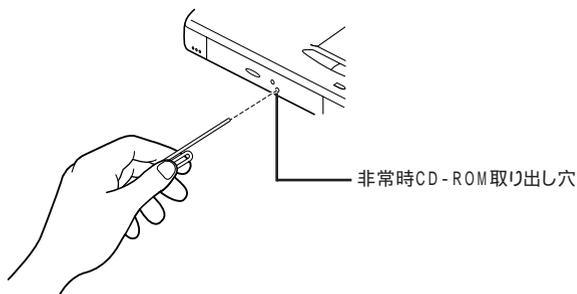
#### CD-ROMの取り出し方

---

- 1** CDトレイジェクトボタンを押す  
CDトレイが少し飛び出します。
- 2** 手でCDトレイを静かに引き出してから、CD-ROMを取り出す
- 3** CDトレイジェクトボタンに触れないようにCDトレイの前面を押し、CDトレイを元の位置に戻す

## 非常時のCD-ROMの取り出し方

ソフトウェアの暴走など不慮の原因で、CDトレイジェクトボタンを押してもCDトレイが出てこなくなった場合は、非常時CD-ROM取り出し穴に太さ1.3mm程の針金を押し込むと、トレイを手動で引き出すことができます。



■ 針金は太めのペーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。

**✓チェック!!** CDトレイジェクトボタンを押してもトレイが出てこない、といった非常時以外は非常時CD-ROM取り出し穴を使って取り出さないようにしてください。

## 画面表示機能

本機の液晶ディスプレイで表示できる解像度と表示色について説明しています。

本機は、液晶ディスプレイだけでなく、別売のCRTディスプレイやプロジェクタなどに画面を表示することもできます。

**参照**▶ 別売のディスプレイやプロジェクタについて「外部ディスプレイを使う」(p.63)

### 表示できる解像度と表示色

#### 用語 解像度

解像度とは、ディスプレイの画面上に表示できる文字や図面などの情報量を表すものです。この数字が大きくなるほど、画面上に一度に多くの情報を表示することができ、より細かな表現ができます。

本機のカラー液晶ディスプレイは、標準で次の解像度と表示色が表示できます。

解像度	表示色	本機の液晶ディスプレイのみに表示	別売のディスプレイのみに表示	本機の液晶ディスプレイと別売のディスプレイの同時表示 <sup>1</sup>
640×480ドット	26万色中256色			
	65,536色			
	1,677万色			
800×600ドット	26万色中256色 <sup>2</sup>			
	65,536色			
	1,677万色			
1,024×768ドット	26万色中256色 <sup>3</sup>	<sup>4</sup>		<sup>4</sup>
	65,536色	<sup>4</sup>		<sup>4</sup>

：画面のまわりが黒く表示される(拡大表示可能)

：13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルでは、画面のまわりが黒く表示される(拡大表示可能)

：フルスクリーン表示可能

1: 別売CRT未接続時は本機の液晶ディスプレイのみ

2: 12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルの出荷時の設定

3: 13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルの出荷時の設定

4: 13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのみ表示可能

## 解像度と表示色を変更する

ディスプレイの解像度と表示色の変更はコントロールパネルで設定します。

### 本機の画面の設定を変更する

**1** 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする  
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

**2** 「ディスプレイの詳細」タブをクリックする



**3** 解像度または表示色を変更する

解像度の変更:

「デスクトップ領域」でつまみを「大」の方向へドラッグすると高解像度に、「小」の方向へドラッグすると低解像度になります。

表示色の変更:

「カラーパレット」で▼をクリックし、選択一覧から変更します。この選択一覧には、使用している液晶ディスプレイとディスプレイアダプタが対応しているカラーパレットが一覧表示されます。

High Color( 16ビット )とは65,536色のことで、True Color( 24ビット )は1,677万色のことです。

**4** 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックする  
このあとは、画面の指示に従って操作してください。

# セキュリティ機能

本機には、本機の不正使用やデータなどの盗難を予防するためのセキュリティ機能が搭載されています。

**✓チェック!!** セキュリティ機能を使用している場合でも、「絶対に安全」ということはありません。重要なデータなどの管理、取り扱いには十分注意してください。

## 本機のセキュリティ機能

本機のセキュリティ機能には、次のようなものがあります。セキュリティ機能は、BIOSセットアップユーティリティの「セキュリティ」の「パスワード」または「I/Oロック」の項目で設定します( p.82 )

- ・ ユーザーパスワード

日常的に本機を使用する人のためのパスワードです。

- ・ スーパーバイザーパスワード

システム管理者など、本機の運用を管理する人のためのパスワードです。

**✓チェック!!** 設定したパスワードは忘れないように控えておくことをおすすめします。パスワードを忘れてしまった場合には解除処置が必要です。Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

**参照**▶ NECのお問い合わせ先 『NEC PC あんしんサポートガイド』

- ・ パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・ パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。また、機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り処置をお受けいたします。
- ・ パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
  1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
  2. 身分証明書(お客様ご自身を確認できるもの)
  3. 印鑑

- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### I/Oロック

---

シリアルポート、赤外線ポート、IDEインターフェースやパラレルポートなどを使用できないように設定できます。この機能により、プログラム、データなどが不正に流出するのを予防できます。I/Oロックは、BIOSセットアップユーティリティで設定します。

**参照**▶ I/Oロックを設定する 「セキュリティの設定」の「I/Oロック」(p.83)

## セキュリティ機能の使用例

セキュリティ機能は、本機の使用状況に合わせて次のように利用できます。

### 日常的な使用者以外が本機の設定を管理したい場合

---

本機を日常的に使用している人とは別の人が本機の設定をしたい場合、はじめに管理者がユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方を設定しておき、ユーザーパスワードのみを各利用者に通知します。この機能を使うと、管理者以外はBIOSセットアップユーティリティのパスワードに関する設定を変更することができなくなります。

### 使用者が本機の設定を管理したい場合

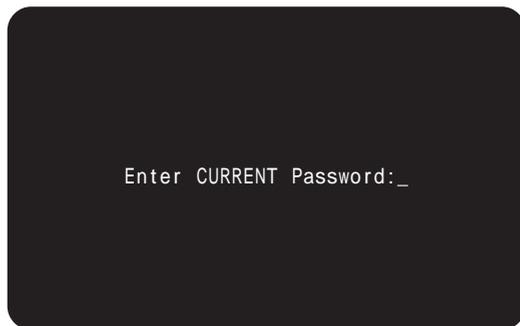
---

本機を日常的に使用する人がBIOSセットアップユーティリティのパスワードに関する設定も自由に行いたい場合、使用者がユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方を設定します。この機能を使うと、使用者以外には本機の起動やBIOSセットアップユーティリティの設定変更ができなくなります。

## パスワードを設定しているときの電源の入れ方

BIOSセットアップユーティリティの「セキュリティ」の「パスワード」の「パスワード確認タイミング」が「システム・セットアップ起動時」に設定されている場合は、次の手順で電源を入れます。

- 1 本機の電源を入れるとパスワードを入力する画面が表示される



- 2 設定されているパスワードをキーボードから入力する

- 3 【Enter】を押す

正しいパスワードが入力されると、Windowsが起動します。

- ✓チェック!!**
- ・パスワードの入力中に、キーボードの【Back Space】などを押しても文字を修正することはできません。
  - ・誤ったパスワードが入力されると、「×」と表示されます。パスワードの入力に3回失敗すると、パスワードが入力できなくなります。このときは、電源スイッチをスライドさせて電源を切ったあと、再度手順1からやり直してください。

## パスワードを設定しているときのレジューム

パスワードが設定されているときには次の手順でレジュームすることができます。

- 1 スリープボタンを押すか、または電源スイッチをスライドさせる  
キャップスロックキーランプ  とスクロールロックキーランプ  が交互に点灯します。このとき画面には何も表示されません。

## 2 設定されているパスワードをキーボードから入力する

-  **チェック!!** ユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方が設定されている場合、前回、電源を入れたときに入力したパスワードでないとレジュームできません。

## 3 【Enter】を押す

正しいパスワードが入力されると、レジュームされサスペンド前の内容が表示されます。

-  **チェック!!**
- ・パスワードの入力中に、【Back Space】を押しても文字を修正することはできません。
  - ・誤ったパスワードが入力されてもレジュームされません。

# 赤外線通信機能

赤外線通信とは、パソコンとパソコンの間をケーブルで接続せずに赤外線  
でデータの交換を行う通信方法です。

## 赤外線通信

本機では、IrDA SIR Data Link Std.に準拠した赤外線通信ができます。  
本機には、赤外線通信用のアプリケーションとして、「IntelliSync97」がイン  
ストールされています。

**参照** ▶ IntelliSync97の使いかた 「IntelliSync97」( p.141 )

## 赤外線通信機能を使えるようにする

- 1 BIOSセットアップユーティリティを起動する( p.81 )
- 2 「デバイス」の「通信」の「赤外線ポート」で、「設定方法」を「自動設  
定」または「手動設定」にする  
自動設定を選ぶと自動的に設定が行われますが、手動設定を選んだ  
ときは、BIOSセットアップユーティリティでCOM番号を設定する必要  
があります( p.84 )
- 3 BIOSセットアップユーティリティを終了し、システムを再起動す  
る
- 4 「IntelliSync97」を起動し、「IntelliSyncランチャー」で設定を行う

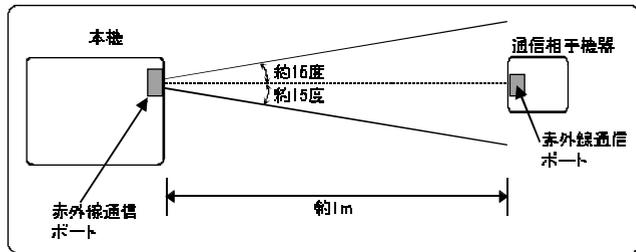
**チェック!!** 異なる機器との通信には、両装置間の通信に対応したソフトウェアが必要です。

こんなときはうまく通信できないことがあります。

- ・異なる機器と接続した場合(相手の機器の性能に依存するため)
- ・通信相手機器がIrDA規格に準拠していない場合

## 機器の配置について

赤外線通信を行う機器は次のように配置してください。



- ・ 互いの機器の赤外線通信ポートが真正面に向き合うようにする
- ・ 互いの機器の赤外線通信ポートの距離を約1m以内にする

### 機器を配置するときの注意

- ・ 赤外線通信ポートを汚したり、傷つけたりしない
- ・ 通信相手機器と本機との間に赤外光を遮るような物を置かない
- ・ 互いの機器どうしを接続させない



### チェック!!

通信相手の赤外光が本機の赤外線通信ポートまで届かないときや通信相手機器の通信可能距離が本機より短い(本機の場合は約1m以内)ときは、通信相手の機器が本機の通信可能範囲にあっても通信できないことがあります。このようなときは、お互いの赤外線通信ポートを真正面に向き合わせて、できる限り近くに置いてください。このとき、お互いの装置が接触しないようにしてください。

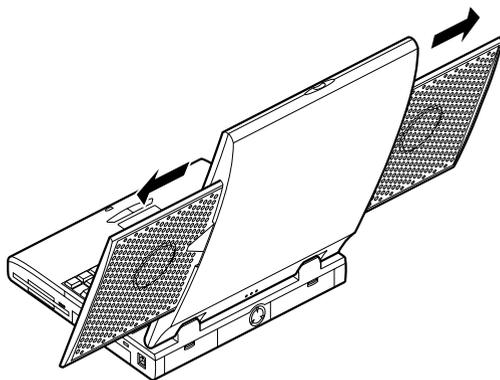
こんなときは通信可能距離が短くなってしまうことがあります。

- ・ 直射日光や蛍光灯の直下
- ・ 機器どうしが正しく向き合っていない
- ・ 他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器の近くにある
- ・ 本機の赤外線通信ポートの指向性(約15度程度)の範囲を越えているとき

## フラットパネルスピーカ (フラットパネルスピーカ搭載モデルのみ)

### 取り扱い方

液晶ディスプレイの左右両端のくぼみに両手の指を掛け、左右のフラットパネルスピーカを同時にゆっくりと引き出してください。

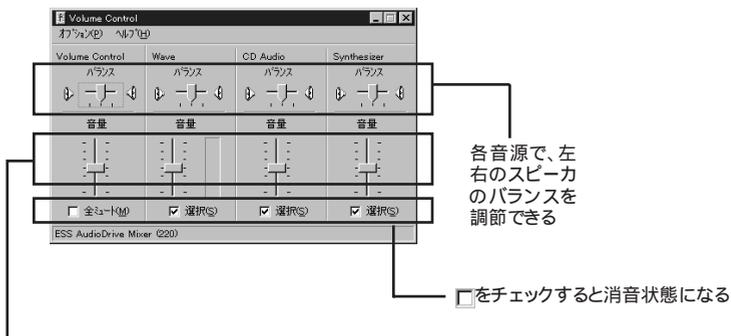


- チェック!!**
- ・液晶ディスプレイを開閉するときは必ずフラットパネルスピーカを収納してください。
  - ・左右のフラットパネルスピーカは連動しています。片側だけを出すことはできません。
  - ・液晶ディスプレイの角度を調節するときは、フラットパネルスピーカは持たないようにしてください。
  - ・音声を再生中には、フラットパネルスピーカや本体が多少振動することがありますが故障ではありません。
  - ・フラットパネルスピーカを使うときは、完全に引き出すようにしてください。引き出していないと音がこもってしまうことがあります。
  - ・再生するデータによっては、ボリュームやトーンを上げると音われすることがあります。そのようなときは最適なレベルに調整してください。

## サウンド機能

ボリュームコントロールを使うと、内蔵音源の再生音量や録音時の入力レベルを調節することができます。

ボリュームコントロール画面を表示するには、「スタート」ボタン「プログラム」「アクセサリ」「マルチメディア」「ボリュームコントロール」をクリックします。



つまみを上下すると、音量調節ができる

メニューバーの「オプション」「プロパティ」で「プロパティ」ウィンドウを開き、「再生」「録音」「その他」のどれかを選択すると、表示項目を切り替えることができます。



メニューバーの「オプション」「トーン調整」を選択すると、「トーン」ボタンがボリュームコントロール画面に追加表示されるので、それをクリックするとトーン調整画面で調整が行えます。

# 内蔵モデム

## (FAXモデム内蔵モデルのみ)

内蔵のモデムを介して電話回線に接続すると、インターネットや電子メールなどのやり取りができます。

### 電話回線との接続

#### 接続可能な電話回線のコンセントについて

本機に接続可能な電話回線は2線式のみです。電話回線に接続する前に、使用する電話回線の種類を確認してください。

- ・ モジュラージャック式

本機に付属のモジュラーケーブルで接続できます。

- ・ 3ピンプラグ式コンセント

市販の3ピンプラグ変換アダプタを使用するか、NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。

- ・ 直結配線方式

モジュラー式コンセントに変更する必要があります。NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。

 **チェック!!** 内蔵のFAXモデムボードは、加入電話回線に適合するように設定されています。加入電話回線以外と接続すると、うまく動作しないことや、内蔵FAXモデムボードやパソコン本体などを破損するおそれがあります。

#### 電話回線を接続する

#### ⚠警告



感電注意

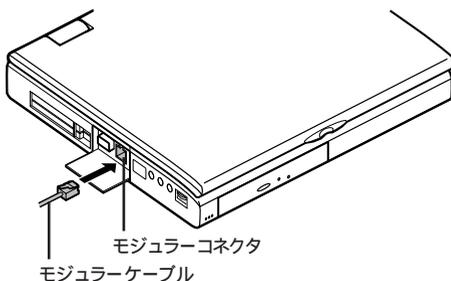
雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

## △注意

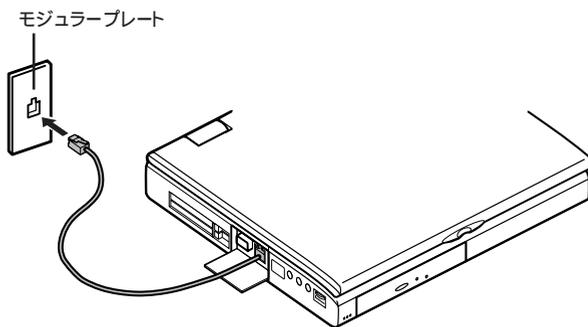


モジュージャックの端子に触れないでください。電話回線と接続しているモジュージャックを抜いたときに電話がかかってくると、電話回線上に電圧がかかるため、端子に触れると感電することがあります。

- 1 本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 電話機のモジュラーケーブルをモジュラーコンセントなどから取り外す
- 4 本機のモジュラーコネクタのカバーを開け、付属のモジュラーケーブルの一方を本機のモジュラーコネクタに接続する



- 5 モジュラーケーブルのもう一方をモジュラープレートなどに接続する



## ダイヤル設定のし方

**✓チェック!!** CyberTrio-NXのモードが『ベーシックモード』になっていると、この操作はできません。「アドバンスモード」に変更してください( p.156 )

ダイヤルの設定を確認または変更したいときは、次の手順で行います。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「モデムのプロパティ」ウィンドウ下段の「ダイヤルのプロパティ」ボタンをクリックする  
「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが開きます。



使用する場所の市外局番を入力する  
内線電話から外線へ接続する場合には必ず入力する

プッシュ回線を使用するときは「トーン」、ダイヤル回線のときは「パルス」に設定してください。回線の種類が不明の場合は、NTTにお問い合わせください。

## 本機からファックスする

コンピュータのデータを直接FAXに送信したり、コンピュータでFAX受信することもできます。

本機にはファクシミリ通信機能を使うために、次のFAXソフトウェアがインストールされています。

- ・ TELFAX -NX
- ・ Microsoft FAX( 使い方はヘルプをご覧ください )

**参照** ▶ TELFAX-NXの使い方 『インターネットガイド』

## 通信機能使用上の注意

-  **チェック!** 本機では、データ通信、ファクシミリ通信、インターネット通信、留守番電話機能、スピーカーホン機能(ハンズフリー機能)の各機能が使えますが、これらの機能は添付のソフトウェア以外では動作しない場合があります。これらの機能の詳しい使用方法については『インターネットガイド』をご覧ください。
- ・内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。
  - ・スピーカーホン機能を使用中、回線の接続場所や状態により、内蔵スピーカーからの音量が小さくなる場合があります。このような場合は、ヘッドホンやイヤホンまたは外付けスピーカーのご使用をおすすめします。また、スピーカーホン機能を使うときには、内蔵または外付けマイクロホンのご使用をおすすめします。
  - ・スピーカーホン通話中に相手側からの肉声以外の音(保留音など)が入ると、スピーカーからの音が大きくなったり、小さくなったりすることがあります。その場合は、送話の音量レベルを下げてください。
  - ・加入電話回線がトーン式かダイヤル式かわからないときは、NTTに確認してください。
  - ・回線の状態によっては、接続しにくかったり、通信時に雑音が入ることがあります。
  - ・キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れてしまいます。
  - ・コードレスホンや親子電話などの加入電話回線以外の回線をご使用の場合は、正常なデータの送受信ができなくなる場合があります。
  - ・回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できない場合があります。
  - ・電話局の交換機の種類によっては、14400bpsでのファクシミリ通信ができないことがあります。この場合には、通信速度を9600bpsにしてください。
  - ・データ通信を行う場合、フロー制御はRTS/CTSに設定してください。それ以外に設定すると、データ抜けが生じる可能性があります。
  - ・通常の電話回線を使用する場合、送信レベルはご購入時の設定から変更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合には、送信レベルの調整が必要なことがあります。送信レベルの調整は、工事担当者以外が行うことは法律で禁じられていますので、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

- ・ハイパーターミナルなどを使って通信する場合、ATコマンドが必要です。詳しくは、下記のREADMEファイルをご覧ください。

C : ¥WINDOWS¥ATCREAD.DOC

## 周辺機器を使う

別売の周辺機器の接続方法や注意事項などを説明しています。

### このPARTの内容

- 周辺機器を利用する
- プリンタを使う
- 外部ディスプレイを使う
- PCカードを使う
- メモリ(RAM)の増設
- その他の機器を使う

## 周辺機器を利用する

プリンタや外部モニターなど、本機に接続して使用する機器全般を、周辺機器といいます。本機には、さまざまな周辺機器を接続するためのコネクタやポートが用意されています( p.4 )

### 周辺機器を利用するための知識

#### ⚠警告



感電注意

雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

#### ⚠注意



感電注意

周辺機器の取り付け / 取り外しをするときは、本機と周辺機器の電源コードを抜いてください。電源コードがACコンセントに接続されたまま、周辺機器の取り付け / 取り外しをすると、感電の原因となります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

### 周辺機器の取り付け / 取り外し時の注意



#### チェック!!

- ・本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、周辺機器を取り付けたり取り外したりしないでください。本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、本機を元の状態に戻し、データを保存してから電源を切り、周辺機器の取り付けや取り外しを行ってください。
- ・別売の周辺機器を取り付けるときには、その周辺機器が本機に対応していることを確認してください。また、周辺機器によっては使用上の制限事項がある場合がありますので、周辺機器の説明書などをよくお読みになり使用してください。当社製以外の周辺機器を使用する場合は、機器の製造元 / 発売元などに上記の事項を確認してください。
- ・周辺機器の取り付けや取り外しは、取扱説明書に従って正しく行ってください。
- ・周辺機器によっては、専用のケーブルが必要な場合があります。接続する前に確認のうえご用意ください。

## 周辺機器のドライバについて

周辺機器を使うには、本機と周辺機器の仲介をする「デバイスドライバ」と呼ばれる周辺機器専用のソフトウェアを、本機にセットアップする(組み込む)必要があります。

このセットアップは次の2つの場合があります。

- ・「プラグ&プレイ機能」対応の周辺機器の場合

機器を本機に接続してWindowsを起動すると自動的にドライバの設定が行われ、機器が使用可能な状態になります。

- ・「プラグ&プレイ機能」に対応していない周辺機器の場合

機器を本機に接続したあと、ドライバの設定が必要な場合があります。設定の詳細は、本機やドライバに添付のReadMeファイルや周辺機器のマニュアルをご覧ください。



### チェック!!

- ・ドライバが正しく組み込めなかった場合は、周辺機器が使用できないばかりか、本機の動作が不正になることがあります。その場合は、周辺機器のマニュアルに従って、再度ドライバを正しく組み込んでください。
- ・READMEファイルは、「メモ帳」などのテキスト形式のファイルが開けるアプリケーションで簡単に見ることができます。

## プラグ&プレイ(PnP)セットアップについて

本機にインストールされているWindows 95には、プラグ&プレイ機能用に多くの周辺機器のドライバがあらかじめ添付されています。接続しようとする周辺機器がプラグ&プレイ機能に対応しており、かつ添付されたドライバの中に該当するものがあれば、周辺機器の検出と設定が自動的に行われます。

### 電源を入れる / 切るときの順序

本機に周辺機器を接続しているときには、次の順番で電源を入れたり、切ったりするようにしてください。

電源を入れるとき

周辺機器の電源を入れる

本機の電源を入れる

電源を切るとき

本機の電源を切る

周辺機器の電源を切る

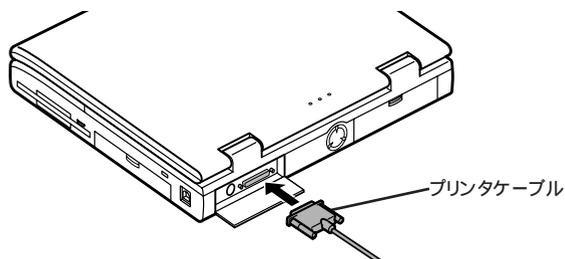
## プリンタを使う

プリンタを使用するには、そのプリンタ機種に対応した専用のドライバが必要です。ドライバは通常フロッピーディスクなどの形でプリンタに添付されています。また、本機にも代表的なプリンタのドライバが数多く添付されています。

### プリンタを接続する

本機とプリンタとを接続するには、25ピンパラレルインターフェイスに対応したプリンタケーブルが必要です。

- 1 本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 本機の平行コネクタにプリンタケーブルの小さいほうのコネクタを向き(上下)に注意して差し込む



- 4 プリンタケーブルの大きい方のコネクタをプリンタのコネクタに差し込む  
接続についてはプリンタのマニュアルもご覧ください。
- 5 プリンタの電源ケーブルと本機の電源コードをACコンセントに接続する

プリンタの機種によっては、本機のUSBコネクタに接続できるものもあります。

## プリンタを設定する

プリンタの設定は、使用するプリンタの機種ごとに、Windowsの「プリンタ」ウィンドウで行います。例えば、会社で使うプリンタと家庭で使うプリンタの機種が異なる場合は、それぞれの機種に対して設定を行う必要があります。

- 1 プリンタが正しく接続されていることを確認する
- 2 「スタート」ボタン 「設定」 「プリンタ」をクリックする  
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。  
すでに設定済みのプリンタがある場合は、その機種のアイコンが表示されています。
- 3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックする  
「プリンタウィザード」ウィンドウが開きます。



- 4 「次へ」ボタンをクリックし、表示されたリストの中から、使用するプリンタの製造元とプリンタ機種（または互換性のある機種）を選択する



プリンタにインストールディスク/ドライバディスクが添付されている場合は、「ディスク使用」ボタンをクリックして、インストールディスクのデータをインストールします。

- 5 「次へ」ボタンをクリックすると、プリンタを使用できるポートのリストが表示されるので、LPT1を選ぶ



- 6 「次へ」ボタンをクリックし、表示された画面の「プリンタ名」欄に使用するプリンタの名前を付ける

この欄には手順4で選択したプリンタの機種名がプリンタ名として表示されるので、特に名前を付け直す必要がなければ、そのまましておきます。

このプリンタを通常使用するプリンタとして登録する場合は、下欄の「はい」をクリックしてください。

## 7 「次へ」ボタンをクリックすると、テスト印刷を行うかどうかを選択する画面が表示される

「はい(推奨)」を選択すると、テストページの印刷によってプリンタの接続や設定が正常に行われたかどうかを確認することができます。この場合は、あらかじめプリンタのマニュアルに従って用紙などをセットしておいてください。



## 8 設定が終了したら「完了」ボタンをクリックする もし、今までの設定を変更したい場合は、「戻る」ボタンをクリックして 前の設定画面に戻り、設定をやり直します。

手順4でプリンタドライバをインストールしなかった場合やインストールが必要な場合は、ここで「ディスクの挿入」画面が表示されますので、プリンタのマニュアルをご覧になり、指定されたディスクをセットしてください。設定がすべて終了すると、設定したプリンタのアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

## ネットワーク上の共有プリンタを使うには

ネットワークに接続されているプリンタを使用する場合は、次のように設定します。設定するには、あらかじめプリンタのパスを調べておく必要があります。プリンタのパス名など、ネットワークプリンタについては、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

- 1 「プリンタを設定する( p.59)」の手順1～3を行う
- 2 「次へ」ボタンをクリックする
- 3 「ネットワークプリンタ」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする  
次の画面が表示される



- 4 ネットワークパス名を入力する  
「参照」ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているプリンタが表示されるので、そこから選ぶこともできます。
- 5 「次へ」ボタンをクリックし、あとは画面の指示に従ってプリンタの設定を行う

## 外部ディスプレイを使う

本機にCRTディスプレイやプロジェクタを接続することができます。CRTディスプレイの大画面で作業したり、プロジェクタを使ったプレゼンテーションなどが可能になります。

### CRTディスプレイを接続する

#### CRTディスプレイ接続時の解像度と表示色

別売のCRTディスプレイでは、次の解像度と表示色を表示できます。

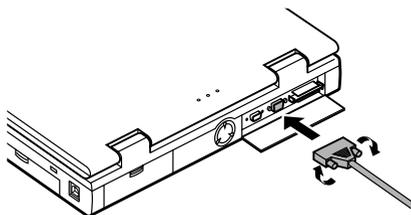
表示解像度 (ドット)	水平走査 周波数(KHz)	垂直走査 周波数(Hz)	表示色		
			256色	65,536色	1,677万色
640×480	31.5	60			
	37.9	72			
	37.5	75			
	43.3	85			
800×600	37.9	60			
	46.9	75			
	53.7	85			
1,024×768	48.4	60			-
	56.5	70			-
	60.0	75			-
	68.7	85			-
1,280×1,024	64.0	60		-	-
	80.0	75		-	-
1,600×1,200	62.5	48	*	-	-

:表示可能

- :表示不可能

\* :インターレス表示

- 1** 本機の電源を切る
- 2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3** ディスプレイ用ケーブルを本機のCRT用コネクタに差し込み、ネジを回して固定する



- 4** CRTディスプレイの電源ケーブルを、ディスプレイ背面の電源コネクタに差し込む  
詳しくはCRTディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- 5** CRTディスプレイの電源ケーブルのプラグをACコンセントに接続する  
CRTディスプレイを接続した場合、本機はACアダプタでお使いください。

## 프로젝타를接続する

### 液晶 프로젝타と解像度について

別売の液晶 프로젝타を使用する場合は、接続する前に次の表を参考にして表示解像度などを確認してください。

表示解像度 (ドット)	走査周波数		프로젝타モデル	
	水平(kHz)	垂直(Hz)	ViewLight S800	ViewLight V600
640 × 480	31.5	60		
800 × 600	37.9	60		*
	46.9	75		-
1,024 × 768	60.0	75	*	-

: 表示可能。ただし、ユーザー調整が必要。

- : 表示不可能

\* : 簡易表示です。なお、表示画素数はViewLight S800は800 × 600ドット、ViewLight V600は640 × 480ドットです。それぞれの画素数と異なる解像度を表示するときは、文字や罫線の大きさなどが不均一になったり、一部欠ける場合があります。

接続について詳しくは、 프로젝타のマニュアルをご覧ください。

## 外部ディスプレイの設定

### 表示ディスプレイの切り替え

本機のホットキー機能を使うと、キー操作で簡単に画面の出力先の切り替えを行うことができます。

**参照** ▶ ホットキー機能について 「キーボード」( p.25 )

### ディスプレイに合わせて本機を設定する

別売のCRTディスプレイを使用したとき、表示されたメッセージが適切でなかったり、プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合には、次の操作を行ってください。

- 1** 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする  
「画面のプロパティ」が開きます。
- 2** 「ディスプレイの詳細」タブをクリックし、「詳細プロパティ」ボタンをクリックする
- 3** 「モニター」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする
- 4** 「すべてのデバイスを表示」がある場合はクリックする
- 5** 表示した「デバイスの選択」ウィンドウで「製造元」と「モデル」を選択する  
ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」で「(スタンダードモニター)」、「モデル」では接続したディスプレイに対応した解像度を選んでください。
- 6** 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする
- 7** 再び「OK」ボタンをクリックする
- 8** 画面のメッセージに従って、Windowsを再起動する  
これでディスプレイの設定が完了しました。

## PCカードを使う

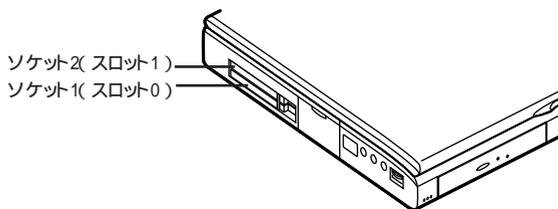
本機ではPC Card Standard準拠のPCカードを使用できます。PCカードを使うことで、本機の機能を拡張したり、さまざまな周辺機器を接続することができます。

### 用語 PCカード

PCカードとは、社団法人日本電子工業振興協会( JEIDA )とPCMCIAとの間で共同で標準化を進めているカードの名称のことです。PCカードにはさまざまな種類があり、用途も幅広く使われています。メモリカードやモデムカード、SCSI インターフェイス対応機器をつなげるためのSCSIカードなどがあり、ハードディスクとして使われるカードもあります。

#### PCカードスロットについて

- ・TYPE IかTYPE IIのPCカードを上下のスロットに1枚ずつ2枚まで、または上下のスロットを合わせて1枚のTYPE IIIのPCカードを使用できます。
- ・ZVポート対応のPCカードはソケット1( スロット0 )でのみ1枚使用できます



**チェック!!** ZVポートおよびCardBus対応のPCカードは、本機にインストールされているWindows 95でのみ使用できます。市販のWindows 95では使用できません。

#### PCカードの取り扱いについて

PCカードは精密にできています。PCカードやスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- ・高温多湿あるいは低温の場所に放置しないでください。
- ・濡らさないでください。
- ・重いものを乗せたり、ねじ曲げたりなどしないでください。
- ・ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。
- ・PCカードの端子部分に金属などを差し込まないでください。

- ・本機のPCカードスロットでは、PC Card Standardに準拠していないPCカードは使用できません。対応していないPCカードを無理に押し込むと、故障の原因となります。

## PCカードのセットのし方と取り出し方

### ⚠注意



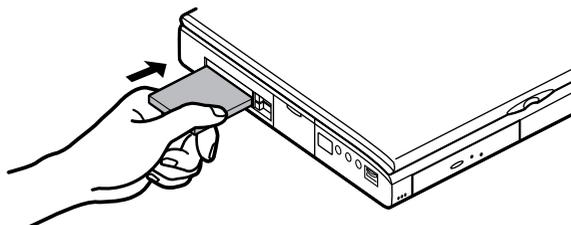
高温注意

本機の使用中や使用直後はPCカードが熱くなっていますので、出し入れにご注意ください。

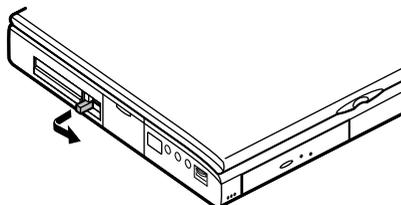
- ✔ **チェック!!** ・PCカードには表と裏があり、スロットへの差し込む方向も決まっています。まちがった向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。
- ・本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、PCカードをセットしたり、取り出したりしないでください。本機の機器構成が変更されると、データが消失してしまうことがあります。
- ・アプリケーションを使用中は、PCカードをセットしたり、取り出したりしないでください。

### PCカードのセットのし方

- 1 PCカードの差し込む向きを確認し、ラベル面を上にして、水平に静かに差し込む



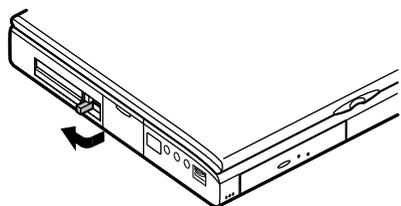
- 2 セットするとPCカードスロットのイジェクトボタンが少し飛び出すので、イジェクトボタンを手前に引き出してから右に倒す



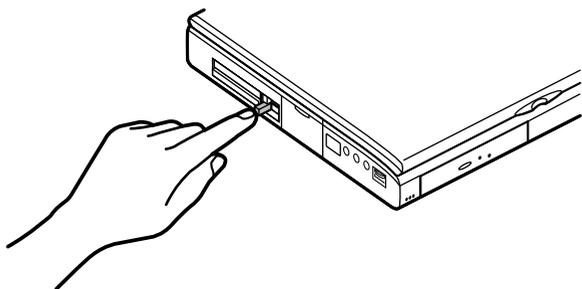
**チェック!!** PCカードイジェクトボタンを完全に引き出さずに無理に倒そうとすると、破損の原因となります。

#### PCカードの取り出し方

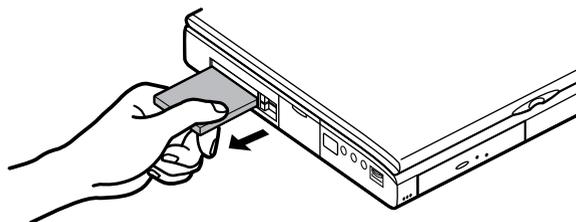
- 1 イジェクトボタンを図のように起こす



- 2 起こしたイジェクトボタンを押す



### 3 PCカードが少し出てくるので、水平に静かに引き抜く



#### PCカードの設定

PCカードを使用するときには、次のような設定が必要な場合があります。

##### 割り込みレベルの設定

PCカードによっては、割り込みレベルの設定が本機の他の設定と重なる場合があります。PCカードのマニュアルと、このマニュアルのp. 197をご覧ください。割り込みが重なると、割り込みレベルが重なっていないか確認してください。割り込みが重なる場合は、重ならないように設定を変更してください。

## メモリ(RAM)の増設

オプションの増設RAMボードを付加することで、より多くのアプリケーションを同時に立ち上げたり、大きなデータをより高速に扱うことができるようになります。

本機に使用できる増設RAMボードは次のとおりです。

型名	メモリ容量
PK-UG-M009	16Mバイト
PK-UG-M010	32Mバイト
PK-UG-M011	64Mバイト

### 増設RAMボードの取り付けと取り外し

#### ⚠注意



感電注意

増設RAMボードの取り付け / 取り外しをするときは、電源コードとバッテリーバックを取り外してください。電源コードやバッテリーバックが取り付けられたまま増設RAMボードの取り付け / 取り外しをすると、感電の原因となります。

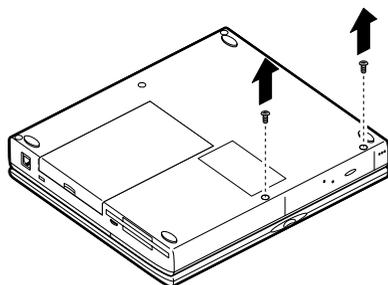


#### チェック!!

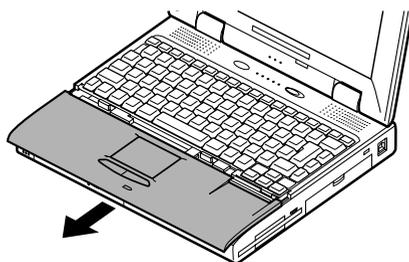
- 増設RAMボードは静電気に大変弱く、身体に静電気を帯びた状態で増設RAMボードを扱うと破損する原因となります。増設RAMボードに触れる前に、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてください。
- 増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因となります。
- ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。
- 増設RAMボードを間違った向きで無理に取り付けようとすると、本機のコネクタ部や増設RAMボードが故障する原因となります。取り付け方向に注意してください。
- あらかじめ取り付けられているRAMボードを取り外し、そのスロットを空の状態にすると、本機は使用できません。

## 増設RAMボードの取り付け方

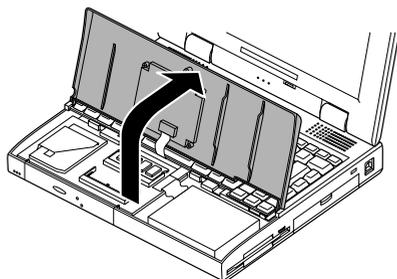
- 1 本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す  
フラットパネルスピーカ搭載モデルの場合は、液晶ディスプレイを閉じる前にフラットパネルスピーカを収納してください。
- 4 バッテリーパックを本機から取り外す( p.9 )
- 5 図の2カ所のネジをプラスドライバで取り外す



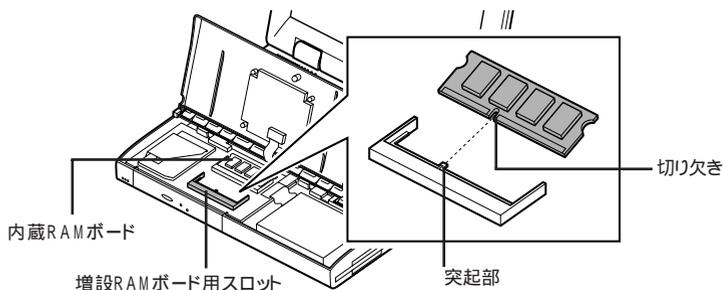
- 6 本機の液晶ディスプレイを開け、本機前面の図の部分を手前に引き出す



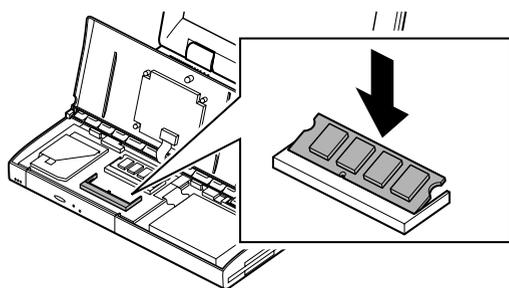
## 7 引き出した前面部分を図のようにして開く



- 8** 増設RAMボードの切り欠き部分を本機コネクタの突起部に合わせ、本機コネクタに対して約30度の挿入角度で、増設RAMボードの端子が当たるまで挿入する  
 奥のコネクタには、あらかじめRAMボードが1枚取り付けられています  
 (実物はイラストと多少異なる場合があります)



- 9** カチッと音がする位置まで増設RAMボードを本機コネクタに倒し込む

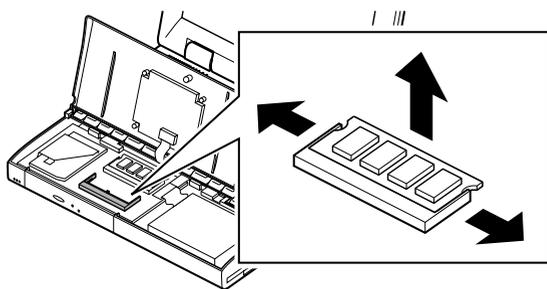


## 10 開いたカバーを元に戻し、本機底面に外したネジを取り付ける

メモリ容量を最大の128Mバイトに増設するときは、あらかじめ取り付けられているRAMボードを取り外して、別売のRAMボード(64Mバイト)を2枚取り付けてください。

### 増設RAMボードの取り外し方

- 1 「増設RAMボードの取り付け方」の手順1～7に従って、本機のカバーを開く
- 2 コネクタの両端部分を左右に押し広げながら、増設RAMボードを斜めに引き抜く



## 3 開いたカバーを元に戻し、本機底面に外したネジを取り付ける

増設RAMボードの取り外しを行ったときは、ハイバネーション機能の再設定が必要となります。「ハイバネーション機能 ( p.15 )」をご覧ください。

### 増設したメモリ ( RAM ) の確認

増設が正常に行われ、メモリが本機に認識されているかどうかを確認します。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

## 2 表示された「システムのプロパティ」の「情報」タブで確認する

メモリ容量が増えていない場合は、次のことを確認してください。

- ・増設RAMボードが正しく取り付けられているか
- ・本機で使用できる増設RAMボードを取り付けているか

## その他の機器を使う

本機では、次のような別売の機器を使用することができます。

種類	機器
オーディオ機器	ヘッドホン、マイクロホン、オーディオ装置など
入力装置	マウス、外付けキーボード、テンキーボード、デジタルカメラ、イメージスキャナーなど
通信機器	外付けモデム、ターミナルアダプタなど

本機のどのコネクタに機器を接続するかは、機器が使用しているインターフェイスによって異なります。また、機器によってインターフェイスが決まっている訳ではありません。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

### シリアルコネクタ

シリアル対応機器を接続するためのコネクタです。一般的なコンピュータ用語ではこれをシリアルポートと呼び、WindowsではCOM1やCOM2の名称で呼ばれています。

### パラレルコネクタ

別売のプリンタを取り付けるためのコネクタです。パラレル対応機器であればプリンタ以外の機器も接続することができます。なお、WindowsではプリンタポートまたはLPT1と呼んでいます。

### USBコネクタ

USB対応機器を取り付けるためのコネクタです。USBとはUniversal Serial Busの略称で、シリアルポートよりはるかに高速なデータ転送が可能なインターフェイスです。USB対応機器は、コネクタの形状が統一されており、127台までの機器を接続することができます。また、電源を切らずにプラグの抜き差しが可能で、プラグ&プレイ機能にも対応しています。

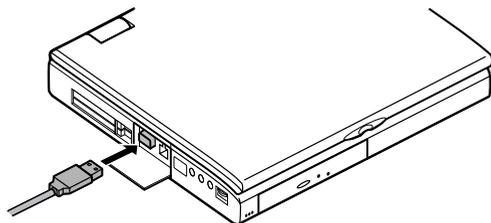
-  **チェック!!** コントロールパネルの「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「デバイスマネージャ」の画面にある「ユニバーサルシリアルコントローラ」の記述は削除しないでください。

## 別売の外付けキーボードの接続

別売の外付けキーボードは、USBコネクタに取り付けます。別売の外付けキーボードには、マウス用コネクタが用意されており、別売のマウスを取り付けることができます。

- チェック!!** Windows 95のSafeモードやMS-DOSモードで起動したときは、外付けのキーボードを使うことはできません。

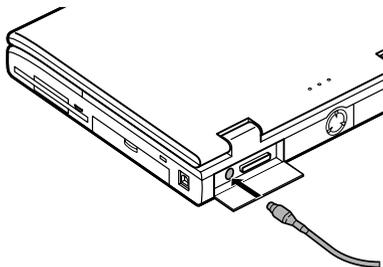
外付けキーボードの設定は、本機のキーボードと同じように、Windowsで設定することができます。



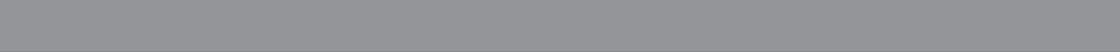
## マウス / テンキーボード用コネクタ

別売のマウスやテンキーボードを取り付けるためのコネクタです。このコネクタには、別売の外付けフルキーボードを取り付けることはできません。

- チェック!!** マウスやテンキーボードを接続するときは、必ず本機の電源を切ってから接続してください。



マウスとテンキーボードの両方を同時に接続したいときは、別売のマウスに添付されているYアダプタを使ってください。



## システムの設定

セキュリティや省電力など、本機の使用環境を設定できるBIOSセットアップユーティリティの使い方について説明しています。

### このPARTの内容

BIOSセットアップユーティリティ



## BIOSセットアップユーティリティ

BIOSセットアップユーティリティは、セキュリティ、省電力、周辺機器など本機の使用環境を設定することができます。

### BIOSセットアップユーティリティで設定できること

- ・ セキュリティ  
パスワード、I/Oロックの設定
- ・ デバイス  
通信、ポート、システムデバイスなどの設定
- ・ 省電力  
パワーマネージメント、サスペンド、レジュームなどの設定
- ・ 起動  
起動デバイスの起動優先順位の設定



#### チェック!!

- ・ BIOSセットアップユーティリティの設定を初期化する場合は、本機の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押します。キーの説明が表示されたら【F9】を押して「F9: 全ての設定値を出荷時の状態にして元に戻る」を選択します。
- ・ BIOSセットアップユーティリティを使用中に「BIOS設定情報が不正です」が表示された場合は、BIOSセットアップユーティリティの設定を上記の手順で初期化してから、もう一度「BIOSセットアップユーティリティ」で設定を変更してください。
- ・ BIOSセットアップユーティリティで変更した設定は、省電力および日付と時刻の設定を除いて、システム再起動後に有効となります。
- ・ 「スーパーバイザパスワード」、「ユーザーパスワード」が設定されている場合、BIOSセットアップユーティリティ起動時にパスワード入力が必要になります。

## BIOSセットアップユーティリティを使う

### BIOSセットアップユーティリティを起動する

「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「BIOSセットアップユーティリティ」を選ぶ

「BIOSセットアップユーティリティ」が起動します。

### BIOSセットアップユーティリティを操作する

- 1 「セットアップ」メニューをクリックし、設定したい項目をクリックする  
ツールバーから設定したい項目のアイコンをクリックして設定画面を表示させることもできます。
- 2 設定画面が表示されたら、各項目の設定を変更する  
各項目の設定について詳しくは、設定項目一覧をご覧ください。
- 3 設定が終了したら「OK」ボタンをクリックする
- 4 更新するかどうかメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 5 設定したい項目をすべて設定したら、「ファイル」メニューをクリックして「設定保存と再起動」または「アプリケーションの終了」をクリックする

 **チェック!!** BIOSセットアップユーティリティで設定した内容は、省電力および日付と時刻の設定を除いて本機を再起動したあと有効になります。

各設定項目に関する詳しい説明は、ヘルプをご覧ください。

## 設定項目一覧

### セキュリティの設定

メニューバーの「セットアップ」 「セキュリティ」を選択するか、ツールバーのセキュリティアイコンをクリックして設定画面を開きます。

## パスワード

項目名	選択肢	備考
ユーザーパスワード	設定値：0～9、 a～z、 A～Z	ユーザーパスワードを設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されていないときは設定できません。
スーパーバイザーパスワード ( )	設定値：0～9、 a～z、 A～Z	スーパーバイザーパスワードを設定します。
パスワード確認タイミング ( )	セットアップ起動時 / システム・セットアップ起動時	起動時にパスワードを確認するかどうかを設定します。

 **チェック!!** スーパーバイザーパスワードが設定してあるときに、ユーザーパスワードで起動すると、表中に( )マークのついている項目は変更できなくなります。

### ・パスワードに使用できる文字

半角英字	a～z、A～Z
半角数字	0～9
字数	6文字以内

### ・パスワードの設定方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。「新しいパスワード」に設定したいパスワードを入力し、確認のため「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じように入力します（入力した文字は\*で表示されます）

### ・パスワードの変更方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。「古いパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力します。確認のため、「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じように入力します。

### ・パスワードの取り消し方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。「古いパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、「新しいパスワード」のボックスにカーソルを合わせてから【Enter】を押します。

- チェック!!** ・スーパーバイザーパスワードを設定せずにユーザーパスワードのみを設定することはできません。

## I/Oロック

項目名	選択肢	備考
IDE インターフェース	ロックする / ロックしない	IDE インターフェースの I/O をロックするかどうかを設定します。
シリアルポート(A)	ロックする / ロックしない	シリアルポートの I/O をロックするかどうかを設定します。
赤外線ポート	ロックする / ロックしない	赤外線ポートの I/O をロックするかどうかを設定します。
パラレルポート	ロックする / ロックしない	パラレルポートの I/O をロックするかどうかを設定します。
サウンド機能	ロックする / ロックしない	サウンド機能の I/O をロックするかどうかを設定します。

- チェック!!** IDE インターフェースをロックすると、IDE デバイス(ハードディスク、CD-ROM ドライブなど)が使用できなくなります。この設定により、ハードディスクから起動できなくなった場合は、電源を入れた直後に【F2】を押して、設定を初期値に戻してください。

## デバイスの設定

メニューバーの「セットアップ」 「デバイス」を選択するか、ツールバーのデバイス関連のアイコンをクリックして設定画面を開きます。

「通信」では、「シリアルポート(A)」と「赤外線ポート」の設定ができます。

## シリアルポート(A)

項目名	選択肢	備考
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ詳細設定が必要です。
COM 番号	COM1 / COM2 / COM3 / COM4	COM 番号を設定します。

割り込みは、次のように割り当てられます。  
COM1:IRQ4、COM2:IRQ3、COM3:IRQ4、COM4:IRQ3

### 赤外線ポート

項目名	選択肢	備考
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ詳細設定が必要です。
COM 番号	COM 2 / COM 3 / COM 4	COM 番号を設定します。

割り込みは、次のように割り当てられます。  
COM2:IRQ3、COM3:IRQ4、COM4:IRQ3

### パラレルポート

項目名	選択肢	備考
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ詳細設定が必要です。
LPT 番号	LPT1/LPT2	LPTの番号を指定します。
モード	ECP / EPP / 双方向 / 出力のみ	出力モードを指定します。

### サウンド

項目名	選択肢	備考
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定	「手動設定」を選択した場合のみ次の設定が必要です。
I/Oアドレス	220h/240h/260h/280h	I/Oアドレスを設定します。
割り込みレベル設定	IRQ5 / IRQ7 / IRQ9 / IRQ10 / IRQ11	割り込みレベルを設定します。
DMA チャンネル	DMA#0 / DMA#1 / DMA#3	DMA チャンネルを設定します。
フルデュプレックス DMA チャンネル	DMA#0 / DMA#1 / DMA#3	フルデュプレックスモードで使用するDMA チャンネルを設定します。

## キーボード

項目名	選択肢	備考
起動時のNum Lock	使用しない / 使用する	起動時にNum Lockするかどうかを設定します。

## ポインティングデバイス

項目名	選択肢	備考
N X パッドインターフェース	使用しない / 使用する	内蔵のNXパッドを使用するかどうかを設定します。

## ディスプレイ

項目名	選択肢	備考
LCD画面の伸縮	使用しない / 使用する	低解像度時に画面を拡大表示するかどうかを設定します。

「システムデバイス」では、次の「日付と時刻」、「メモリ」、「カードスロット」についての設定または確認ができます。

## 日付と時刻

項目名	選択肢	備考
時刻設定	-	時刻を設定します。
日付設定	-	日付を設定します。

## メモリ

項目名	選択肢	備考
総メモリ容量(KB)	-	総メモリ容量を確認できます。

## カードスロット

項目名	選択肢	備考
カードスロットの電源電圧	3.3V / 5V	PCカードスロットの電圧を選択します。

## 省電力の設定

メニューバーの「セットアップ」 「省電力」を選択するか、ツールバーの省電力アイコンをクリックして設定画面を開きます。

### パワーマネジメント

項目名	選択肢	備考
パワーマネジメント	使用しない / 使用する	省電力(パワーマネジメント)機能を使用するかしないかを設定します。「使用する」を選択したときのみ以降の設定が可能になります。
設定方法	ユーザー設定 / 動作時間優先 / 動作性能優先	パワーマネジメントを選択します。「ユーザー設定」を選択した場合のみ、以降の項目を設定します。その他は自動設定されます。
スタンバイモード制御 / 開始時間	使用しない / 使用する スタンバイモード開始時間:1分/2分/4分/6分/8分/10分/15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態になってから設定した時間が経過すると、自動的にスタンバイモードになります。
自動スリープ制御 / 開始時間	使用しない / 使用する 自動スリープ開始時間:5分/10分/15分/20分/25分/30分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態になってから設定した時間が経過すると自動的にサスペンド、またはハイバネーションします。
HDD モータ制御 / 開始時間	使用しない / 使用する HDD モータ制御開始時間:5秒/30秒/45秒/1分/2分/4分/6分/8分/10分/15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。ハードディスクのアクセスがなくなり、設定した時間が経過すると、ハードディスクのモータを停止します。

設定により、タスクバーのアイコンが次のようにかわります。

ユーザー設定: 

動作時間優先: 

動作性能優先: 

フルパワー(パワーマネジメントを使用しない): 

画面制御 / 開始時間	使用しない / 使用する 画面制御開始時間: 30秒 / 45秒 / 1分 / 2分 / 4分 / 6分 / 8分 / 10分 / 15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態になってから設定した時間が経過すると、画面表示を停止します。
オーディオ制御	使用しない / 使用する	「使用する」を選択した場合、30秒後にオーディオ制御を開始します。
周辺機器インターフェース制御	使用しない / 使用する	省電力モードに応じて周辺機器への電源供給を制御するかどうかを設定します。
CPUスピード	100% / 50% / 25%	CPUスピードの設定を行います。

### パワーセーブ

項目名	選択肢	備考
バックライト制御 1	最大光量 / 通常光量 / 自動設定	バックライトの明るさを設定します。
AC電源時のパワーマネジメント	使用しない / 使用する	AC電源時にパワーマネジメントを有効にするか無効にするかを設定します。
バッテリー放電モード 2		

- 13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルでは、「バックライト制御」の設定は、「最大光量」のみ有効となります。
- 本機で設定しても無効です。

## スリープ

項目名	選択肢	備考
モード設定	サスペンド / ハイバネーション	サスペンドするか、ハイバネーションするかを選択します。
スリープボタン	使用しない / 使用する	本機のスリープボタンの機能を無効にするか有効にするかを設定します。
LCD 連動スリープ	使用しない / 使用する	LCD 開閉によるサスペンド / レジューム、またはハイバネーションを使用するかどうかを設定します。

## レジューム

項目名	選択肢	備考
モデム受信でレジューム	使用しない / 使用する	モデム経由でFAXなどの受信があった場合、レジュームするかどうかを設定します。
時刻指定でレジューム設定 / レジューム時刻	使用しない / 使用する 「レジューム時刻」	指定した時刻にレジュームするかどうかを設定します。使用する場合はその時刻を入力します。

FAX モデム内蔵モデルのみ有効です。

## システムディスクの起動順位の設定

メニューバーの「セットアップ」「起動」を選択するか、ツールバーの起動アイコンをクリックして設定画面を開きます。

項目名	選択肢	備考
起動順位	指定なし / ハードディスク / フロッピーディスク / CD-ROM	システムを起動するディスク装置の順番を指定します。起動順位1に指定したディスク装置から順番に起動されます。

# 添付アプリケーションの 削除と追加

本機に添付のアプリケーションを使うとどんなことができるか、また、それらを本機から削除したり、追加したりする方法を説明しています。

## このPARTの内容

添付アプリケーションの紹介

アプリケーションの削除と追加

一太郎Office&一太郎モデルのみ)

Word&Excel&Outlook

(Wordモデルのみ)

インターネットエクスプローラ4.0

インターネットエクスプローラ

関連プログラム

BIGLOBE Walker

インターネットアクセスマネージャ

(一太郎モデル/Wordモデルのみ)

ジェットサーファ

(一太郎モデル/Wordモデルのみ)

翻訳アダプタ CROSSROAD

(一太郎モデル/Wordモデルのみ)

PC-VANナビゲータ

AOL

NIFTY MANAGER

VirusScan

駅すばあと

(一太郎モデル/Wordモデルのみ)

TELFAX-NX

(一太郎モデル/Wordモデルのみ)

IntelliSync97

Angel Line for Windows

(一太郎モデル/Wordモデルのみ)

筆ぐるめ

(一太郎モデル/Wordモデルのみ)

プレーヤ-NX

CyberTrio-NX

CyberWarner-NX

英語モードフォント

その他のアプリケーション

(一太郎モデル/Wordモデルのみ)

## 添付アプリケーションの紹介

添付されている主なアプリケーションと本章の構成について説明します。

### 知っておきたい便利な機能とツール

機能	アプリケーション
ワープロを使う HTMLを作成する	一太郎8、Word
表計算ソフトを使う	三四郎8、Excel
メール、スケジュール、文書などを管理する	FullBand、Outlook
インターネットを利用する 電子メールを送受信する	インターネットエクスプローラ Outlook Express BIGLOBE Walker(BIGLOBE専用) PC-VANナビゲータ(PC-VAN専用) AOL(AOL専用) NIFTY MANAGER(NIFTY専用)
インターネットの情報を管理する	インターネットアクセスマネージャ BIGLOBE Walker
ホームページのリンク先へ直接アクセスできるようにする	ジェットサーファ
英日、日英間の翻訳をする	翻訳アダプタ CROSSROAD
BIGLOBEへオンラインで入会する	BIGLOBE Walker
AOLへオンラインで入会する	AOL
NIFTYへオンラインで入会する	NIFTY MANAGER
駅間の距離や金額などを確認する	駅すばあと
オーディオ、ビデオなどを再生する	プレーヤ-NX
電話をかけたリ、FAXを送受信する	TELFAX-NX
赤外線 / シリアルケーブル接続してファイルをシंक 同期 させる	IntelliSync97
パソコンで電話番号検索サービスを利用する	Angel Line for Windows
ハガキの宛名書き、本文書きをする	筆ぐるめ
コンピュータウイルスを検出して除去する	VirusScan
ユーザのレベルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定する	CyberTrio-NX
OSが必要とするファイルを保護する	CyberWarner-NX
海外製アプリケーションの文字表示を正しくする	英語モードフォント
パソコン用語の意味を知る	パソコン用語集

## このPARTの構成について

アプリケーションの起動、追加、削除の仕方について、アプリケーションごとに説明しています。アプリケーションによっては、ヘルプに詳しい説明がのっているものもあります。

- ・アプリケーションの起動方法
- ・アプリケーションの削除方法
- ・アプリケーションの追加方法

下記のアプリケーションについては、使い方も説明しています。

- ・IntelliSync97

### ヘルプについて

---

各アプリケーションにはオンラインヘルプがついています。

操作方法や機能などがわからないときにご覧ください。

ヘルプを起動するには、各アプリケーションのメニューバーの「ヘルプ」をクリックします。

# アプリケーションの削除と追加

アプリケーションの削除と追加に関する注意事項を説明します。

## 削除について

本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除の手順を説明します。

- ✔ **チェック!!** ・ 削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認の上、削除してください。
- ・ VP13C/WS、VP13C/WDの場合、削除したアプリケーションを再度追加するためには、別売のCD-ROMドライブが必要になります。
- ・ ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
- ・ ハードディスクの空き容量を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き容量を増やすことができます。
- ・ 一部のアプリケーションでは、「削除の準備」を行ってから削除します。
- ・ アイコンを削除する場合は、「アイコン削除の準備」( p.93 )を行ってから削除します。
- ・ CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

### 削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、次の手順を行ってください。CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする  
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。
- 2 「セットアップと削除」を選択する

-  **チェック!!** ・削除したとき、アプリケーションによってはディレクトリやデスクトップ、スタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。
- ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。

#### アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2 「表示」 「オプション」をクリックする
- 3 「表示」タブの「ファイルの表示」で「すべてのファイルを表示」を選択する
- 4 「OK」ボタンをクリックする  
この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

#### 追加について

次のような場合に、本機にアプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを本機に追加する場合
- ・本機に標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合
- ・VP13C/WS、VP13C/WDの場合、再追加するには、別売のCD-ROMドライブが必要です。
- ・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・一部のアプリケーションでは、次の「プロダクトの選択」を行ってから再追加します。

## プロダクトの選択

---

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、次の手順を行ってください。

各アプリケーションのCD-ROMを使用する場合は必要ありません。

- 1** 本機のCD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「セットアップと削除」を選択する
- 4** 「セットアップ」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」を起動する
- 5** 「次へ」をクリックする
- 6** 「セットアッププログラムの実行」の「セットアッププログラムのコマンドライン」に「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」と入力する

例      CD-ROMドライブ名がQの場合  
          Q: ¥NSETUP.EXE

- 7** 「完了」をクリックする  
    「プロダクトの選択」が表示されます。



## 一太郎Office8(一太郎モデルのみ)

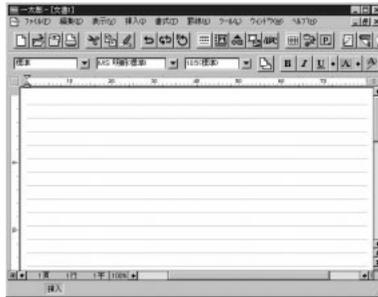
一太郎Office8には、「一太郎8」、「三四郎8」、「FullBand」が入っています。「一太郎8」はワープロ、「三四郎8」は表計算ソフトです。「FullBand」は、メール、スケジュール、文書などを一元的に管理するツールです。

### 起動

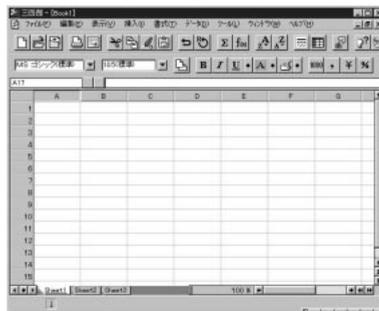
- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「JUSTSYSTEMアプリケーション」で「一太郎8」または「三四郎8」または「FullBand」をクリックする

初回起動時には、使用許諾画面が表示されます。使い方など詳しくは、添付の一太郎Office8のマニュアル、または『入門ガイド』をご覧ください。

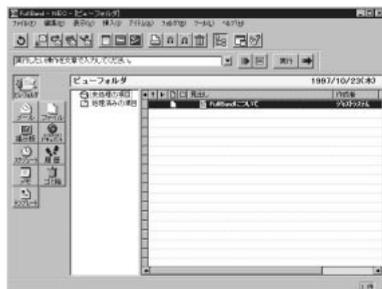
#### 一太郎8



#### 三四郎8



## FulIBand



### 削除

一太郎8が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。  
常駐解除の方法は添付の一太郎Office8のマニュアルをご覧ください。

- 1** 「削除の準備 ( p.92 )の手順1～2を行う
- 2** 「セットアップと削除」の一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリックし、「追加と削除」をクリックする
- 3** 「一太郎Office8のセットアップ開始」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「一太郎Office8の追加と削除」で「ファイルの追加・削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「一太郎Office8のファイルを追加・削除します」で「ファイルの削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「削除するファイルを選択します」が表示されたら「全て選択」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする  
削除するアプリケーションや機能を選んで削除することもできます。

- 7 「ジャストシステム共通ファイル(32bit)も削除しますか?」と表示されたら「削除しない」をクリックする  
「ATOK11をWindowsや他のアプリケーションが使用しているためコンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されることがあります。そのときは、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8 「フォルダ名を確認してください1/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「フォルダ名を確認してください2/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「フォルダ名を確認してください3/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「ファイルの削除を開始します」で「削除開始」をクリックする  
削除が始まります。
- 12 一太郎Office8のセットアップ終了」が表示されたら「再起動」をクリックする

追加

---

- 1 CD-ROMドライブに「一太郎Office8CD-ROM」をセットする
- 2 「Welcome to JUSTSYSTEM」で「SETUP Office8のセットアップ」をクリックする
- 3 「一太郎Office8のセットアップ」で「セットアップ開始」をクリックする
- 4 「使用許諾契約の確認」の画面が表示されたら、「確認」ボタンをクリックする
- 5 「一太郎Office8のセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「使用者名・法人名を登録します」が表示されたら必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリックする

- 7 「シリアルナンバー・User IDを登録します」と表示されたら、入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「使用者名・シリアルナンバーの確認」で「登録する」をクリックする
- 9 「セットアップ方法を選択します」が表示されたら「標準」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「標準モードでセットアップすると...」で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「セットアップするフォルダを設定します」で「次へ」ボタンをクリックする
- 12 「ファイルのコピーを開始します」で「コピー開始」をクリックする  
インストールが始まります。
- 13 「インターネットへダイヤルアップで接続しますか？」で「はい」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 14 「JustNetに入会するには」で「確認」をクリックする
- 15 「一太郎Office8セットアップ終了」と表示されたら「再起動」をクリックする



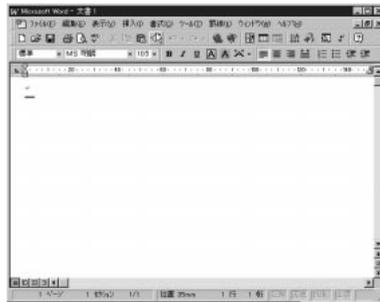
# Word & Excel & Outlook (Wordモデルのみ)

「Word」はワープロ、「Excel」は表計算、「Outlook」はメール、スケジュール、文書などを一元的に管理するツールです。

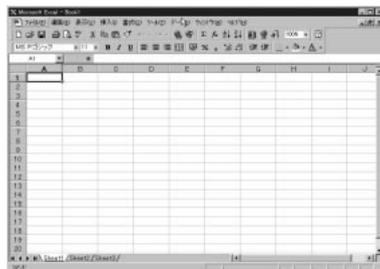
## 起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Microsoft Word」または「Excel」または「Outlook」をクリックする

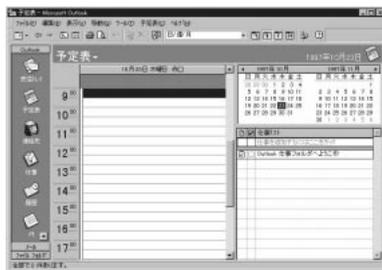
Word



Excel



## Outlook



### 削除

ここではWord 97で説明しています。Excel 97とOutlook 97を削除するときは本文中の「Word 97」をそれぞれに置き換えてください。

**チェック!!** 再追加したWord 97、Excel 97、Outlook 97をすべて削除するときは、追加した順と逆順に削除を行ってください。

Word 97、Excel 97、Outlook 97の順に再追加したとき削除は、Outlook 97、Excel 97、Word 97の順に行います。

- 1 「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows CD-ROM」をセットする。
- 2 「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」が表示されたら「Microsoft Word 97のセットアップ」をクリックする
- 3 「Microsoft Word 97セットアップ」で「すべて削除」をクリックする
- 4 「Microsoft Word 97を削除しますか?」と表示されたら「はい」をクリックする  
削除が始まります。

**チェック!!** 「共有コンポーネントの削除」が表示されたら「削除しない」をクリックしてください。

- 5 「Microsoft Word 97のセットアップが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする  
再起動のメッセージが表示された場合は、「再起動」をクリックしてください。

### アイコンの削除

デスクトップに「Microsoft Word」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

- 1 「Microsoft Word」アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューで「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリックする

### 追加

ここではWord 97で説明しています。Excel 97とOutlook 97を再追加するときは本文中の「Word 97」をそれぞれに置き換えてください。

- 1 CD-ROMドライブに「Excel 97& Word 97& Outlook 97」のCD-ROMをセットする
- 2 「Microsoft Word 97のセットアップ」をクリックする
- 3 「Microsoft Word 97(Excel 97/Outlook 97)セットアップ」が表示されたら「継続」をクリックする
- 4 「ユーザー情報の登録」で必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「ユーザー情報の確認」で「OK」ボタンをクリックする
- 6 プロダクトID番号が表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7 「Microsoft Word 97を次のフォルダにセットアップします」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 8 セットアップ方法の選択で、「標準セットアップ」、「カスタムセットアップ」のどちらかを選択する  
ここでは「標準セットアップ」で進めます。

- 9 「標準セットアップ」が表示されたら「継続」をクリックする  
インストールが始まります。
- 10 「Microsoft Word 97セットアップが終了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 11 「Windows 95の再起動」が表示されたら再起動する

アイコンの追加

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2 C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある「Microsoft Word」アイコンを右クリックする
- 3 「コピー」をクリックする
- 4 デスクトップの画面上で右クリックし、「貼り付け」を左クリックする  
デスクトップにWordのアイコンが表示されます。

# インターネットエクスプローラ4.0

インターネット上のホームページを見るための「ブラウザ」と呼ばれるアプリケーションです。

## 起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Internet Explorer」の「Internet Explorer」をクリックする



## 削除

- 1 インターネットエクスプローラ4.0を削除する前に、ごみ箱に入っているファイルを削除してもよいか確認する  
デスクトップ上の「ごみ箱」を開いて、保存したいファイルがあれば別の場所へ移動してください。
- 2 「削除の準備 ( p.92 )」の手順1 ~ 2を行う
- 3 「セットアップと削除」の画面の一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 4 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0とそのすべてのコンポーネントをアンインストールする」をチェックし、「詳細」ボタンをクリックする

- 5** 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0と次のすべてのコンポーネントをアンインストールする」をチェックし、続けて次のすべてのコンポーネントにチェックマークを付け、「OK」ボタンをクリックする

Microsoft FrontPage Express

Microsoft Music Control

Microsoft NetMeeting 2.0

Microsoft VM for Java

Microsoft Web 発行ウィザード 1.5

Outlook Express

VDOLive Player

- 6** 「Microsoft Internet Explorer 4.0セットアップメンテナンスプログラムを始めます」のメッセージの後に、「Internet Explorer 4.0と共有コンポーネントを削除するには、[ OK ]をクリックしてください。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

- 7** 「Microsoft Internet Explorer 4.0を削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

「Internet Explorer 4.0により、ごみ箱の形式が変更されました。」と表示されることがあります。現在、ごみ箱に入っているファイルを保存する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックして削除処理を終了し、手順1からやり直してください。ごみ箱に入っているファイルをすべて削除してもよい場合は、「OK」ボタンをクリックして削除処理を続けます。

削除が始まります。削除には数分かかります。

- 8** 「すべてのアプリケーションを閉じて、新しい設定でWindowsを再起動します」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されることがあります。このとき、実行中のプログラムでデータを処理しているものがある場合は、それらのデータを保存してプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 9** 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら、  
「OK」ボタンをクリックする  
自動的に本機が再起動します
- 10** 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力する
- 11** 「ファイルの種類をActive Movieの関連付け、すべて再生できるようにしますか?」というメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする  
次のコンポーネントに対して、そのコンポーネント用の個人設定を削除するよう表示されたら、必要に応じて「はい」ボタンが「いいえ」ボタンをクリックしてください。
- Microsoft Internet Explorer 4.0
  - Windows デスクトップのアップデートコンポーネント
  - インターネット接続ウィザード
  - Microsoft NetMeeting 2.0
  - Microsoft Outlook Express
  - VDOLive Player
  - Microsoft FrontPage Express

#### 追加

Internet Explorer 4.0は、インターネットから最新版をダウンロードできます。ダウンロードするときは、インターネットエクスプローラを起動して、「お気に入り」メニューの「Internet Explorerのダウンロード」をクリックしてください。

- 1** 「プロダクトの選択 ( p.94 )の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」画面で「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「セットアップの開始」メッセージが表示されたら「次へ」ボタンをクリックする  
使用許諾契約書が表示されます。

- 4 よく読んでから、同意する場合は「同意する」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「インストールオプション」で「完全インストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「デスクトップのアップデート」で「インストールしますか?」と表示されたら、「はい」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「Active Channelの選択」で「日本」を選び、「次へ」ボタンをクリックする  
「お気に入り」メニューの「Internet Explorerのダウンロード」から最新版がダウンロードできます。
- 8 「インストール先フォルダ」で、インストール先を指定する  
購入時と同じフォルダにインストールする場合  
「参照」ボタンをクリックして、「フォルダの参照」画面を表示させ、次のフォルダを選んでから「次へ」ボタンをクリックしてください。  
C:¥Program Files¥Internet Explorer  
購入時とは別のフォルダにインストールする場合  
すでに存在するフォルダにインストールするときは、「参照」をクリックして、「フォルダの参照」画面を表示させ、インストールしたいフォルダを選択してから「OK」ボタンをクリックしてください。新規にフォルダを作成する場合は、インストールフォルダに直接フォルダ名を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。入力したフォルダが存在しないため「フォルダを作成しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてください。
- 9 「新しいコンポーネントをアップグレードしますか?」と表示されたら、「すべてのコンポーネントを再インストール」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする  
インストールが始まります。インストールには10数分かかります。
- 10 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** ここでは、まだCD-ROMは取り出さないでください。

「自動的に閉じるのでできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されることがあります。このとき、実行中のプログラムでデータを処理しているものがある場合は、それらのデータを保存してプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリックしてください。

**11** 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする  
自動的に本機が再起動します

**12** 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示された場合、ユーザ名とパスワードを入力する  
Internet Explorer 4.0関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。この間、数分かかります。

**13** セットアップ完了後、CD-ROMを取り出す

### 最新のコンポーネントを追加する

Internet Explorer 4.0に最新のコンポーネントを追加するには、次の手順でインストールします。いずれも同じWebサイトにつなげて、最新のアプリケーション(コンポーネント)をダウンロードします(現状のコンポーネントは、インストールモジュールで可能)。

・Internet Explorer 4.0の「ヘルプ」「製品の更新」をクリックする

・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で追加する

**1** 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする

**2** 「Microsoft Internet Explorer 4.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする

**3** 「コンポーネントをInternet Explorerに追加する」で選び、「OK」ボタンをクリックする

Add-on pageにあるコンテンツ一覧(1997年10月現在)

---

前ページの手順でダウンロード可能なアプリケーション(コンポーネント)は、次のとおりです。

「Microsoft Internet Explorer 4.0」

- ・Web統合デスクトップ
- ・Internet Explorer用Java(tm)サポート
- ・インターネット接続ウィザード

「通信コンポーネント」

- ・Microsoft NetMeeting
- ・Microsoft Outlook Express
- ・Microsoft Chat 2.0

「マルチメディア コンポーネント」

- ・Microsoft Netshow
- ・Microsoft VRML2.0ビューア
- ・マルチメディアコントロール
- ・DirectShow
- ・Direct X

「オーサリング コンポーネント」

- ・Microsoft FrontPad
- ・Microsoft発行ウィザード
- ・パーソナルWebサーバー
- ・Internet Explorer用データ コンポーネント

「エクスプローラ用追加コンポーネント」

- ・Microsoft Wallet
- ・追加Webフォント
- ・Internet Explorerサウンドバック
- ・タスク スケジューラ

「多国語のサポート」

- ・日本語サポート
- ・韓国語サポート
- ・ヨーロッパ各国語サポート
- ・伝統的な中国語サポート
- ・簡易字中国語サポート

# インターネットエクスプローラ 関連プログラム

インターネットエクスプローラをより使いやすくするためのプログラムです。

インターネットエクスプローラ関連プログラムとして次の3つがあります。

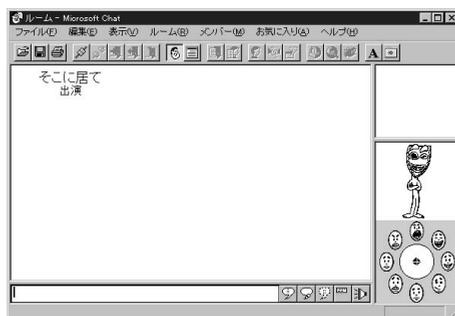
- ・Microsoft Chat 2.0
- ・Microsoft NetShow プレーヤー
- ・RealPlayer 4.0

## Microsoft Chat 2.0

インターネット上で、従来のテキストでの会話に加えグラフィックスを組み合わせた会話ができるチャットプログラムです。

### 起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Internet Explorer」の「Microsoft Chat」をクリックする



## 削除

---

- 1 「削除の準備」( p.92 )の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「Microsoft Chat 2.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Chat 2.0を削除します。Microsoft Chatのアプリケーションが実行されていないことを確認してください。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 4 「Microsoft Chat 2.0は正常に削除されました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

## 追加

---

Microsoft Chat 2.0は、「インターネットエクスプローラ4.0の追加」と同じ手順で追加することができます。

**参照**▶ インターネットエクスプローラ4.0の追加( p.105 )

## Microsoft NetShow プレーヤー

NetShowに対応したWebサイトからインターネット経由で送られるマルチメディアデータがすべてダウンロードされるのを待つことなく受信しながら再生できるプログラムです。

## 起動

---

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Internet Explorer」の「NetShow プレーヤー」をクリックする



## 削除

- 1 「削除の準備」( p.92 )の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「Microsoft NetShow Player 2.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft NetShow プレーヤーをアンインストールしますか?」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

## 追加

Microsoft NetShow プレーヤーは、「インターネットエクスプローラ4.0の追加」と同じ手順で追加することができます。

**参照** ▶ インターネットエクスプローラ4.0の追加( p.105 )

## RealPlayer 4.0

RealPlayerに対応したWebサイトからインターネット経由で送られる音声 / 映像データを受信し、再生するプログラムです。

## 起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Internet Explorer」の「RealPlayer」をクリックする



## 削除

---

- 1** 「削除の準備」( p.92 )の手順1～2を行う
- 2** 「セットアップと削除」の一覧から「RealPlayer 4.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「RealPlayer 4.0の全てのコンポーネントを削除してもよろしいですか?」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 4** 「RealPlayer 4.0のアンインストールが完了しました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

## 追加

---

RealPlayer 4.0は、「インターネットエクスプローラ4.0の追加」と同じ手順で追加することができます。

**参照**▶ インターネットエクスプローラ4.0の追加( p.105 )

## BIGLOBE Walker

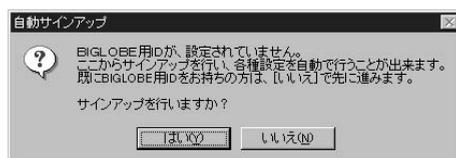
BIGLOBEのサービス(インターネットのネットサーフィン、電子メールの送受信、P C - V A N の利用など)、N E C パーソナルメディアサービス(BIGLOBE:ビッグローブ)への入会手続きをするためのアプリケーションです。

BIGLOBEを利用するには、BIGLOBEのIDが必要です。IDは入会申込すると取得できます。

### 起動

#### 1 「スタート」ボタン「プログラム」「Biglobe」の「BIGLOBE Walker」をクリックする

初回起動時、またはBIGLOBE用のIDが設定されていない場合は、「自動サインアップ」画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。



### 削除

#### 1 「削除の準備」( p.92 )の手順1～2を行う

#### 2 「セットアップと削除」の一覧から「BIGLOBE」をクリックして「追加と削除」をクリックする

#### 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。

#### 4 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

- 1** 「プロダクトの選択」( p.92 )の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「BIGLOBE Walker」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」の表示で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「BIGLOBE Walkerのインストールを開始します。よろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 6** 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする  
インストールが始まります。

# インターネットアクセスマネージャ

(一太郎モデル / Wordモデルのみ)

インターネットを効率よく利用するためのアプリケーションです。オートパイロット(自動巡回)やオートダイヤル(自動接続 / 切断)、接続時間や料金の管理を行うことができます。

## 起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「インターネットアクセスマネージャ」の「インターネットアクセスマネージャ」をクリックする

**参照** インターネットアクセスマネージャについて 『インターネットガイド』



ツリービューまたはリストビューで「URLリスト」「オートパイロット結果」「接続時間 / 料金記録」「通信記録」をダブルクリックすると、それぞれのウィンドウが表示されます。

## 削除

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「インターネットアクセスマネージャ」の「uninstallShield」をクリックする

**2** 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。

**3** 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする

アイコンの削除

「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「インターネットツール」に「インターネットアクセスマネージャ」のアイコンが残った場合は次のファイルを削除してください。

C: ¥ Windows ¥ スタートメニュー ¥ プログラム ¥ アクセサリ ¥ インターネットツール ¥ インターネットアクセスマネージャ

 **チェック!!** アンインストールはインストールしたファイルの削除のみを行います。従って、インターネットアクセスマネージャを使用して作成された「通信記録」「オートパイロット結果」などの情報やファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、Windows 95の「エクスプローラ」でインターネットアクセスマネージャがインストールされている「C: ¥ I AM」のフォルダごと削除してください。

追加

---

 **チェック!!** インターネットアクセスマネージャを再度追加する場合は、ダイヤルアップネットワークに接続先が設定されている必要があります。「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」にある「ダイヤルアップネットワーク」をクリックし、接続先を確認してください。

**1** 「プロダクトの選択 ( p.94 )の手順1 ~ 7を行う

**2** 「プロダクトの選択」で「インターネットアクセスマネージャのインストール」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

**3** 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする

**4** 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする

- 5** 「接続先」「プロバイダ料金」「電話料金」を設定するウィンドウが表示されたら、各項目を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。以前の設定が残っている場合は「質問」メッセージが表示されます。このときは、「はい」ボタンをクリックしてください。各項目はセットアップした後に変更することができます。

**参照**▶ 項目の変更について 『インターネットガイド』

- 6** 「設定の確認」で各項目の選択した内容を確認して「完了」ボタンをクリックする
- 7** 「インターネットアクセスマネージャをスタートアップに登録しますか?」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリックする
- 8** 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

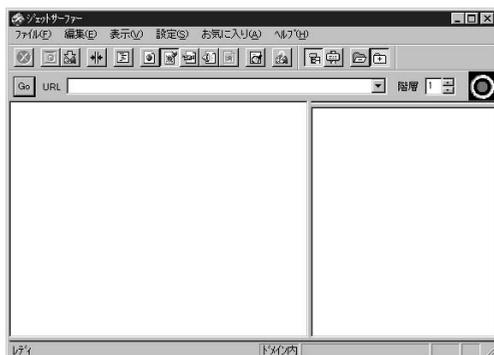
# ジェットサーファー

(一太郎モデル / Wordモデルのみ)

ホームページでリンクの情報をまとめ、簡単にリンク先へ直接アクセスすることができます。詳しい使いかたは『インターネットガイド』をご覧ください。

## 起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「ジェットサーファー」で「ジェットサーファー」をクリックする



## 削除

- 1 「削除の準備」( p.92 )の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「ジェットサーファー」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする  
「共有ファイルを削除しますか?」というメッセージが表示されたときは「すべていいえ」をクリックしてください。

- 4** 削除が終了し、「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

アイコンの削除

「スタート」ボタン「プログラム」に「ジェットサーファー」のアイコンが残った場合は、次のファイルを削除してください。

C: ¥Windows ¥スタートメニュー ¥プログラム ¥ジェットサーファー

追加

---

- 1** 「プロダクトの選択」( p.94 )の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「ジェットサーファーのインストール」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「READMEファイルを読みますか?」というメッセージが表示されたら、READMEファイルを読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックする  
「はい」を選択した場合、読み終わったら右上の  をクリックしてください。
- 6** 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

# 翻訳アダプタ CROSSROAD

(一太郎モデル / Wordモデルのみ)

英語の文章を日本語に、日本語の文章を英語に翻訳します。インターネットで英語のホームページを見るときなどに利用できます。

**参照**▶ 翻訳アダプタⅡ CROSSROADについて詳しくは 『インターネットガイド』

## 起動

---

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「翻訳アダプタⅡ CROSSROAD」で「翻訳アダプタⅡ CROSSROAD」をクリックする



## 削除

---

- 1 「削除の準備 ( p.92 )の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「翻訳アダプタⅡ CROSSROAD」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「翻訳アダプタⅡ CROSSROADとそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。  
「共有ファイルの削除」画面が表示されたときは「全て残す」を選んでください。
- 4 「翻訳アダプタⅡのアンインストールが終了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

### アイコンの削除

デスクトップに「翻訳アダプタ CROSSROAD」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

- 1 アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューで「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリックする

### 追加

---

- 1 「プロダクトの選択 ( p.94 )」の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」の一覧から「翻訳アダプタ II CROSSROAD」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「翻訳アダプタII CROSSROADセットアップ」で「OK」ボタンをクリックする
- 4 「はじめに」で「標準セットアップ」が選択されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「ユーザ情報の入力」で、シリアルNoに「C103B29100」パスワードに「LGPPRF00」と入力して「実行」をクリックする

 **チェック!!** シリアルNoとパスワードは、すべて半角文字で入力してください。

- 6 「翻訳アダプタIIセットアップ」で「翻訳アダプタII本体のインストール先:」に「C:¥Program Files¥Adapter」と入力し、パソコンの絵のついた大きなボタンをクリックする  
インストールが始まります。
- 7 「翻訳アダプタ II CROSSROADのセットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 8 次の「アイコンの追加」の手順で、「翻訳アダプタ II CROSSROAD」アイコンをデスクトップにコピーする

## アイコンの追加

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2** エクスプローラのウィンドウでC:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥翻訳アダプタII CROSSROADにある「翻訳アダプタII CROSSROAD」アイコンを右クリックする
- 3** 表示されたメニューで「コピー」をクリックする
- 4** デスクトップの画面を右クリックし、表示されたメニューで「貼り付け」を左クリックする  
「翻訳アダプタ CROSSROAD」アイコンがデスクトップに貼り付けられます。

# PC-VANナビゲータ

パソコン通信サービス「PC-VAN」に接続し、さまざまなサービスを利用できます。

## 起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「PC-VANナビゲータ」で「PC-VANナビゲータ」をクリックする



## 削除

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「PC-VANナビゲータ」で「PC-VANナビゲータアンインストーラ」をクリックする
- 2 表示されたウィンドウで「プログラムだけ削除」を選択し、「OK」ボタンをクリックする

**チェック!!** 「すべて削除」を選択すると、設定ファイルやアドレス帳なども削除されますので、ご注意ください。

- 3 「PC-VANナビゲータのプログラムファイルを削除します」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

**4** 「ファイルを削除しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

「すべて削除」を選択した場合でも、メールフォルダやダウンロードしたファイルが一部残ります。これらのファイルを削除する場合は「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「C:¥PCNAVI」にあるファイルを削除してください。

アイコンの削除

「スタート」ボタン 「プログラム」に「PC-VANナビゲータ」のアイコンが残ったときは、次のフォルダとファイルを削除してください。

C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある「PC-VANナビゲータ」フォルダとフォルダ内のすべてのファイル

追加

---

**1** 「プロダクトの選択 ( p.94 )の手順1～7を行う

**2** 「プロダクトの選択」で「PC-VANナビゲータ」をクリックして「OK」ボタンをクリックする

**3** 「他のアプリケーションを終了してからインストールをして下さい」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

**4** 「PC-VANナビゲータインストール」で「インストール」をクリックする

**5** 表示されたウィンドウを確認して「OK」ボタンをクリックする  
「ディレクトリの作成」が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

**6** 「PC-VANナビゲータ登録」で「はい」ボタンをクリックする

**7** 「インストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする



# AOL

アメリカのパソコン通信サービス「AOL(アメリカ・オンライン)」を利用するためのアプリケーションです。

AOLはパソコン通信だけでなく、インターネットも利用できます。

- ✓チェック!!** 一太郎モデル / WordモデルにはAOLはインストールされていません。AOLを利用する場合は、インストールされているAOLへのご招待と添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は本機添付の『AOLハンドブック』をご覧ください。

## 起動

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「AOL」の「AOLの世界へようこそ!」をクリックする  
使用方法は本機に添付の『AOLハンドブック』をご覧ください。

- ✓チェック!!** 登録後1カ月の間、最初の50時間はすべてのサービスを無料で利用できます。フリーアクセス時間(50時間)を越えたり、フリーアクセス期間(登録後1ヶ月)を越えると、課金が始まりますのでご注意ください。



## 「AOLの世界へようこそ!」の削除

---

- 1 「削除の準備 ( p.92 )」の手順1 ~ 2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「AOL」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「AOL for Windowsアンインストーラー」が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする  
AOLが複数インストールされている場合は「標準モード」のチェックマークを外してください。
- 4 「アンインストールするAOLのディレクトリ」の表示で「OK」ボタンをクリックする  
削除が始まります。
- 5 「AOLの削除は正常に終了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6 再起動をするよう、メッセージが表示されたら、「再起動」をクリックする

## 「AOLの世界へようこそ!」の追加

---

-  **チェック!!** ・一太郎モデル / Wordモデルは「AOLへのご招待」を使ってインストールしてください。
- ・モデム接続を行う場合は、モデムの設定を先に行っておいてください。

- 1 「プロダクトの選択 ( p.94 )」の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「AOLのインストール」をクリックし「OK」ボタンをクリックする
- 3 「AOLセットアッププログラムへようこそ」の表示で「開始」をクリックする  
モデムが接続されていない場合、「モデムが見つかりませんでした。」のメッセージが表示されます。モデム接続を行わない場合は、「設定中止」をクリックして先に進んでください。

- 4 「インストール」ボタンをクリックする  
インストールが始まります。
- 5 「AOLのショートカットを作成します」で「スタートメニュー最上段」のチェックを外し、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「お疲れさまでした」の表示で、「OK」ボタンをクリックする

「AOLへのご招待」の削除(一太郎モデル/Wordモデルのみ)

---

- 1 「削除の準備」( p.92 )の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「AOLへのご招待」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする  
削除が始まります。
- 4 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

「AOLへのご招待」の追加(一太郎モデル/Wordモデルのみ)

---

- 1 「プロダクトの選択」( p.94 )の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「AOLへのご招待」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」の表示で、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする  
インストールが始まります。
- 5 「セットアップが完了しました。」で「OK」ボタンをクリックする

# NIFTY MANAGER

パソコン通信サービス「NIFTY SERVE」に接続し、さまざまなサービスを利用できます。

**チェック!!** 一太郎モデル / WordモデルにはNIFTY MANAGERはインストールされていません。NIFTY MANAGERを利用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は「プロダクトの選択」( p.94 )をご覧ください。

**参照** 「NIFTY SERVE」への入会手続きについて 『NIFTY SERVEイントロパック』

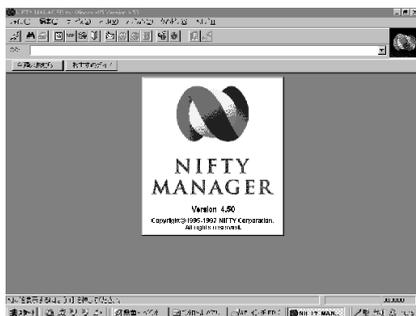
## 起動

「NIFTY-SERVEサインアップ」の起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「NIFTY MANAGER」の「NIFTY SERVEサインアップ」をクリックする

「NIFTY MANAGER」の起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「NIFTY MANAGER」の「NIFTY MANAGER」をクリックする



## 削除

- 1 「削除の準備」( p.92 )の手順1～2を行う

- 2 「セットアップと削除」の一覧から「NIFTY MANAGER for Windows 95 Ver4.50」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする  
削除が始まります。  
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは、「すべていいえ」を選んでください。
- 4 「プログラムのコンピュータからの削除」でアンインストールの完了を確認して、「OK」ボタンをクリックする

#### 追加

---

- 1 「プロダクトの選択 ( p.94 ) の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「NIFTY MANAGER for Windows 95」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」をクリックする
- 4 利用規約が表示されるので、よく読んでから、同意する場合は「はい」をクリックする
- 5 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「情報を引き継ぎますか?」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリックする  
インストールが始まります。
- 7 「デスクトップにNIFTY MANAGER for Windows 95のショートカットを置きますか?」と表示されたら、デスクトップにショートカットを作成する場合は「はい」ボタンを、作成しない場合は「いいえ」ボタンをクリックする  
「NIFTY MANAGER データベースへアクセスするための環境を設定中です。」と表示されます。

- 8 「READMEファイルを読みますか?」と表示されたら、読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックする
- 9 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 10 「HyperROADに接続するための、ダイヤルアップネットワークの設定を行いますか?」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリックする  
インターネット接続に必要な通信設定は、添付の『NIFTY-Serveイントロバック』をご覧ください、セットアップ完了後に行ってください。

「セットアップを完了するには、システムを再起動する必要があります。再起動しますか?」と表示されることがあります。表示されたときは、「はい」ボタンをクリック再起動してしてください。



# VirusScan for Windows 95

コンピュータウィルスの検出、識別、および除去を行います。

## 起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「VirusScan」をクリックする



## ウィルス監視機能を有効にする

VirusScanには、Windowsで操作するファイルがウィルスに汚染されていないか監視する機能もあります。この機能を使うには、次の手順を行います。

- ✓チェック!!** ウィルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウィルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「VirusScanコンソール」をクリックする  
VirusScan Consoleが起動します。
- 2 一覧に表示されている「McAfee VShield」をクリックした後、メニューバーの「タスク」「プロパティ」をクリックする  
「タスクプロパティ」が起動します。
- 3 「タスクプロパティ」の「プログラム」タブの「詳細設定」ボタンをクリックする  
VShield設定が起動します。

- 4 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックしてチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「今すぐに読み込みを行いますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 7 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

---

#### ウイルス監視機能を解除する

---

- 1 「ウイルス監視機能を有効にする ( p.131 )の手順1～3を行うVShield設定が起動します。
- 2 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックしてチェックを外し、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「今すぐに読み込みを解除しますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 4 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 5 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

---

#### 削除

---

- 1 「削除の準備 ( p.92 )の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v3.1.0 ( プレインストール版 )」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3 「Virus Scanの削除が選択されました。本当にVirus Scanを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4 「削除後にシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする  
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が前面に表示されたときは「OK」ボタンをクリックし、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を終了します。
- 5 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする  
削除が始まります。  
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは、「すべていいえ」を選んでください。
- 6 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7 本機を再起動する

#### 追加

---

- 1 「プロダクトの選択」( p.94 )の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「VirusScan」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする  
セットアッププログラムが起動し、「McAfeeソフトウェアの使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。
- 3 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリックする  
「セットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする

- 5 「セットアップ方法」で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする  
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウインドウの「パス」にインストール先を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 6 「コンポーネントの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「オプションの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「DOSスキャナ インストール オプション選択」画面で「ブート時にシステムをスキャン」および「エマージェンシーディスクを作成」のチェックマークを外し、「次へ」ボタンをクリックする  
「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。  
エマージェンシーディスクは、「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「エマージェンシーディスク作成」をクリックして作成することができます。
- 9 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「インストール設定の確認」で「次へ」ボタンをクリックする  
ファイルのコピーが始まります。
- 11 「システム領域のスキャンが完了しました」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 12 「この製品についての最新の情報を表示しますか？」のメッセージが表示されるので、このまま最新の情報を読む場合は「はい」ボタンをクリックし、読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックする  
最新の情報は「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「ウイルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

- 13** インストールが終了すると、「インストールが完了しました」ウィンドウが表示されるので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリックする  
Windows 95が再起動します。
- 14** Windows 95再起動後、「ウイルス監視機能を解除する」(p.132)の手順1～5を行う  
ウイルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

# 駅すばあと全国版 for Windows 95

(一太郎モデル / Wordモデルのみ)

駅と駅間の距離、金額、最短時間、路線順などを見ることができます。

## 起動と使い方

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「駅すばあと全国版」の「駅すばあと」をクリックする
- 2 「出発地」と「目的地」を入力する
- 3 「探索」をクリックすると結果が表示される



## 削除

- 1 「削除の準備 ( p.92 )の手順1 ~ 2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「駅すばあと」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。

- 4 「アンインストールが完了しました...」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

#### アイコンの削除

デスクトップに「駅すばあと」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

- 1 アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューで「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリックする

#### 追加

---

- 1 「プロダクトの選択」( p.94 )の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「駅すばあと」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「インストールの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「個人名入力」で名前を入力し「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「法人名入力」で法人名を入力し「次へ」ボタンをクリックする  
法人名は入力しなくてもかまいません。必要に応じて入力してください。
- 6 「インストールを開始します、よろしいですか?」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする  
インストールが始まります。
- 7 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

## アイコンの追加

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2** エクスプローラのウィンドウで、C: ¥Windows ¥スタートメニュー ¥プログラム ¥駅すばあと 全国版にある「駅すばあと」のアイコンを右クリックする
- 3** 表示されたメニューで「コピー」をクリックする
- 4** デスクトップの画面を右クリックし、表示されたメニューで「貼り付け」をクリックする  
「駅すばあと」アイコンがデスクトップに貼り付けられます。

# TELFAX-NX (一太郎モデル/Wordモデルのみ)

パソコンからFAXを送信したり、電話をかけることができます。

## 起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「TELFAX-NX」 「TELFAX-NX」をクリックする



## 削除

- 1 「削除の準備 ( p.92 ) の手順1 ~ 2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「TELFAX-NX」をクリックし「追加と削除」をクリックする
- 3 「ファイル削除の確認」が表示されたら「はい」ボタンをクリックする  
アプリケーションの削除が始まります。
- 4 途中で「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら、アドレス帳を削除する場合は「すべてはい」を、アドレス帳を削除したくない場合は「すべていいえ」をクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

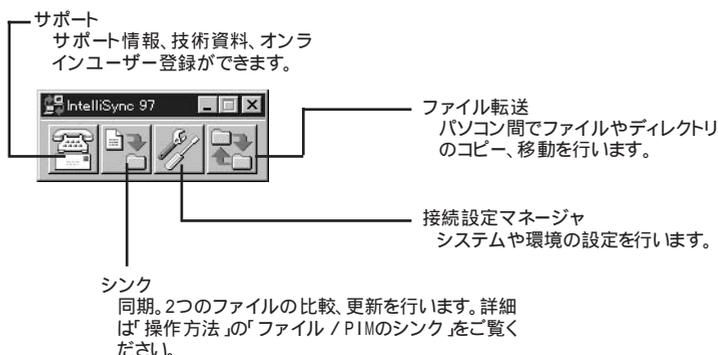
- 1** 「プロダクトの選択」( p.94 )の手順1から7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「TELFAX-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「質問」が表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4** 「インストールを行う前に」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「ユーザ情報の設定」の各項目を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「情報の一覧」で、入力した情報を確認して、「次へ」ボタンをクリックする
- 7** 「再起動しますか?」と表示されたら「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選んで、「OK」ボタンをクリックする

# IntelliSync97

ケーブル接続や赤外線接続を通して、パソコン間でファイルのやりとりを簡単に行うことができます。詳しくは「操作方法」をご覧ください。

## 起動

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「IntelliSync 97 for Windows」の「IntelliSync 97エージェント」をクリックする
- 2 「IntelliSync97 for Windowsへようこそ」の画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックする  
「IntelliSync97ランチャー」が表示されます。



## ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

- 1 IntelliSync97ランチャーを起動する
- 2 ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする

**チェック!!** 初回起動時には使用許諾画面が表示されます。

- 3 「ローカルデバイス」をクリックし、デバイスを選択する  
デバイスの詳細は「接続設定」をご覧ください。
- 4 「プロパティ」をクリックする
- 5 「プロパティ」のウィンドウで「接続可能にする」にチェックを付け、  
「OK」ボタンをクリックする

## 接続設定

パソコン間を赤外線、シリアルポートで接続できます。

### 赤外線 (IR) 接続設定

本機には、赤外線デバイスが内蔵されているので、設定する必要はありません。別売の赤外線デバイスを使うときは、次の手順で設定を行ってください。

- 1 COMポートに赤外線デバイスを接続する  
詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。
- 2 二つのシステムの赤外線ポート( IRポート)が向かい合うようにパソコンを設置する

**参照** 設置時の注意 「PART1 赤外線通信機能」( p.46 )

- 3 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 4 「赤外線デバイス」を右クリックする
- 5 「IRウィザード」をクリックする
- 6 現在の設定が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 デバイスのリストから使用するデバイスを選ぶ  
ない場合は「Generic」を選んでください。

- 8 ポートのリストから赤外線デバイスが接続されているCOMポートを選び、「次へ」ボタンをクリックする  
ポートが一つの場合、表示されません。
- 9 ボーレートの一覧が表示されたら、ボーレートを選び、「次へ」ボタンをクリックする  
ボーレートが一つの場合、表示されません。
- 10 設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする

#### シリアルケーブル接続設定

---

使用するパソコン両方に同じ設定をします。

- 1 COMポート(シリアルポート)にシリアルケーブルを接続する  
ケーブルの長さは6m以下にしてください。
- 2 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 3 シリアルケーブルの+をクリックする
- 4 COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする
- 5 「接続を可能にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

## 接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

- 1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 2 接続状態をチェックしたいデバイスの + をクリックする  
表示されたマークで確認する

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されてない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

## 操作方法

### ファイル / PIMのシンク

- 1 IntelliSync97ランチャーを起動し、「シンク」をクリックする
- 2 「新規ジョブの作成」アイコンをダブルクリックする
- 3 「次へ」ボタンをクリックする

## 4 ジョブを選ぶ

2台のパソコン間でシンクする場合

「リモートジョブ」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

1台のパソコン内で別々のドライブなどをシンクする場合

「ローカルジョブ」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

## 5 タイプを選択する

「フォルダ」や「ドライブ」をシンクさせる場合

「ファイルのシンク」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

PIM(パーソナルインフォメーションマネージャ)間でシンクさせる場合

「PIMのシンク」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

## 6 ウィンドウの指示で情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックする

## 7 ジョブ名をつけて、「次へ」ボタンをクリックする

「オートシンクの始動」を選ぶと、IntelliSync97のシンクを起動、またはIntelliSync97を起動し、パソコンどうしを接続するたびに自動的にジョブを実行します。

## 8 「完了」ボタンをクリックする

### 削除

---

1 「削除の準備 ( p.92 ) の手順1 ~ 2を行う

2 「セットアップと削除」の一覧から「IntelliSync97 for Windows 1.0」をクリックし「追加と削除」をクリックする。

3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」をクリックし、「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする  
削除が始まります。

- 4 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

---

- 1 「プロダクトの選択」( p.94 )の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「IntelliSync97 for Windows 1.0」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「OMEディスク」で「参照」ボタンをクリックし、パスに「<CD - ROMドライブ名> : I97TMP¥OEM\_Diskette」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 7 「スタートアップグループオプション」で「いいえ」ボタンをクリックする
- 8 「セットアップ」で「はい」ボタンをクリックする
- 9 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「赤外線の設定-デバイスの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「赤外線の設定-ボーレートの選択」で「115200」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 12 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「完了」ボタンをクリックする
- 13 「IRセットアップウィザード」が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする



# Angel Line for Windows

(一太郎モデル / Wordモデルのみ)

パソコンで電話番号検索サービスを受けることができます。

## 起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Angel Line for Windows V2」の「Angel Line Ver2.03」をクリックする  
はじめてAngel Line for Windowsを使う場合は、「設定」「通信の設定」をクリックし、「回線種別」から使用する回線の種類を選択してください。



## 削除

- 1 本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「削除の準備」( p.92 )の手順1～2を行う
- 3 「セットアップ」をクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」を起動して「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「アプリケーションCD-ROM」がCD-ROMドライブにセットされていることを確認して、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」の画面で、「次へ」ボタンをクリックする

- 5 「セットアッププログラムの実行」画面の「セットアッププログラムのコマンドライン」が「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっていますので、「<CD-ROMドライブ名>:¥UNINST.EXE」に変更して、「完了」ボタンをクリックする
- 6 「アンインストールは次の内容を消去します」と表示されるので、削除する場合は「続行」ボタンをクリックする  
削除が始まります。
- 7 「削除」で「確認」ボタンをクリックする

追加

---

- 1 「プロダクトの選択 ( p.94 )の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Angel Line for Windows」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Angel Line for Windowsインストール」で「続行」をクリックする
- 4 「インストールディレクトリの設定」画面が表示されるので、確認してから「続行」ボタンをクリックする  
インストールが始まります。
- 5 「インストール終了」で「確認」ボタンをクリックする
- 6 「システム設定」で「する」ボタンをクリックする
- 7 「通信システム設定」が表示されるので、次の初期設定を参考に、自分の通信環境に合わせて各項目の設定を行う

## 初期設定

## 【モデム関連】

制御コマンド	ヘイズATコマンド
MNPの設定	使用する
フロー制御	RS/CSフロー
パソコン～モデム間の速度を固定する設定	固定する
パソコン～モデム間の通信速度	19200bps
ダイヤル付加記号	つけない

## 【通信ポート関連】

通信ポート名	COM2
--------	------

## 【自動回線接続のタイミング】

[ 検索実行時 ] を選択

**8** 設定が終わったら「オプション」ボタンをクリックする

**9** 「通信オプション設定」画面が表示されるので、次の初期設定を参考にして、自分の通信環境に合わせて各項目の設定を行う  
初期設定:

## 【通信ポート】

・データ長	8
・パリティ	ノンパリティ
・ストップビット	1bit

## 【モデムコマンド】

・パソコン～モデム間の通信速度を固定に設定するコマンド	なし
・エラーフリーコマンド	¥N3
・ノンエラーフリーコマンド	¥N1
・Xon/Xoffフロー制御コマンド	¥Q1
・RS/CSフロー制御コマンド	&K3
・モニタースピーカーオンコマンド	M1
・モニタースピーカーオフコマンド	M0
・モニタースピーカー音量コマンド	L2
・ダイヤル付加記号	^
・オプションコマンド登録	空白
・初期化コマンド一覧	ATQ0V1E1

- 10** 設定が終わったら、「OK」ボタンをクリックする
- 11** 「通信システム設定」画面で「OK」ボタンをクリックする
- 12** 「接続テスト」画面で「しない」ボタンをクリックする
- 13** 「お疲れさまでした...」と表示されたら「確認」ボタンをクリックする



# 筆ぐるめ for Windows 95

(一太郎モデル / Wordモデルのみ)

ハガキの宛名書き、本文書きをいろいろと簡単に作成することができます。

## 起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「筆ぐるめ for Windows 95」 で「筆ぐるめVersion 4.0」をクリックする



## 削除

- 1 「削除の準備」( p.92 )の手順1 ~ 2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「筆ぐるめ for Windows 95 Version4.0」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。
- 4 「アンインストールが完了しました...」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

## アイコンの削除

デスクトップに「筆ぐるめ Version 4.0」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

- 1 アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューで「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリックする

## 追加

---

- 1 「プロダクトの選択」( p.94 )の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「筆ぐるめ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「筆ぐるめ for Windows 95 Version 4.0」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ユーザー情報登録」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「質問」で「はい」をクリックする
- 6 「インストール先の指定」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「インストールタイプの選択」で「標準」「最小」「選択」のいずれかを選ぶ  
ここでは「標準」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。
- 8 「質問」で「はい」をクリックする  
インストールが始まります。
- 9 「筆ぐるめのセットアップが終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

## アイコンの追加

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2** エクスプローラのウィンドウで、C: ¥Windows¥スタートメニュー ¥プログラム¥筆ぐるめ for Windows 95にある「筆ぐるめ Version 4.0」のアイコンを右クリックする
- 3** 表示されたメニューで「コピー」をクリックする
- 4** デスクトップの画面を右クリックし、表示されたメニューで「貼り付け」をクリックする  
「筆ぐるめ Version 4.0」アイコンがデスクトップに貼り付けられます。

# プレーヤ-NX

音楽CD、ビデオCD、カラオケCD、フォトCDを再生表示します。

## プレーヤ-NXで利用できるCD

- ・音楽(オーディオCD)
- ・ビデオCD(Ver1.1)、ビデオ(Ver2.0) /カラオケCD(Ver1.1)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

## 起動

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「アクセサリ」「マルチメディア」で「プレーヤ-NX」をクリックする

オーディオCDの場合



ビデオCDの場合



フォトCDの場合



## 削除

---

- 1 「削除の準備」( p.92 )の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

## 追加

---

- 1 「プロダクトの選択」( p.94 )の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Folder Selection」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックするインストールが自動的に始まります。
- 5 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする



# CyberTrio-NX

ユーザのレベルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定することができます。

## CyberTrio-NXの機能

---

CyberTrio-NXは、Windows 95の利用環境を設定するアプリケーションです。ユーザのレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうようなユーザの操作を未然に防ぐことができます。

次のモードから選ぶことができます。

- ・カスタムモード( 一太郎モデル/Wordモデルの場合はキッズモード)

「スタート」ボタン「プログラム」に登録してあるアプリケーションのみを使うことができます。

- ・ベーシックモード

システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。

- ・アドバンスモード

Windows 95へのフルアクセスが可能です。

出荷時には、本機はアドバンスモード( 一太郎モデル/Wordモデルはベーシックモード)に設定されています。

## モードの変更

---

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「CyberTrio-NX」でモードを選ぶ

キッズモードにする場合( 一太郎モデル/Wordモデルのみ)

「Go Toキッズモード」をクリックする

カスタムモードにする場合

「Go Toカスタムモード」をクリックする

ベーシックモードにする場合

「Go Toベーシックモード」をクリックする

アドバンスモードにする場合

「Go Toアドバンスモード」をクリックする

「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberTrio-NX」 「CyberTrio-NXメニュー」をクリックしてから、各モードを選ぶこともできます。

### CyberTrio-NXで行う設定

設定できる項目には、パスワードの設定や利用できる環境（ディスプレイの背景やサウンドなど）の設定があります。

ここではカスタムモードで、パスワードを設定する方法について説明します。

#### パスワードの設定

パスワードを設定することで、パスワードを知らない人がカスタムモードを勝手に別のモードに変更するのを防ぎます。パスワードは、8文字内の英数字で設定可能です。

パスワードは「ベーシックモード」または「アドバンスモード」で設定できます。

**1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberTrio-NX」 「カスタムモードの設定」 「動作設定」をクリックする  
「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

**2** 「パスワードの設定」タブをクリックし、「パスワードを設定する」をチェックする

**3** パスワードを入力する  
パスワードは、8文字内の英数字で入力します。

**4** パスワードの確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックする

**チェック!!** 入力したパスワードは忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてしまった場合は、次のパスワードを入力し、「ベーシックモード」か「アドバンスモード」に設定してから、もう一度パスワードを設定し直してください。

緊急用パスワード: 71709981

**5** 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックする

**6** 「CyberTrio-NXのプロパティ」の「バックグラウンド」タブをクリックし、「背景」の欄で使用するディスプレイの背景をクリックする

**7** 「CyberTrio-NXのプロパティ」の「サウンド」タブをクリックし、「サウンド」の欄で使用するサウンドタイプをクリックする

- 8 「OK」ボタンをクリックする  
「カスタムプログラム」ウィンドウが表示されます。
- 9 カスタムモードを使うユーザが操作できるアプリケーションを選ぶ
- 10 「閉じる」ボタンをクリックする

#### 削除

---

- 1 「削除の準備 ( p.92 ) の手順1 ~ 2 を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「CyberTrio-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする  
削除が始まります。
- 4 「アンインストールを有効にするために再起動する必要があります」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

#### 追加

---

- 1 「プロダクトの選択 ( p.94 ) の手順1 ~ 7 を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberTrio-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「CyberTrio-NX」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 4 「Select Destination Directory」画面で「OK」ボタンをクリックする  
インストール先を変更する場合は、表示された画面にインストール先を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 5 「Install」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする



## CyberWarner -NX

OSが必要とするファイルを保護します。

Windows 95の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更を行おうとすると警告を行います。また、ログファイルを採取して、保守時に使うことができます。「CyberWarner -NX」は起動時に常駐するアプリケーションです。

### CyberWarner -NXの常駐を終了する

---

- 1 シストレイに表示されている「CyberWarner -NX」アイコンをクリックする
- 2 「終了」をクリックする

### CyberWarner -NXを常駐させる

---

- 1 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「CyberWarner -NX」アイコンをダブルクリックする
- 2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする

## ログファイルについて

### CyberWarner -NX LogViewer

---

ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われたとき、CyberWarner -NXは、その操作内容をログファイルに保存します。ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner -NX LogViewerを使います。

-  **チェック!!** 採取されたログファイルは、CyberWarner -NX LogViewerの「保守モード」でのみ操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は使用することはできません。

## ログファイルの種類

---

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイル进行操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容がログファイルに保存されます。

## ログ対象ファイル

---

ログ対象ファイルには、「Critical File」「Non Critical File」「Special」の3種類があります。

### CriticalFile

次のファイル进行操作した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat  
¥config.sys  
¥msdos.sys  
¥windows¥command¥\*. \*  
¥windows¥system¥\*.dll  
¥windows¥system¥\*.vxd

### Non Critical File

次のファイル进行操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧元の状態に戻ります。

¥command.com	¥windows¥rundll.exe
¥io.sys	¥windows¥rundll32.exe
¥himem.sys	¥windows¥progman.exe
¥windows¥win.com	¥windows¥control.exe
¥windows¥notepad.exe	¥windows¥winfile.exe
¥windows¥regedit.exe	¥windows¥taskman.exe
¥windows¥explorer.exe	¥windows¥azttnp.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*. *	¥windows¥winsock.dll
¥windows¥command.com	¥windows¥system.dat
¥windows¥himem.sys	¥windows¥user.dat
¥windows¥system¥sysedit.exe	
¥windows¥system¥iosubsys¥*. *	

## Special

次のファイル进行操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows¥win.ini

¥windows¥system.ini

## 削除

---

- 1** タスクバーにある「CyberWarner-NX」アイコンをクリックし、「終了」をクリックする
- 2** 「CyberWarner-NXの終了」ウィンドウで、「はい」ボタンをクリックする
- 3** 「削除の準備 ( p.92 )」の手順1～2を行う
- 4** 「セットアップと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 5** 「CyberWarner-NX Uninstall」の画面が表示されたら、「Yes」ボタンをクリックする
- 6** 「Install」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする  
本機が再起動します。

- 1** 「プロダクトの選択」( p.94 )の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「CyberWarner-NXのインストール」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「CyberWarner-NX」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする  
「Select Destination Directory」画面が表示されます。
- 4** インストール先を変更する場合は、「Destination Directory」にインストール先を入力して、「OK」ボタンをクリックする
- 5** 「Install」画面が表示された場合は、「Yes」ボタンをクリックする
- 6** 「What's new」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする  
ユーザのスキルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定することができます。

## 英語モードフォントを利用する

海外製Windows 95アプリケーションを日本語版Windows 95で使用する場合、文字が正しく表示されません。、文字モードを変換する必要があります。

日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 95アプリケーションを利用する場合、著作権(ウ)や登録商標(ヨ)(¥)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントを使用したまま、本機で日本語版Windows 95のアプリケーションを利用する場合、「ウ」「ヨ」「¥」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えます。

それぞれのモードでの表示状態については、次のとおりです。

	海外製Windows 95 アプリケーションを使用	日本語版Windows 95 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「ウ」「ウ、」「ヨ」「ヨ、」 「¥」「¥、」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「ウ」「ウ、」「ヨ」「ヨ、」 「¥」「¥、」

### 英語モードフォントへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをクリックする
- 2 「ファイル」の「新しいフォントのインストール」を選択する

CD-ROM搭載モデルの場合

CD-ROMが搭載されていないモデルの場合は、「CD-ROMドライブが搭載されていないモデルの場合」の手順に従って操作してください。

- 3 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 4 「フォントの追加」の「ドライブ」に「アプリケーションCD-ROM」をセットしたドライブ(通常はQ: ¥)を指定する

- 5 「フォルダ」にQ: ¥USFONTを指定する
- 6 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys( Set#6 )」「EnglishModeSystem( set#6 )」「EnglishModeTerminal ( Set#6 )」が表示されたら「すべてを選択」をクリックし「OK」をクリックする

CD-ROMが搭載されていないモデルの場合

- 3 「フォントの追加」の「ドライブ」にCDドライブを指定する
- 4 「フォルダ」にC: ¥WINDOWS ¥USFONTを指定する
- 5 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys( Set#6 )」「EnglishModeSystem( set#6 )」「EnglishModeTerminal ( Set#6 )」が表示されたら「すべてを選択」をクリックし「OK」をクリックする

日本語モードへの切り替え

---

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをクリックする
- 2 「フォント」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys( Set#6 )」「EnglishModeSystem( set#6 )」「EnglishModeTerminal ( Set#6 )」( 短く表示されることもあります ) を選択し「ファイル」の「削除」を選ぶ
- 3 「これらのフォントを削除してもよろしいですか? 」と表示されたら「はい」をクリックする



## その他のアプリケーション (一太郎モデル / Wordモデルのみ)

本機には、ゲームやパソコン用語集などのアプリケーションも添付されています。

### HOVER

敵に自分の旗をすべてとられる前に、敵のすべての旗を集めていくゲームです。

### パソコン用語集

パソコンに関する用語について説明しています。パソコン用語集は出荷時にはインストールされていません。パソコン用語集を利用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は、「プロダクトの選択」( p.94)をご覧ください。

---

### 起動

#### HOVERの起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「ゲーム」 「Hover」をクリックする

#### パソコン用語集の起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「パソコン用語集」をクリックする

---

### 追加

- 1 「プロダクトの選択」( p.94)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「その他アプリケーションセットアップ」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「その他アプリケーションセットアップ」が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックする

**4** 「セットアップ方法の選択」が表示されるので、「カスタム」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

**5** 「カスタムセットアップ」で追加したいアプリケーションを選び、「次へ」ボタンをクリックする  
インストールが始まります。

次のアプリケーションを追加できます。

- ・Hover
- ・パソコン用語集

-  **チェック!!** ・「コピー先に新しい日付のファイルが存在します。上書きしてよろしいですか」の表示が出たら、「いいえ」をクリックしてください。
- ・「このファイルはWindowsが使用中または書き込み禁止であるため上書きできません」という表示が出たら、「OK」ボタンをクリックしてください。

**6** 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする  
システム設定が変更された場合は、再起動のメッセージが表示されるので、「はい」を選び、システムを再起動してください。

## 削除

---

**1** 「削除の手順」( p.92)の手順1～2を行う

**2** 「セットアップと削除」の一覧から「その他アプリケーション」をクリックし、「追加と削除」をクリックする

**3** 「その他のアプリケーションセットアップ」が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする

**4** 「セットアップの方法の選択」で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

- 5** 「カスタムセットアップ」で削除したいアプリケーションを選び、「次へ」ボタンをクリックする  
削除が始まります。

次のアプリケーションを削除できます。

- ・Hover
- ・パソコン用語集

- 6** 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする



PART

# 5

## 他のOSを利用する

Windows NT 4.0を本機で使用方法を説明しています。

### このPARTの内容

Windows NT 4.0を使う



# Windows NT 4.0を使う

本機でWindows NT 4.0をセットアップするには、次の手順で行います。

1. Windows NT 4.0のセットアップ
  - 1-1 Windows NT 4.0をアップデートするためのディスクを作成する
  - 1-2 Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項
  - 1-3 Windows NT 4.0をセットアップする
  - 1-4 ドライバをアップデートする
2. 内蔵アクセラレータの利用
3. 内蔵サウンドの利用
4. NXパッドの拡張
5. 内蔵FAXモデムのセットアップ( FAXモデム内蔵モデルのみ)
6. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ
7. Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 3」の利用

 **チェック!**・ドライバのアップデートはシステム管理者が行ってください。

- ・本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。
- ・Windows NT Server 4.0は使用できません。
- ・Windows NT 4.0はUSB機器をサポートしていません。
- ・ここでは、Windows 95がインストールされているドライブ :Cドライブ、フロッピーディスクドライブ :A ドライブとして説明します。実際と異なる場合は読み替えてください。
- ・セットアップの前に1.44Mバイトフォーマット済みのフロッピーディスク4枚を用意し、それぞれのラベル に「システム修復ディスク」「Windows NT 4.0アップデートディスク1」「Windows NT 4.0アップデートディスク2」「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」と記入しておいてください。

## 1. Windows NT 4.0のセットアップ

### 1-1 Windows NT 4.0をアップデートするためのディスクを作成する

ここでは、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」,「Windows NT 4.0アップデートディスク2」,「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」を作成します。

内蔵ハードディスクにはWindows NT 4.0のドライバがコピーされています。これらのドライバを次の手順でフロッピーディスクにコピーします。

- 1 Windows 95の「スタート」ボタン「プログラム」「MS-DOSプロンプト」でMS-DOSプロンプトを起動する
- 2 用意した「Windows NT 4.0アップデートディスク1」のラベルのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する  
C:【Enter】  
CD ¥NT40【Enter】
- 4 カレントディレクトリが「NT40」であることを確認し、MS-DOSプロンプトから次のように入力する  
このとき、フロッピーディスクのドライブ名にコロン「:」は付けないでください。  
CDNTUP A【Enter】
- 5 画面の表示に従ってファイルをコピーする  
作成したフロッピーディスクは、今後Windows NT 4.0をセットアップする際に必要となりますので、大切に保管してください。

### 1-2 Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項

本機にWindows NT 4.0を新規に組み込む場合は、セットアップ前に「Windows NT 4.0アップデートディスク1」のルートディレクトリに格納された「README.TXT」を必ずお読みください。

また、Windows NT 4.0のマニュアルも必ずお読みください。

### 1-3 Windows NT 4.0をセットアップする

CD-ROMドライブ内蔵モデルは、Windows NT 4.0マニュアルをご覧になり、Windows NT 4.0のセットアップを行ってください。

CD-ROMドライブを内蔵していないモデルでは、別売のCD-ROMドライブやネットワークを利用してWindows 95のMS-DOSプロンプトからWINNTコマンドでセットアップを行います。

次の手順でセットアップを行ってください。

**1** ネットワークを利用する場合は、Windows NT 4.0のソースファイル(Windows NT CD-ROM Disc 1のI386ディレクトリ下のファイル)をネットワークサーバの共有ドライブにコピーする

**2** Windows 95 を起動する  
別売のCD-ROMドライブを利用する場合は、CD-ROMドライブにWindows NT 4.0のCD-ROM Disc 1をセットします。  
ネットワークを利用する場合は、手順1でWindows NT 4.0のソースをコピーした共有ドライブに接続します。

**3** MS-DOSプロンプトからCD-ROMや共有ドライブ上のWINNTコマンドを実行する  
ここでは、ドライブ名を Q、ディレクトリ名をI386として説明します。実際と異なる場合は、読みかえてください。

```
Q: 【Enter】  
CD ¥I386 【Enter】  
WINNT /B 【Enter】
```

**4** このあとは、画面に表示されるメッセージに従ってセットアップを行う

 **チェック!**内蔵FAXモデムを使用するリモートアクセスサービスの設定は、Windows NT 4.0のセットアップ時ではなく、内蔵FAXモデムのセットアップ終了後に行ってください。

## 1-4 ドライバをアップデートする

次の手順でドライバのアップデートをします。

- 1 「スタート」メニュー 「プログラム」 「コマンドプロンプト」をクリックして、コマンドプロンプトをクリックする
- 2 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 Window NT 4.0のコマンドプロンプトから次のように入力する  
A:【Enter】  
CD ¥【Enter】  
カレントAドライブのルートディレクトリであることを確認して、次のように入力する  
UPDATE【Enter】
- 4 画面に表示されるメッセージ内容をよく確認しながら画面の指示に従う

以上でWindows NT 4.0のセットアップは終了しました。アップデートしたドライバは再起動後に有効になります。

## 2. 内蔵アクセラレータの利用

内蔵アクセラレータを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ディスプレイの設定」タブをクリックする
- 3 「ディスプレイの種類」ボタンをクリックする
- 4 「変更」ボタンをクリックする
- 5 「ディスク使用」ボタンをクリックする

- 6 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットし、フロッピーディスクを入れたドライブのTRIDENTディレクトリを指定して(A: ¥TRIDENT)、「OK」をクリックする
- 7 「ディスプレイ」リストボックスから、「Trident Video Accelerator」を選ぶ
- 8 「OK」ボタンをクリックする
- 9 このあとは画面に表示されるメッセージに従って操作する

### 3. 内蔵サウンドの利用

次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デバイス」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする
- 3 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 4 ドライバのインストール画面が表示されたら、「Windows NT 4.0 アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 5 フロッピーディスクドライブ名とディレクトリ名を指定して(A: ¥ESS)、「OK」ボタンをクリックする
- 6 ドライバの一覧に「ES1879/1869/1878/1868/1887/1888 AudioDrive 2」が選択されていることを確認してから「OK」ボタンをクリックする

- 再起動に関するメッセージが表示されるので、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、「再起動する」ボタンをクリックする

Windows NTが再起動します。再起動後にドライバが有効になります。

#### 4. NXパッドの拡張

NXパッド対応の拡張ドライバを利用することにより、オートジャンプ、タッピングなど、NXパッドの機能を拡張することができます。

次の手順でセットアップを行います。

- 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 「全般」タブをクリックする
- 「変更」ボタンをクリックする
- 「デバイスの選択」ウィンドウで、「ディスク使用」をクリックする
- ドライバのインストール画面になったら、「Windows NT 4.0 アップデートディスク2」をフロッピーディスクドライブにセットする
- フロッピーディスクドライブ名とSLIDEPADディレクトリ(A: ¥ SLIDEPAD)を指定して「OK」ボタンをクリックする
- モデルの一覧から「NX PAD」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
- 「デバイスのインストールの確認」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- ファイルのコピーが終了したら、「マウスのプロパティ」で「閉じる」ボタンをクリックする

- 再起動に関するメッセージが表示されるので、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックしてWindows NTを再起動させる  
再起動後にドライバが有効になります。

NXパッドの拡張機能の設定は、次の手順で行います。

- 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 必要に応じて設定を行う  
設定方法については、オンラインヘルプをご覧ください。
- 設定が終了したら、「マウスのプロパティ」で「OK」ボタンをクリックする  
「マウスのプロパティ」が閉じて、設定が有効になります。

## 5. 内蔵FAXモデムのセットアップ

次の手順でセットアップを行います。

この手順は、FAXモデム内蔵モデルにのみ必要な手順です。その他のモデルをお使いの場合は、「6. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ」に進んでください。

- 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする
- 「追加」ボタンをクリックする
- 「新しいポートの詳細設定」画面で各設定を選ぶ  
「COMポートの番号」は必ず「2」を選択してください。「I/Oポートアドレス」、「割り込み番号(IRQ)」は他のデバイスと競合しない値を選んでください。
- 「OK」ボタンをクリックする
- 「システム設定の変更」画面で「再起動しない」をクリックする

- 6 「閉じる」ボタンをクリックする
- 7 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする
- 8 「新しいモデムのインストール」の画面で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 10 「Windows NT 4.0アップデートディスク2」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 11 「フロッピーディスクからインストール」画面で次のように入力し、「OK」をクリックする  
A: ¥LTMODEM
- 12 「LT Win Modem」を選択し、「次へ」をクリックする
- 13 どのポートにインストールするかを訊いてくるので、「選択したポート」をチェックする
- 14 「COM2」を選択し、「次へ」をクリックする
- 15 「所在地情報」を設定して、「次へ」ボタンをクリックする
- 16 「次へ」をクリックする
- 17 以後は画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する

## 6. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ

BIOSセットアップユーティリティを利用するため、次の手順でセットアップします。

- 1 「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」をフロッピーディスクドライブにセットする

- 2 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3 「ファイル名を指定して実行」画面で「A: ¥SETUP」と入力して、「OK」ボタンをクリックする  
インストール画面が表示されます。
- 4 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「インストール先の選択」画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「ファイルコピーの開始」画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップ完了」画面で、「はい」ボタンをクリックする  
これでBIOSセットアップユーティリティのセットアップは完了です。

 **チェック!!** Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティを起動するには、「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「BIOSセットアップユーティリティ」をクリックします。

## 7. Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 3の利用

Microsoft Windows NT4.0アップデートサービス「Service Pack 3」を適用する場合は、必ず次の手順で行ってください。

- 1 Service Pack 3の「README.TXT」を読む
- 2 Service Pack 3のインストールを行う
- 3 コンピュータの再起動後、ドライバの再アップデートを行う  
「1-4 ドライバをアップデートする」をご覧ください、アップデートしてください。

 **チェック!!** ファイルコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。

# 付録

ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

## このPARTの内容

Windows 95でMS-DOSモードを利用する

本機のお手入れ

コンピュータウイルス対策

機能一覧

割り込みレベル・DMAチャンネル



# Windows 95でMS-DOSモードを利用する

Windows 95のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明していません。

## MS-DOSモードを利用する

MS-DOSモードを利用すると、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

本機をMS-DOSモードで再起動する

---

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」をクリックする  
本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOSモードを終了する

---

- 1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 95が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

---

MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 95上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOSプロンプト」をクリックする  
「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。なお、「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドやアプリケーションもあります。

## CD-ROMドライバ(本機内蔵CD-ROM)

本機は、工場出荷時の設定では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで本機内蔵のCD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

### 現在のMS-DOSモードで本機内蔵のCD-ROMドライブを使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合で、MS-DOSモード上でCD-ROMを使うときには、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」をクリックする  
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する  
  
SETCD【Enter】  
  
CD-ROMドライバの設定方法に関する説明が表示されます。
- 4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する  
  
EXIT【Enter】  
  
Windows 95が再起動します。
- 5 手順3の画面に表示された指示に従って、CONFIG.SYSに次の内容のいずれかを追加し、接続されているCD-ROMドライブに対応したCD-ROMドライバを登録する  
Windows 95がインストールされているドライブおよびディレクトリをC: ¥WINDOWSとします。

- ・追加する内容1

```
DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥NECCD.SYS /D:MSCD001
```

- ・追加する内容2

```
DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥NECCDDR.V.SYS  
DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥NECCD.SYS /D:MSCD001
```

## 6 DOSSTART.BATに次の内容を追加する CD-ROMドライブをQドライブとします。

- ・追加する内容

```
DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥MSCDEX /D:MSCD001 /L:Q
```

## 7 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする

## 8 「再起動する」を選択して、「OK」をクリックする 本機を再起動します。

## 9 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする

## 10 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」をクリックする MS-DOSモードが起動します。

### ファイルを編集する

---

CONFIG.SYSやDOSSTART.BATは、メモ帳など、テキストデータを扱うことができるソフトウェアで編集します。ここでは、DOSSTART.BATファイルをメモ帳で編集する方法を、例をあげて説明します。

## 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「メモ帳」で 「メモ帳」を開く

## 2 「ファイル」ボタンの「開く」をクリックする

## 3 「ファイルの種類」を「すべてのファイル(\*.\*)」を選ぶ

## 4 「ファイルの場所」に「C:¥WINDOWS」を選ぶ

- 5 「Dosstart.bat」をクリックして、「開く」をクリックする  
DOSSTART.BATファイルが表示されます。
- 6 ファイルを編集する
- 7 ファイルの編集が終了したら、「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックする  
変更を保存するかどうかを選択する画面が表示されます。
- 8 「はい」ボタンをクリックする  
メモ帳が終了し、DOSSTART.BATの内容が変更されます。

## 新しいIMS-DOS設定を指定する場合

### 新しいIMS-DOS設定を指定する

新しいIMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする  
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する  
SETCD【Enter】  
CD-ROMドライブの設定方法に関する説明が表示されます。
- 4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する  
EXIT【Enter】  
Windows 95が再起動します。

- 5 「スタート」ボタン「プログラム」「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する  
「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。
- 6 新しいMS-DOS設定を指定したいプログラムをクリックする  
プログラム名が反転表示されます。
- 7 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックする  
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 8 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックする  
「プログラムの詳細設定」ウィンドウが表示されます。
- 9 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける  
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。
- 10 CONFIG.SYSのリストボックスに、手順3で画面に表示された指示に従って、次の内容のいずれかを追加する  
Windows 95がインストールされているドライブおよびディレクトリをC:  
¥WINDOWSとします。
  - ・追加する内容1  
DEVICE=C: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥NECCD . SYS /D: MSCD001
  - ・追加する内容2  
DEVICE=C: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥NECCDDR V . SYS  
DEVICE=C: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥NECCD . SYS /D: MSCD001
- 11 AUTOEXEC.BATのリストボックスに、次の内容を追加する  
CD-ROMを割り当てるドライブをQとします。

・追加する内容

```
DEVICE=C: ¥WINDOWS¥COMMAND¥MSCDEX /D:MSCD001 /L:Q
```

**12** 「OK」ボタンをクリックする  
「プログラムの詳細設定」ウィンドウが閉じます。

**13** 「OK」ボタンをクリックする  
「プロパティ」ウィンドウが閉じます。

**14** 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したプログラムをダブルクリックする  
MS-DOSモードが起動します。

# 本機のお手入れ

ここでは、パソコンのお手入れの方法を説明しています。

## 準備するもの

### 汚れが軽いとき

乾いたやわらかい素材のきれいな布

### 汚れがひどいとき

水か中性洗剤を含ませ堅くしぼったきれいな布

機器クリーニング用のフキンも汚れを拭き取るのに便利です。  
機器クリーニング用のフキンについてはご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションに問い合わせてください。

 参照 ▶ NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

## パソコンのお手入れをはじめる前に

### △注意



お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてください。  
電源を切らずにお手入れをはじめると、感電することがあります。

## パソコンのお手入れをはじめる

パソコンのお手入れするときは、次のことに注意してください。

-  **チェック!!** ・水や中性洗剤は、絶対に本機に直接かけないでください。本機の傷みや故障の原因になります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本機の傷みや故障の原因になります。

**液晶ディスプレイ**

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんは使わないでください。

**電源コード**

電源コードのプラグを長期間に渡ってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にはこりを拭き取るようにしてください。

**パソコン**

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。

**NXパッド**

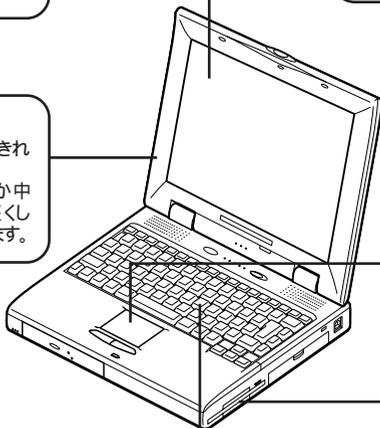
乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水かうすめた中性洗剤を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。

**キーボード**

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。NECのお問い合わせ先:『NEC PCあんしんサポートガイド』

**フロッピーディスクドライブ**

クリーニングディスク(別売)を使ってフロッピーディスクドライブをクリーニングします。ひと月に一回を目安にクリーニングしてください。





# コンピュータウイルス対策

ここでは、コンピュータウイルスとはどんなものか、また、ウイルスの予防法や検査するためのアプリケーションについて説明しています。

## 用語 コンピュータウイルス

コンピュータウイルスとはプログラム的一种です。ユーザ(使用者)が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

### コンピュータウイルスの種類

---

コンピュータウイルスが「ウイルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入りこんだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウイルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病と言います。

ウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

#### ・ファイル感染型ウイルス

一般に、実行型ファイル(拡張子がEXEやCOM)に感染するタイプのウイルスです。ファイル感染型ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

#### ・マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

#### ・ブートセクタ型ウイルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

### コンピュータウイルスの感染を防ぐために

フロッピーディスクやネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウイルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。
- ・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。
- ・入手したプログラムはウイルス検査をすませてから使用する。
- ・パーソナルコンピュータのウイルス検査は定期的に行う。

本機には、ウイルスチェッカー「VirusScan」が用意されています。ウイルスチェッカーを定期的に利用して、ウイルスに感染していないかどうか、チェックされることをおすすめします。また、新種のウイルスに対応できるよう、ウイルスチェッカーは定期的に最新のものに更新してください。

#### 参照

VirusScanの使い方「VirusScan for Windows 95」(p.131)

万一、コンピュータウイルスに感染してしまった場合は、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

### コンピュータウイルスを発見したら

ウイルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウイルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウイルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、ハードディスクなど)をすべてウイルス検査する必要があります。

## コンピュータウイルスの被害届について

---

日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウイルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称IPA)がウイルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウイルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先(IPA)については、「VirusScan for Windows 95」のヘルプをご覧ください。

# 機能一覧

## 機能仕様

VP23/WX、VP16C/WX、VP13C/WS、VP13C/WD

項目	モデル	VP23C/WX	VP16C/WX	VP13C/WS	VP13C/WD
CPU		MMX <sup>3</sup> テクノロジーPentium <sup>3</sup> プロセッサ			
	周波数	233MHz	166MHz	133MHz	
	内蔵キャッシュメモリ	32Kバイト			
	セカンドキャッシュメモリ	512Kバイト	256Kバイト		
メモリ	ROM(Flash ROM)	256Kバイト(BIOS)			
	メインRAM	32Mバイト			
		最大	128Mバイト(標準実装メモリを取り外し、別売の増設RAMボード(64Mバイト)を2枚増設した場合)		
	ビデオRAM	2Mバイト			
サウンド機能	表示素子	バックライト付13.3インチTFTカラー液晶ディスプレイ <sup>1</sup>		バックライト付12.1インチTFTカラー液晶ディスプレイ <sup>1</sup>	バックライト付12.1インチDSTNカラー液晶ディスプレイ <sup>1</sup>
	ウィンドウアクセラレータ	Trident社製Cyber9385™-1標準搭載 (ビデオアクセラレーション機能対応)			
	別売のCRTディスプレイ接続時	VP23C, VP16C	1024×768ドット(26万色中256色/65536色) 800×600ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 640×480ドット(26万色中256色/65536色/1677万色)		VP13C
表示機能	PCM録音・再生機能	内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz)全二重対応(モノラル、量子化8ビット時)			
	FM音源機能	内蔵(拡張FM音源(FM音源最大20音))			
	スピーカ・マイク	ステレオスピーカ・マイク内蔵			
	サラウンド	エンハンスド・ステレオ機能			
入力装置	キーボード	本体との一体型、JIS標準配列(英数・かな)、Fnキー(ホットキー対応)、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー付			
	ポインティングデバイス	NXパッド標準装備			

項目	モデル	VP23C/WX	VP16C/WX	VP13C/WS	VP13C/WD
補助記憶装置	フロッピーディスク	3.5インチフロッピーディスクドライブ×1内蔵(720K/1.2M/1.44Mバイトタイプの3モードに対応)			
	固定ディスク	内蔵(約3GB)	内蔵(約2.1GB)	内蔵(約1.6GB)	
	CD-ROM	CAV方式、CD-DA(オーディオCD)、CD-ROM MODE1/2、CD-ROM XA MODE2(FORM1/2)、マルチセッション対応 最大20倍速(平均14倍速)、データ転送速度はCD-ROMの最内周で8.5倍速、最外周で20倍速となります			オプション
インターフェイス	マウス/テンキーボード(ミニDIN6ピン、テンキーボードと外付けマウスをサポート) パラレル(D-SUB25ピン) シリアル(D-SUB9ピン、最高115.2Kbps対応) ディスプレイ(アナログRGBセパレート信号出力、ミニD-SUB15ピン) 赤外線通信(IrDA規格準拠、データ転送速度4Mbps) USB				
サウンド関連	ライン入力(ステレオ、ミニジャック) ヘッドホン出力/ライン出力共用(ステレオ、ミニジャック) マイク入力(モノラル、ミニジャック) ライン入力インピーダンス10k 入力レベル1Vrms マイク入力インピーダンス5k 入力レベル5mVrms(バイアス2.5V) ライン出力インピーダンス0.7Vrms				
PCカードスロット	TYPE ×2スロット(TYPE ×1スロットとしても使用可) PC Card Standard 準拠、CardBus/ZVポート対応(ZVポートは下側のスロットのみ)				
パワーマネージメント	自動または任意設定可能				
セキュリティ機能	ユーザーパスワード機能、スーパーバイザーパスワード機能、I/Oロック機能、盗難防止ロック(市販の盗難防止用ケーブルを使用)				
バッテリー駆動時間 <sup>5</sup>	約1.8~2.1時間	約1.6~2.1時間	約1.3~2.1時間		
バッテリー充電時間 <sup>5</sup>	電源ON時 : 約3時間 電源OFF時 : 約2時間		電源ON時 : 約3.5時間 電源OFF時 : 約2.5時間		
バッテリーによるサスペンド内容保持時間 <sup>5</sup> (バッテリーフル充電時)	約3日				
電源	リチウムイオンバッテリー DC14.4V、2,600mAh) <sup>2</sup> またはAC100V±10%、50/60Hz(ACアダプタ経由 <sup>3</sup> )		ニッケル水素バッテリー DC9.6V、3,800mAh) <sup>2</sup> またはAC100V±10%、50/60Hz(ACアダプタ経由 <sup>3</sup> )		
消費電力	約21W 内蔵オプション最大接続時 約45W		約18W		
温湿度条件	10~35、20~80% (ただし、結露しないこと)				
外形寸法	306(W)×243(D)×49.5(H)mm(突起部含まず)				
重量	約3.6kg		約3.1kg		

1 液晶ディスプレイは消耗品です。

液晶ディスプレイでは、明るさのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。

また、輝度やコントラストの調整具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微細は斑点が現れることがあります。故障ではありません。

2 バッテリーパックは消耗品です。

3 ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC125V対応です。

4 18~28、45%~75%での使用を推奨。

5 時間は本機のご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。

LV16C/NS、LV16C/WS、LV13C/WD

項目	モデル	LV16C/NS	LV16C/WS	LV13C/WD
CPU		MMX <sup>3</sup> テクノロジーPentium <sup>3</sup> プロセッサ		
	周波数	166MHz		133MHz
	内蔵キャッシュメモリ	32Kバイト		
セカンドキャッシュメモリ		256Kバイト		
メモリ	ROM(Flash ROM)	256Kバイト(BIOS)		
	メインRAM	32Mバイト		
		最大	128Mバイト(標準実装メモリを取り外し、別売の増設RAMボード(64Mバイト)を2枚増設した場合)	
ビデオRAM	2Mバイト			
表示機能	表示素子	バックライト付12.1インチTFTカラー液晶ディスプレイ <sup>1</sup>	バックライト付12.1インチハイレソボンスDSTNカラー液晶ディスプレイ <sup>1</sup>	
	ウィンドウアクセラレータ	Trident社製Cyber9385 <sup>TM</sup> -1標準搭載 (ビデオアクセラレーション機能対応)		
		800×600ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 640×480ドット(26万色中256色/65536色/1677万色)		
別売のCRTディスプレイ接続時	640×480ドット、800×600ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 1024×768ドット(26万色中256色/65536色) 1280×1024ドット(26万色中256色) 1600×1200ドット(26万色中256色)			
サウンド機能 <sup>2</sup>	PCM録音・再生機能	内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz)全二重対応(モノラル、量子化8ビット時)		
	FM音源機能	内蔵(拡張FM音源[FM音源最大20音])		
	スピーカ・マイク	フラットパネルスピーカ搭載 ウーファ搭載	ステレオスピーカ・マイクロホン内蔵 ウーファ搭載	
	サラウンド	エンハンスド・ステレオ機能		
通信機能	モデム	データ転送速度:最大56kbps( K56flex ) エラー訂正:V.42bit/MNP4 データ圧縮:V.42bis/MNP5		
	FAX	データ転送速度:最大14.4Kbps( V.17 ) FAX制御クラス1		
入力装置	キーボード	本体との一体型、JIS標準配列(英数・かな)Fnキー(ホットキー対応)、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー付		
	ポインティングデバイス	NXパッド標準装備		
補助記憶装置	フロッピーディスク	3.5インチフロッピーディスクドライブ×1内蔵(720K/1.2M/1.44Mバイトタイプの3モードに対応)		
	固定ディスク	内蔵(約2.1GB)		
	CD-ROM	CAV方式、CD-DA(オーディオCD)CD-ROM MODE1/2、CD-ROM XA MODE2(FORM1/2)、マルチセッション対応 最大20倍速(平均14倍速)データ転送速度はCD-ROMの最内周で8.5倍速、最外周で20倍速となります。		

項目	モデル	LV16C/NS	LV16C/WS	LV13C/WD
インターフェイス		マウス / テンキーポート(ミニDIN6ピン、テンキーボードと外付けマウスをサポート)、パラレル(D-SUB25ピン)、シリアル(D-SUB9ピン、最高115.2Kbps対応)、ディスプレイ(アナログRGBセパレート信号出力、ミニD-SUB15ピン)、赤外線通信(IrDA規格準拠、データ転送速度4Mbps)、USB		
	サウンド関連	ライン入力(ステレオ、ミニジャック)、ヘッドホン出力 / ライン出力共用(ステレオ、ミニジャック)、マイク入力(モノラル、ミニジャック) ライン入力インピーダンス10k 入力レベル1Vrms マイク入力インピーダンス5k 入力レベル5mVrms(バイアス2.5V) ライン出力インピーダンス0.7Vrms		
PCカードスロット		TYPE ×2スロット( TYPE ×1スロットとしても使用可) PC Card Standard準拠、CardBus/ZVポート対応(ZVポートは下側のスロットのみ)		
パワーマネージメント		自動または任意設定可能		
セキュリティ機能		ユーザーパスワード機能、スーパーバイザーパスワード機能、I/Oロック機能、盗難防止ロック(市販の盗難防止用ケーブルを使用)		
バッテリー駆動時間 <sup>5</sup>		約1.3~2.1時間		
バッテリー充電時間 <sup>5</sup>		電源ON時 :約3.5時間 電源OFF時 :約2.5時間		
バッテリーによるサスペンド内容保持時間 <sup>5</sup> (バッテリーフル充電時)		約3日		
電源		ニッケル水素バッテリー(DC9.6V、3.800mAh) <sup>2</sup> またはAC100±10%、50/60Hz(ACアダプタ経由 <sup>3</sup> )		
消費電力		約18W 内蔵オプション最大接続時約45W		
温湿度条件		10~35、20~80% <sup>4</sup> (ただし、結露しないこと)		
外形寸法		306(W)×243(D)×66(H) mm(突起部含まず)	306(W)×243(D)×49.5(H)mm(突起部含まず)	
重量		約3.8kg	約3.5kg	

1 液晶ディスプレイは消耗部品です。

液晶ディスプレイでは、明るさのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。  
また、輝度やコントラストの調整具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。

2 バッテリーパックは消耗品です。

3 ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC125V対応です。

4 18~28、45%~75%での使用を推奨。

5 時間は本機のご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。

## 内蔵FAXモデム機能仕様(LV16C/NS、LV16C/WS、LV13C/WD)

### 機能概要

CPU I/F	PCIローカルバスインターフェイス(Ver2.1) 16550A相当(I/Oアクセス、割り込み)
NCU部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回線接続切り替え機能</li> <li>・ダイヤルパルス送出機能</li> <li>・リンガ検出機能</li> </ul>
モデムチップセット部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・K56flexCPU直結パラレルアクセスによる高スループット</li> <li>  K56flex</li> <li>  V.34</li> <li>  V.32bis</li> <li>  V.32、V.22bis、V.22、V.21</li> <li>  V.42LAPMおよびMNP2-4エラー訂正</li> <li>  V.42bisおよびMNP5データ圧縮</li> <li>・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度</li> <li>  V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2</li> <li>・HayesATコマンドセット</li> <li>  AT</li> <li>  レジスタ</li> <li>・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン</li> <li>・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択</li> <li>・フロー制御およびスピード・バッファリング</li> <li>・パラレル非同期データ</li> <li>・自動ダイヤルおよび自動アンサー</li> <li>・トーンおよびパルスダイヤリング</li> <li>(DTMFトーン、ダイヤルパルス制御)</li> </ul>

### FAXモデム機能

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM: 14400/12000/9600/7200bps
	DPSK: 4800/2400bps
	FSK: 300bps
送信レベル	-6 ~ -15dBm(出荷時-15dBm)
受信レベル	-10 ~ -40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

## データモデム機能

項目	規格
適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送受信 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/ 14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps 受信 56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/ 40000/38000/36000/34000/32000 <sup>1</sup>
通信規格	K56flex ITU-T V.34/V.32bis/V.32/V.22bis/V.22/V.21
変調方式	TCM: 56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/ 40000/38000/36000/34000/33600/32000/31200/28800/26400/ 24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200bps QAM: 9600/7200bps DPSK: 4800/2400/1200bps FSK: 1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42 MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
送信レベル	-6 ~ -15dBm( 出荷時 -15dBm )
受信レベル	-10 ~ -40dBm
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 <sup>2</sup>

1 回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。

2 ATコマンドについては、以下のファイルを参照

C: ¥Windows ¥ATCREAD.DOC

## NCU 機能

項目	規格
適用回線	加入電話回線
ダイヤル形式	パルスダイヤル( 10/20PPS ) トーンダイヤル( DTMF )
NCU形式	AA( 自動発進/自動着信型 )
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 EIA-578拡張ATコマンドAT( class 1 )



# 割り込みレベル・DMAチャンネル

## 割り込みレベル

IRQ	インターフェイス
0	システムタイマ
1	キーボード
2	割り込みコントローラ
3	内蔵FAXモデム* <sup>1</sup> USBホストコントローラ
4	通信ポート
5	オーディオコントローラ
6	フロッピーディスクコントローラ
7	パラレルポート
8	システムクロック
9	(空き)
10	(空き)
11	CardBusコントローラ
12	NXパッド
13	数値データプロセッサ
14	IDEコントローラ(プライマリ)
15	IDEコントローラ(セカンダリ)* <sup>2</sup>

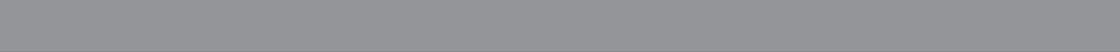
\*1: FAXモデム内蔵モデルのみ

\*2: CD-ROMドライブ内蔵モデルのみ

## DMAチャンネル

DMA	インターフェイス
#0	赤外線通信* <sup>3</sup>
#1	サウンド
#2	フロッピーディスクコントローラ
#3	サウンド

\*3: 赤外線通信機能使用時





# 索引

# 索引

## 英字

ACアダプタ	5
BIOSセットアップユーティリティ	80
Caps Lockキーランプ	24
CD-ROMアクセスランプ	36
CD-ROMドライバ	181
CD-ROMドライブ	3, 36
CDトレイジェクトボタン	36
CRTディスプレイ	63
DCコネクタ	2
DMAチャンネル	197
FAXモデム	50, 195
Fnキー	25, 27
I/Oロック	43
MS-DOSプロンプト	180
MS-DOSモード	20, 180
Num Lockキーランプ	24
NXパッド	2, 187
PCカード	67
PCカードジェクトボタン	4
PCカードスロット	4, 67
RAM	71
ScrLockランプ	24
USBコネクタ	4, 76
Windows NT 4.0	170

## あ行

アプリケーション	90
ウーファスピーカ	4
液晶ディスプレイ	2, 3, 187
お手入れ	186
音量調節つまみ	4

## か行

解像度	40, 41, 63
外部CRT用コネクタ	4
外部ディスプレイ	63
外部マイクロホン端子	4

拡張用コネクタ	4
画面表示機能	40
起動	80
輝度調節つまみ	3
キーボード	2, 28, 187
共有プリンタ	62
クリック	31
クリックボタン	2
コントラスト調節つまみ	3
コンピュータウイルス	188

## ざ行

サウンド	49
サスペンド機能	11
サスペンドランプ	24
システムディスクの起動順位	88
システムデバイス	85
充電	5
周辺機器	56
省電力機能	22
省電力の設定	80, 86
シリアルコネクタ	4, 76
シリアルポート	76
スーパーバイザパスワード	42, 82
スキャンディスク	34
スタンバイモード	86
スピーカ	3
スリープ	88
スリープボタン	2
赤外線通信ポート	4, 47
赤外線通信機能	46
セキュリティ機能	42
セキュリティの設定	80, 81
増設RAMボード	71
増設RAMボード用スロット	73

## た行

タップ	31
-----	----

ダブルタップ	31
通風孔	4
デバイスドライバ	57
デバイスの設定	80, 83
デフラグ	35
テンキーボード	77
電源コード	187
電源スイッチ	2
電源ランプ	24
電話回線用モジュラーコネクタ	4
盗難防止用ロック	2
ドラッグ	32

## な行

内蔵マイクロホン	2
内蔵モデム	50
日本語入力	30

## は行

ハードディスク	34
ハードディスクアクセスランプ	24
ハイバネーション機能	15
パスワード	82
バッテリー残量	7
バッテリー充電ランプ	5, 24
バッテリースロット	2
バッテリースロットカバー	9
パラレルコネクタ	4, 58, 76
パワーマネージメント	86
非常時CD-ROM取り出し穴	38
表示色	63
表示ランプ	23
ファックス	52
プラグ&プレイ	57
フラットパネルスピーカ	3, 48
プリンタ	58
プリンタケーブル	58
フル充電	6

プロジェクト	65
フロッピーディスクイジェクトボタン	33
フロッピーディスクドライブ	2, 33, 187
フロッピーディスクアクセスランプ	24, 33
ヘッドホン / オーディオ出力端子	4
ポインティングデバイス	31
ポインタ	31
ホットキー機能	27

## ま行

マウス / テンキーボード用コネクタ	4, 77
メモリ	71
モデム(内蔵)	50
モジュラーケーブル	51
モジュラーコネクタ	51

## や行

ユーザーパスワード	42, 82
-----------	--------

## ら行

レジューム	11
ロックレバー	2

## わ行

割り込みレベル	197
---------	-----



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

808-875488-068-A

## 活用ガイド

---

PC98-**NX** SERIES  
**VersaPro NX**  
**LaVie NX**

---

初版 1997年10月

NEC

P